

◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和4年度第2・四半期

(令和4年7～9月)

目 次



五反田バレーアクセラレーション
プログラムキックオフイベント
(令和4年9月16日開催)

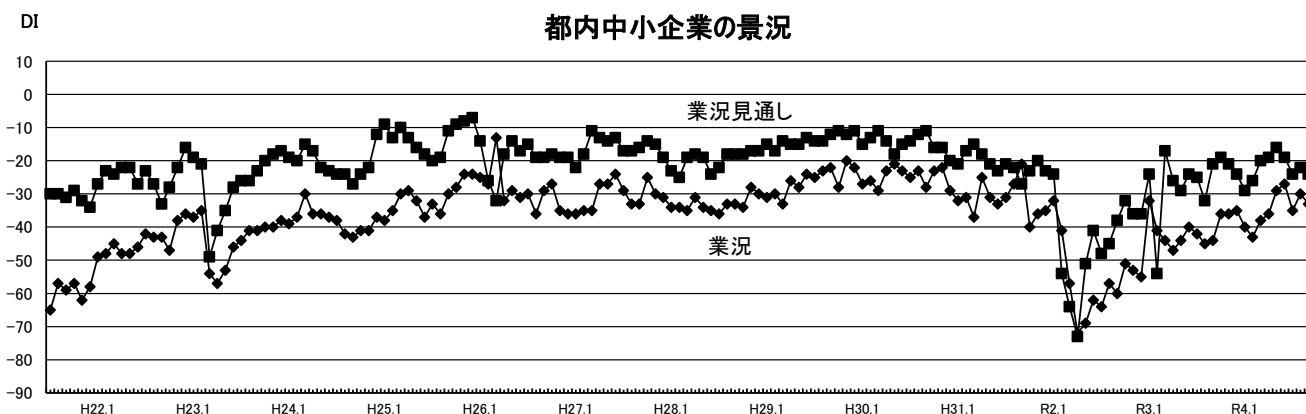
都内中小企業の景況（令和4年7～9月期）	1
品川区内中小企業の景況（令和4年7～9月期）	2
品川区の今期の特徴点	3
製造業	4
卸売業	9
小売業	13
サービス業	18
建設業	22
情報通信業	26
日銀短観	30
東京都と品川区の企業倒産動向	30
特別調査「円安・原材料価格変動による影響および インボイス制度について」	31
中小企業景況調査 比較表・転記表	36

品川区地域振興部商業・ものづくり課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和4年7～9月期）

業況：全体で大幅に悪化。サービス業でやや悪化、製造業、卸売業、小売業で大幅に悪化。
見通し：小売業で極端に改善、卸売業は大幅に改善、製造業、サービス業ではやや改善の見通し。



業況 DI（季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は▲33（前期は▲27）と、大幅に悪化した。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比9ポイント増の▲24と、大幅に改善する見通し。

	前期 (R4.6)	今期 (R4.9)	増減	今後3ヶ月間の見通し
製造業	▲20	▲27	▲7	▲22
卸売業	▲22	▲29	▲7	▲21
小売業	▲47	▲55	▲8	▲34
サービス業	▲22	▲25	▲3	▲21
全体	▲27	▲33	▲6	▲24

令和4年9月の都内中小企業の業況 DI は、前期から6ポイント減の▲33と、大幅に悪化した。今後3ヶ月間の業況見通し DI では、今期比9ポイント増の▲24と、大幅に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、サービス業（▲25）は3ポイント減とやや悪化、製造業（▲27）は7ポイント減、卸売業（▲29）は7ポイント減、小売業（▲55）は8ポイント減といずれも大幅に悪化した。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（24）は前期から変動なし、卸売業（43）は3ポイント減とやや下降、製造業（50）は12ポイント減と大幅に下降した。

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、卸売業（26）と小売業（5）はともに2ポイント増とやや上昇、製造業（11）は1ポイント減で前期並、サービス業（▲6）は4ポイント減とやや下降した。

今後3ヶ月間の業況見通し DI を業種別にみると、すべての業種で改善すると見込まれている。小売業（▲34）は21ポイント増と極端に改善、卸売業（▲21）は8ポイント増と大幅に改善、製造業（▲22）は5ポイント増、サービス業（▲21）は4ポイント増とやや改善する見込みとなっている。

【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. I を過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I 値です。修正値ともいいます。

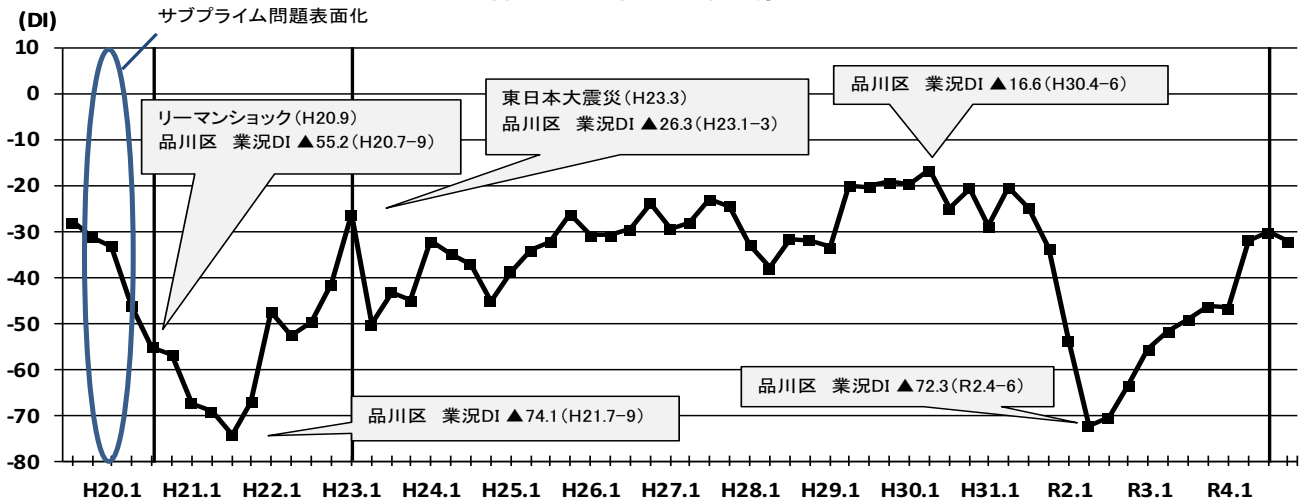
○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

品川区内中小企業の景況（令和4年7～9月期）

業況全体の景況感はやや改善。製造業、サービス業、卸売業で大幅に改善、小売業は極端に悪化見通し：小売業は大幅に改善、製造業、卸売業は大幅に悪化の見込み。

品川区内中小企業の景況



平成14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況DIは平成18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況DIは低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7月～9月期の業況DIは▲74と、最も悪化した。以後、平成23年3月の東日本大震災発生直後には再び悪化したものの、回復の軌跡をたどっていたが、平成31年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく悪化し、令和2年4月～6月期の業況DIは▲72となった。

今期（令和4年7～9月期）の業況DIは▲30と前期並となり、改善傾向がやや停滞する結果となった。

品川区内中小企業の業況DI

	前々期 (R4.1～3)	前期 (R4.4～6)	今期 (R4.7～9)	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲47	▲48	▲31	▲38
卸売業	▲59	▲50	▲43	▲50
小売業	▲72	▲32	▲56	▲46
サービス業	▲22	▲26	▲18	▲19
建設業	▲38	▲36	▲33	▲32
情報通信業		9	▲3	▲5
全体	▲47	▲32	▲30	▲32

※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

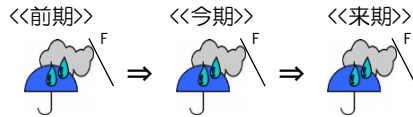
今期の品川区内中小企業全体の業況は、やや改善した。来期（今後3ヶ月間の見通し）においては、低調感がやや強まる見通しとなっている。業種別にみると、今期は製造業、サービス業、卸売業では大幅に改善、建設業でやや改善した。情報通信業で大幅に悪化し、小売業では極端に悪化した。来期は小売業で大幅に改善し、建設業、サービス業、情報通信業で今期並、製造業と卸売業では大幅に悪化する見込みである。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、9月（速報）は生産、出荷は低下、在庫、在庫率は上昇となった。製造工業生産予測調査では、10月は前月比-0.4%の低下、11月は0.8%の上昇を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている9月の消費者物価指数（2020年=100）は103.1（中分類総合指数）となっており、前月比（季節調整値）で3.0%上昇した。

品川区の今期の特徴点

景気予報						
大きく上昇	上昇	やや上昇	横這い	やや下降	下降	大きく下降

全体



業況はやや改善した。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は前期並となった。販売価格は上昇傾向がやや強まり、仕入価格は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰りは前期並となった。

製造業



業況はかなり改善した。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小した。販売価格は上昇傾向がかなり強まり、原材料価格は上昇傾向がやや弱まった。在庫は前期並となった。資金繰りは厳しさがかなり増した。

卸売業



業況はかなり改善した。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は減少幅がやや拡大した。販売価格、仕入価格はともに上昇傾向がやや強まった。在庫は前期並となった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

小売業



業況は低調感が極端に強まった。売上額は増加から減少に転じ、収益は減少幅が極端に拡大した。販売価格は上昇傾向がやや弱まり、仕入価格は前期並となった。在庫は過剰感がかなり強まった。資金繰りは前期並となった。

サービス業



業況はかなり改善した。売上額は減少幅がかなり縮小し、収益は減少幅がやや縮小した。料金価格は上昇傾向がやや弱まり、材料価格は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰りは厳しさがかなり増した。

建設業

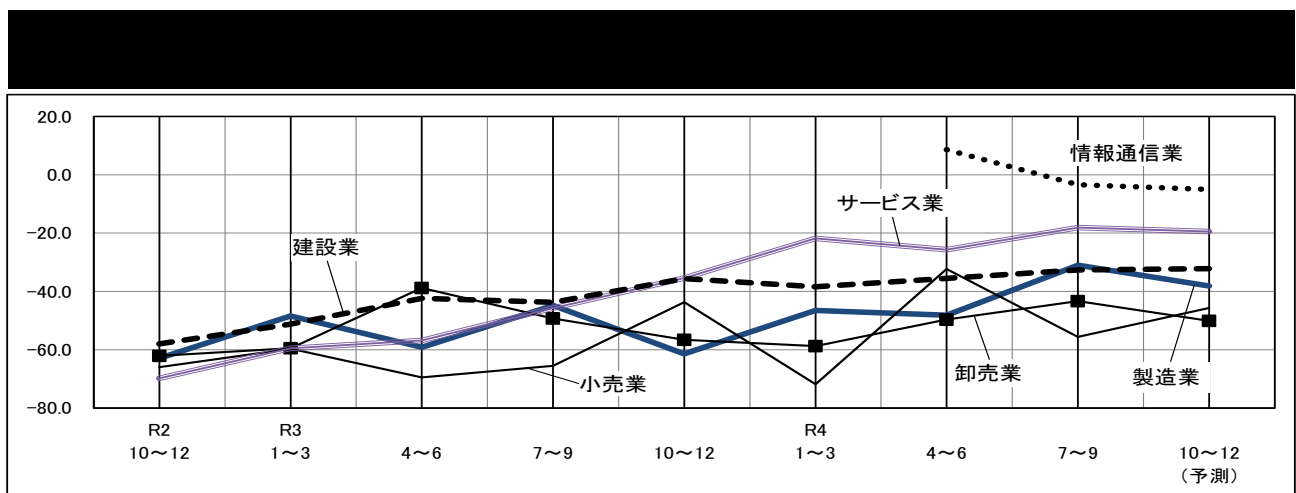


業況はやや改善した。売上額、施工高はともに減少幅がかなり縮小した。収益は減少幅がやや縮小した。請負価格は下降傾向がかなり弱まり、材料価格は前期並となった。在庫は不足感がかなり改善した。資金繰りは厳しさがやや増した。

情報通信業



業況は悪化に転じた。売上額は増加幅がやや拡大し、収益は増加から減少に転じた。システム提供価格は下降傾向がかなり強まり、人件費は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。



製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 48 \rightarrow \Delta 31$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 30 \rightarrow \Delta 17$)、収益 ($\Delta 36 \rightarrow \Delta 31$) はともに減少幅がかなり縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は 4 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 (4→16) は上昇傾向がかなり強まり、原材料価格 (80→79) は前期並となった。在庫 (2→1) は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 32$) は厳しさがかなり増し、借入難易度 (1→ $\Delta 1$) は厳しい状況に転じた。今期借入れをした企業は 32% で前期の 25% から 7 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

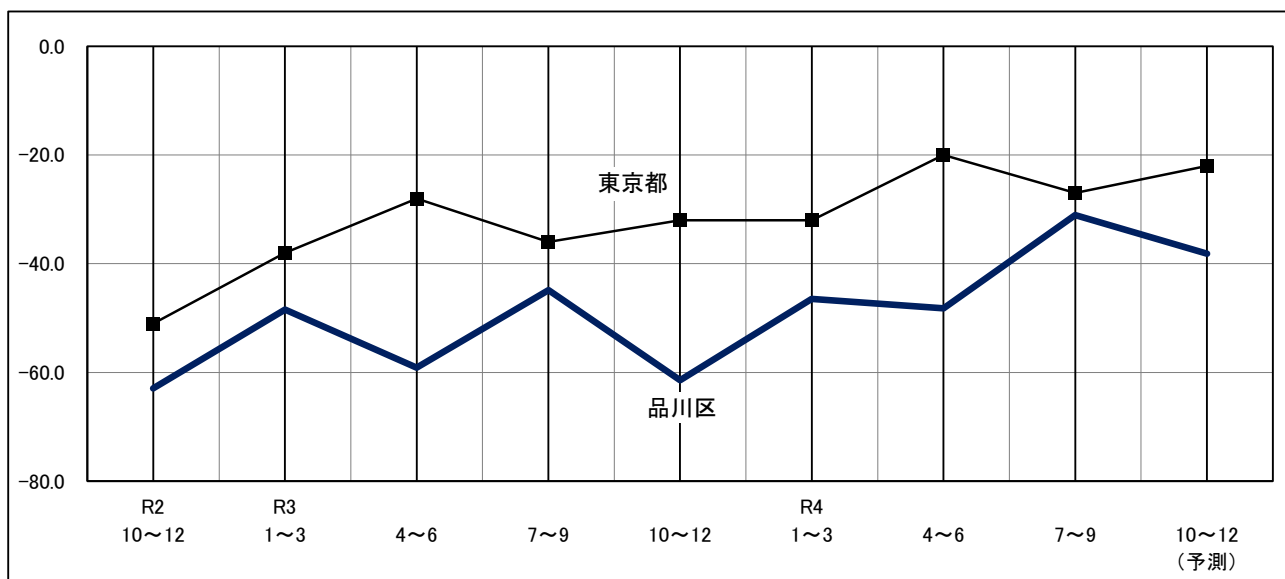
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 54%、2 位は「原材料高」が 51%、3 位は「仕入先からの値上げ要請」が 28% となった。前期 2 位だった「売上の停滞・減少」は、今期 1 位と順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 57%、2 位は「経費を節減する」が 38%、3 位は「人材を確保する」が 25% となった。前期 4 位だった「人材を確保する」は、今期 3 位と順位を上げ、令和 2 年 10~12 月期以降で最も高い割合となっている。(39 ページ参照)

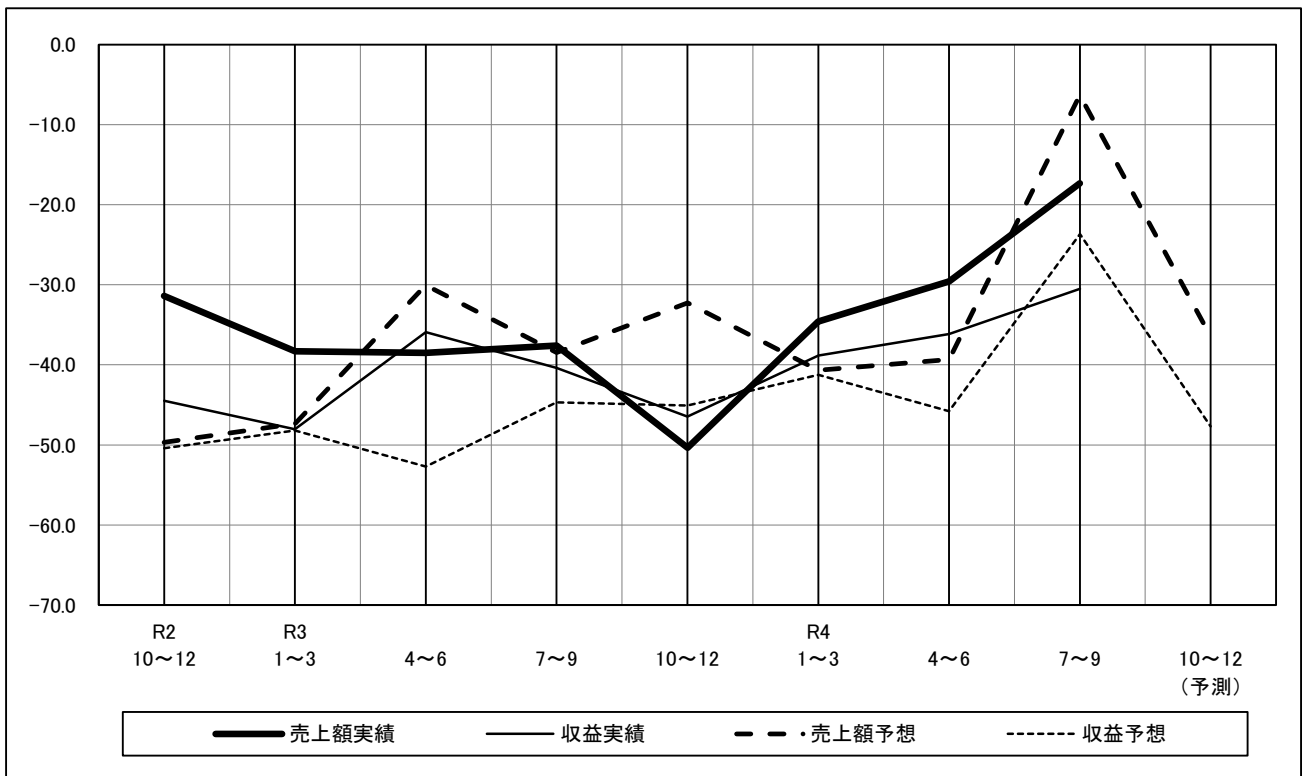
来期の見通し

業況 ($\Delta 31 \rightarrow \Delta 38$) は低調感がかなり強まる見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大すると予想されている。

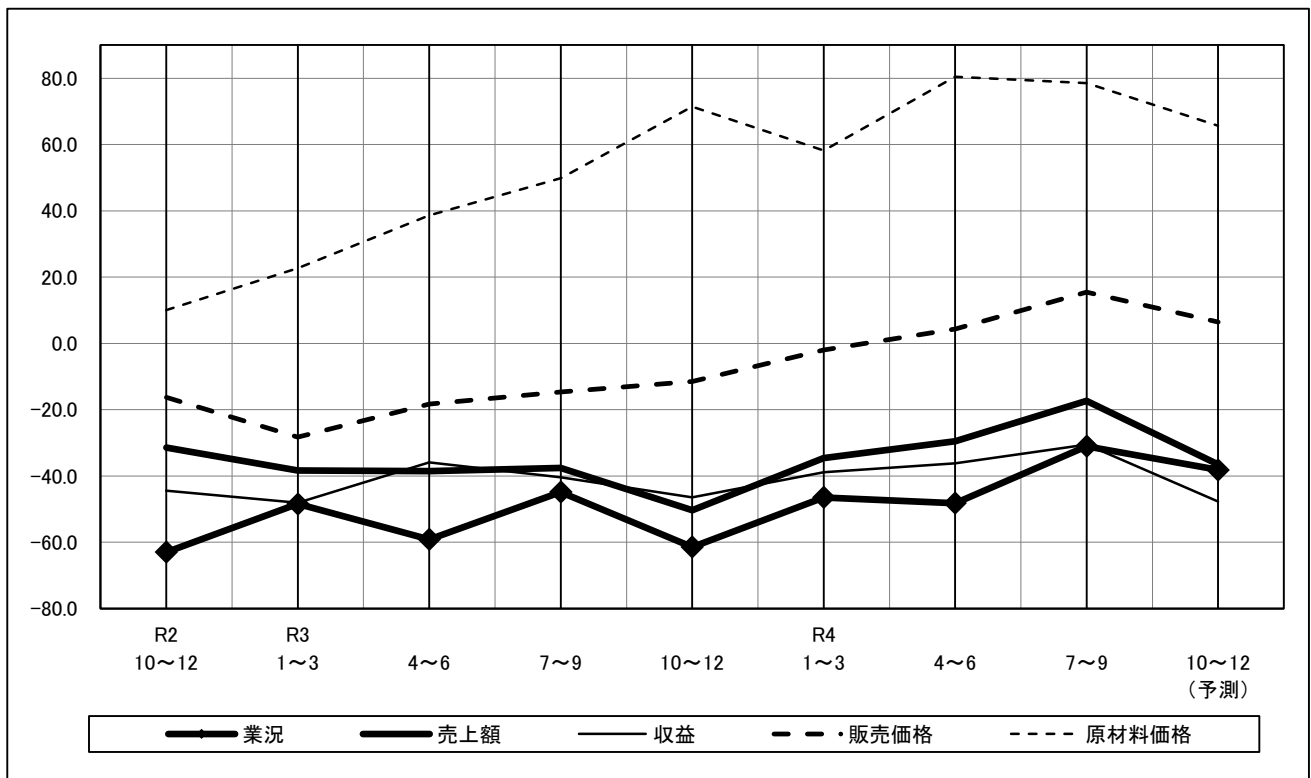
〈製造業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



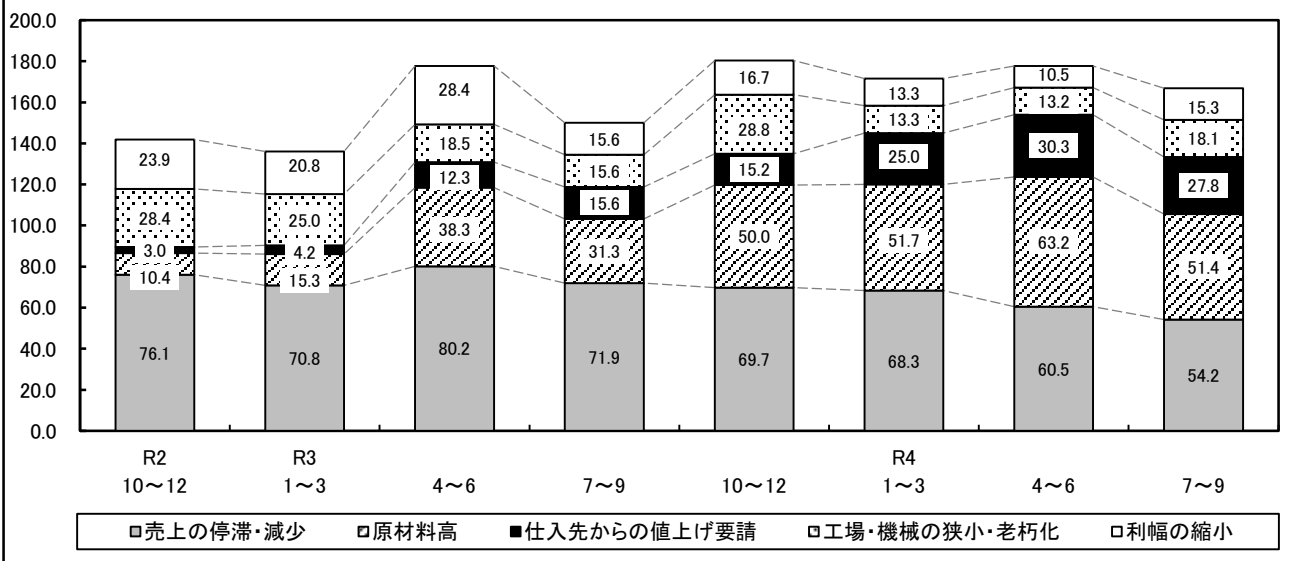
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

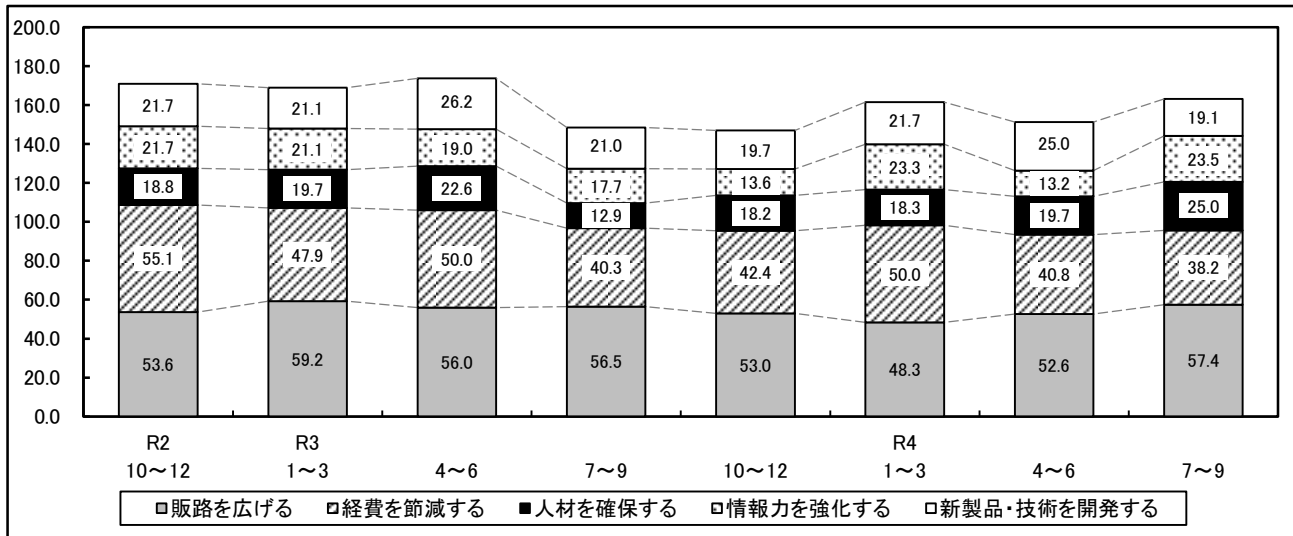


〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期		R4.7~9月期	
第1位	売上停滞・減少	69.7 %	売上停滞・減少	68.3 %	原材料高	63.2 %	売上停滞・減少	54.2 %
第2位	原材料高	50.0 %	原材料高	51.7 %	売上停滞・減少	60.5 %	原材料高	51.4 %
第3位	工場・機械の狭小・老朽化	28.8 %	仕入先からの値上げ要請	25.0 %	仕入先からの値上げ要請	30.3 %	仕入先からの値上げ要請	27.8 %
第4位	利幅の縮小	16.7 %	利幅の縮小	13.3 %	人手不足	13.2 %	工場・機械の狭小・老朽化	18.1 %
			人件費以外の経費増加	13.3 %	工場・機械の狭小・老朽化	13.2 %		
			工場・機械の狭小・老朽化	13.3 %				
第5位	仕入先からの値上げ要請	15.2 %	人手不足	11.7 %	人件費以外の経費増加	11.8 %	利幅の縮小	15.3 %

〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期		R4.7~9月期	
第1位	販路を広げる	53.0 %	経費を節減する	50.0 %	販路を広げる	52.6 %	販路を広げる	57.4 %
第2位	経費を節減する	42.4 %	販路を広げる	48.3 %	経費を節減する	40.8 %	経費を節減する	38.2 %
第3位	新製品・技術を開発する	19.7 %	情報力を強化する	23.3 %	新製品・技術を開発する	25.0 %	人材を確保する	25.0 %
第4位	人材を確保する	18.2 %	新製品・技術を開発する	21.7 %	人材を確保する	19.7 %	情報力を強化する	23.5 %
第5位	提携先を見つける	15.2 %	人材を確保する	18.3 %	情報力を強化する	13.2 %	新製品・技術を開発する	19.1 %
					教育訓練を強化する	13.2 %		

(1) 電気機械器具

業況(△69→△39)は極端に改善した。売上額(△30→△24)は減少幅がかなり縮小し、収益(△47→△43)は減少幅がやや縮小した。販売価格(27→38)は上昇傾向がかなり強まり、原材料価格(93→82)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△13→△31)は厳しさがかなり増した。来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(△26→7)は好転した。売上額(△1→9)、収益(△18→4)はともに増加に転じた。販売価格(16→18)は上昇傾向がやや強まり、原材料価格(81→89)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△4→△17)は厳しさがかなり増した。来期の業況は好調感がやや後退すると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△46→△5)は極端に改善した。売上額(△40→16)は増加に転じ、収益(△39→△11)は減少幅が極端に縮小した。販売価格(6→25)は上昇傾向がかなり強まり、原材料価格(80→82)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り(△40→△27)は厳しさがかなり和らいだ。来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

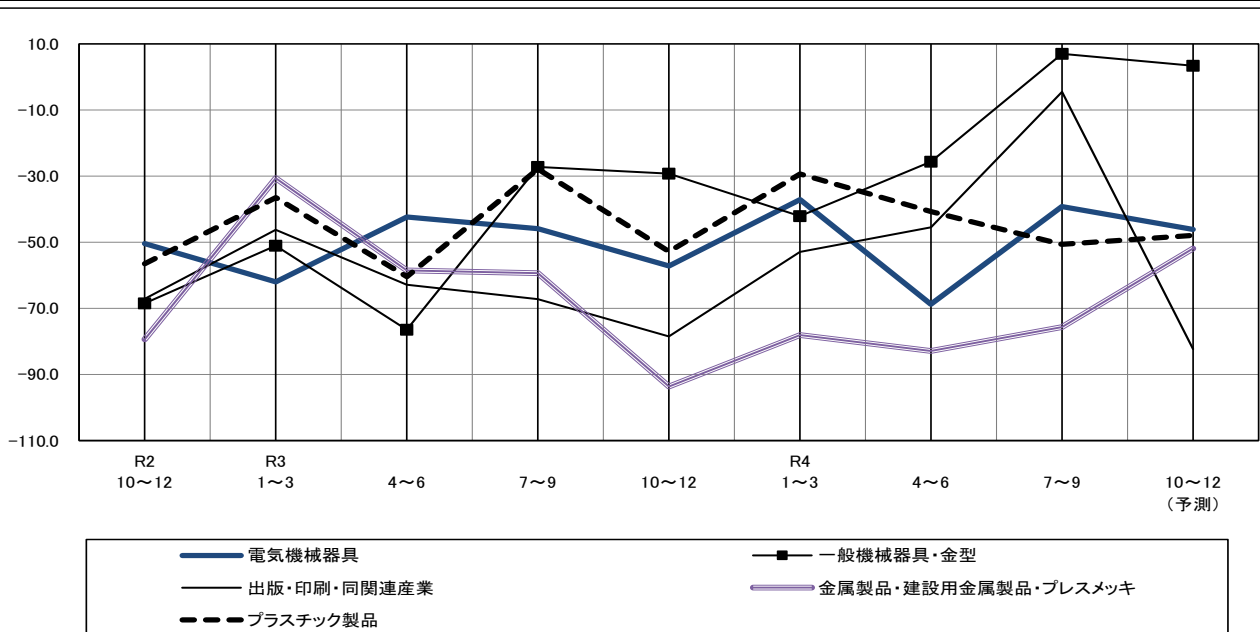
(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△83→△76)はかなり改善した。売上額(△72→△47)は減少幅が極端に縮小し、収益(△64→△64)は前期並となった。販売価格(△36→△13)は下降傾向が極端に弱まり、原材料価格(56→61)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り(△52→△45)は厳しさがかなり和らいだ。来期の業況は極端に改善すると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△41→△51)は低調感がかなり強まった。売上額(△33→△43)は減少幅がかなり拡大し、収益(△30→△53)は減少幅が極端に拡大した。販売価格(2→14)は上昇傾向がかなり強まり、原材料価格(94→82)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△34→△47)は厳しさがかなり増した。来期の業況はやや改善すると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



製造業 業種別コメント

<電気機械器具>

1. 原材料高、納入難、納期の不確定から売上が停滞している。
2. 原材料費上昇による販売価格への転嫁が難しい。
3. 部品や配材品等の品不足が慢性化しているため、工程が滞っている。
4. 円安で輸入している商品が大幅に増加。
5. 売上は今期、来期、微増しつつあるが、原材料の値上げが続き、製品に転嫁できず。
6. 受注増の中、生産能力不足、人手不足になっている。採用にも悩んでいる。
7. 現在の受注は電機部品の調達の遅れにより出荷できない状態である。来期の予想は受注増ではあるが、電機部品の調達の予定がたたず、受注残増加となる。部品調達は中国からであるため、場合によって売上減少となる。

<一般機械器具・金型>

1. 仕入の増加に比べ、売上高の値上げが難しい。
2. 諸材料の高騰、円安、国内消費の減少など、様々な影響が徐々に事業にも及びはじめている。
3. 材料に長期欠品している物があり、生産に影響が出ている。
4. 原材料が入らず納期が遅れている。対応が大変だが、売上と収益は今の所順調。
5. 得意先の機械化(3D)で仕事が減少。材料価格の高騰。
6. 従業員の高齢化と若手の人材確保。
7. 若手社員の確保(採用)が困難で人材育成、技能伝承(継承)に苦労している。
8. 生産性向上のための「ICT、IoT、AIロボット等のデジタル技術」の導入活用が出来ていないため、生産管理、原価管理が上手く出来ていない。人手不足のため求人をしているが、ほとんど応募がない。働き方改革を進めていきたい。
9. 新商品リリースに伴い、新規顧客のさらなる獲得、顧客分野の拡大に注力していくフェーズになった。
10. 機械の老朽化により、いつまで仕事を続けられるか不安。
11. 受注増の中、外注先(協力会社)が高齢のため廃業。外注先の新規開拓。

<出版・印刷・同関連産業>

1. 相変わらず新型コロナウイルス感染症の影響で研修が実施されないため、売上が落ち込んでいる。
2. 人材が確保しにくい。
3. 新商品、サービス、新規事業の展開と、現在のビジネスが終わり、新しい分野への投資が必要。
4. 受注が減っている。まだ新型コロナウイルス感染症の影響があると思う。材料が全て値上がりしてしまったが、印刷料金は上げられず困っている。

<金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ>

1. 大企業の進出により売上減少。
2. 原材料が高くなっているため、取引先も注文数を控えているため、売上の停滞・減少につながっている。
3. 従業員を世代交代したいができずに、高齢者に頼っている。
4. 受注が半減し経営が困難になっている。
5. 売上減少、工場の撤退。
6. コロナ禍による部品の不足により親企業の操業が落ち、受注が減った。

<プラスチック製品>

1. 借入が出来ない。会社の相続人がいないので65歳以上の従業員の集まりの中で少しずつ頑張っていこうと思う。
2. 大企業の売上減少に伴い、弊社の部品も売れない。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 50 \rightarrow \Delta 43$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 20 \rightarrow \Delta 15$) は減少幅がやや縮小し、収益 ($\Delta 28 \rightarrow \Delta 31$) は減少幅がやや拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は 14 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 (35→37)、仕入価格 (69→73) はともに上昇傾向がやや強まった。在庫 (8→9) は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 11$) は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度 ($\Delta 2 \rightarrow 4$) は好転した。今期借入れをした企業は 33%で前期の 31%から 2 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

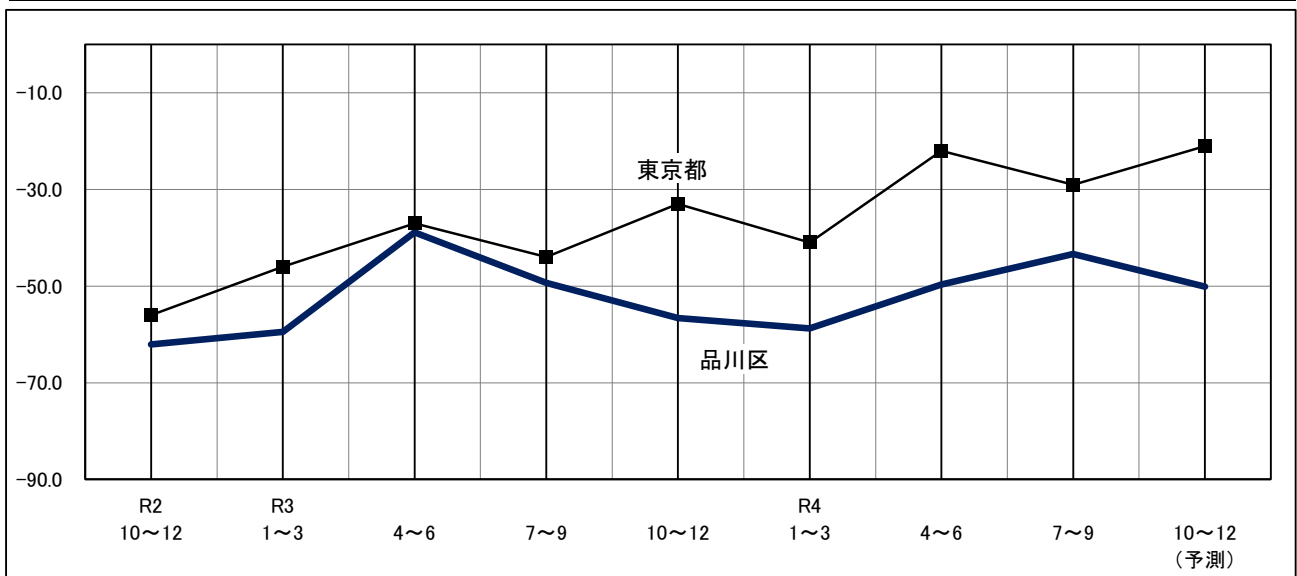
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が 63%、2位は「仕入先からの値上げ要請」が 43%、3位は「為替レートの変動」が 31%となった。前期から上位項目に変動はなかったものの、「仕入先からの値上げ要請」は、令和 2 年 10~12 月期以降で最も高い割合となっている。(41 ページ参照)

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が 67%、2位は「経費を節減する」が 50%、3位は「情報力を強化する」が 32%となった。前期から上位項目に変動はなかったものの、「経費を節減する」は、令和 2 年 10~12 月期以降で最も高い割合となっている。(41 ページ参照)

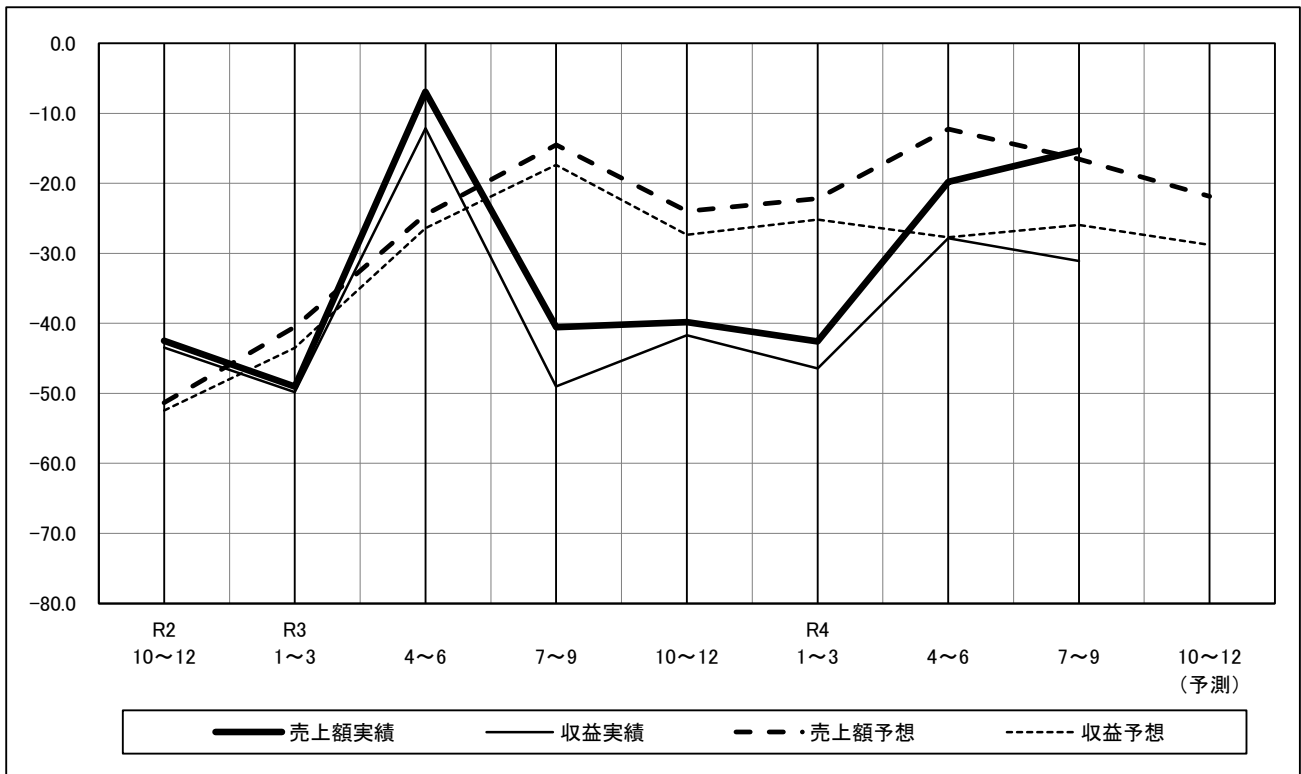
来期の見通し

業況 ($\Delta 43 \rightarrow \Delta 50$) は低調感がかなり強まる見込み。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は減少幅がやや縮小すると予想されている。

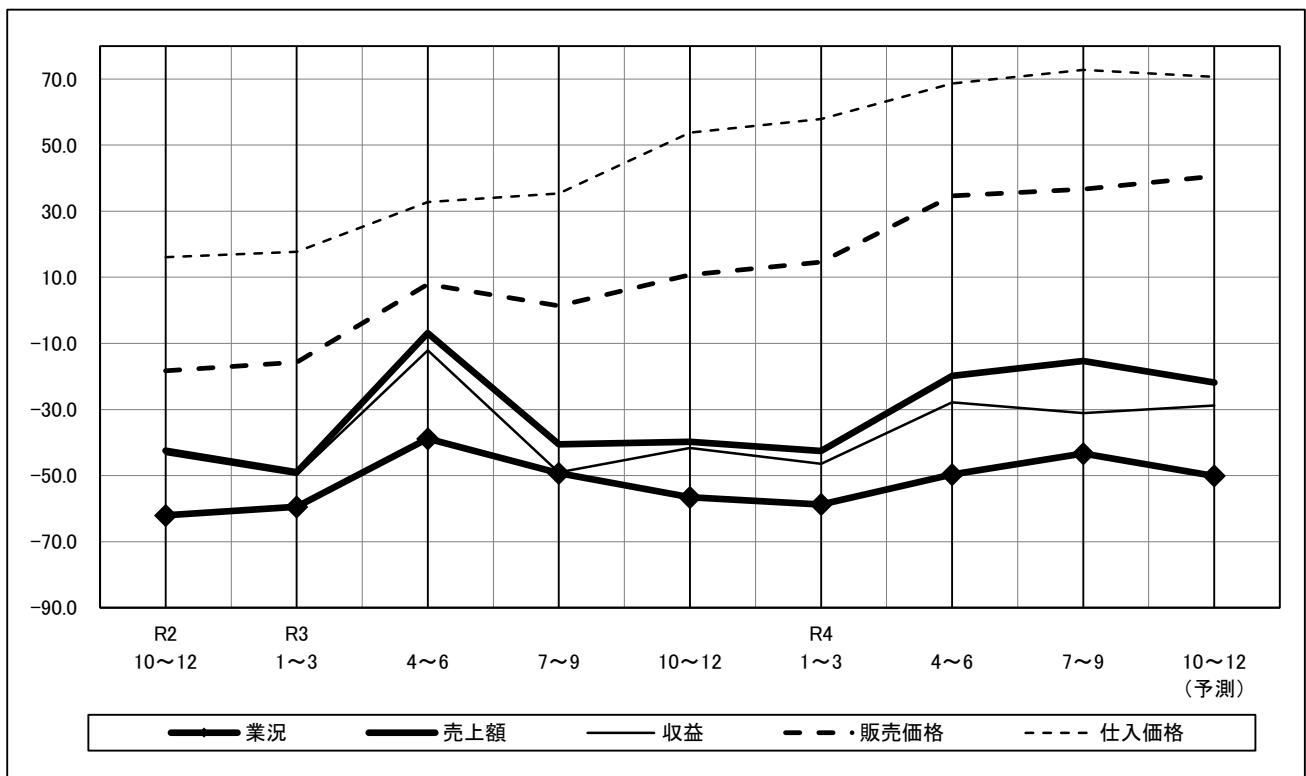
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



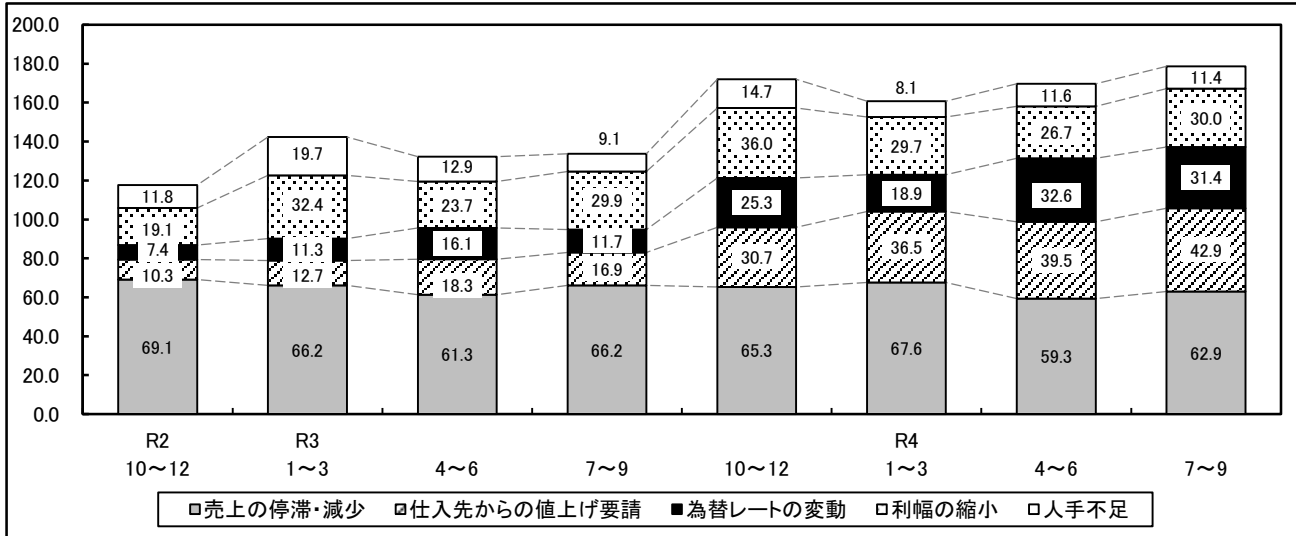
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

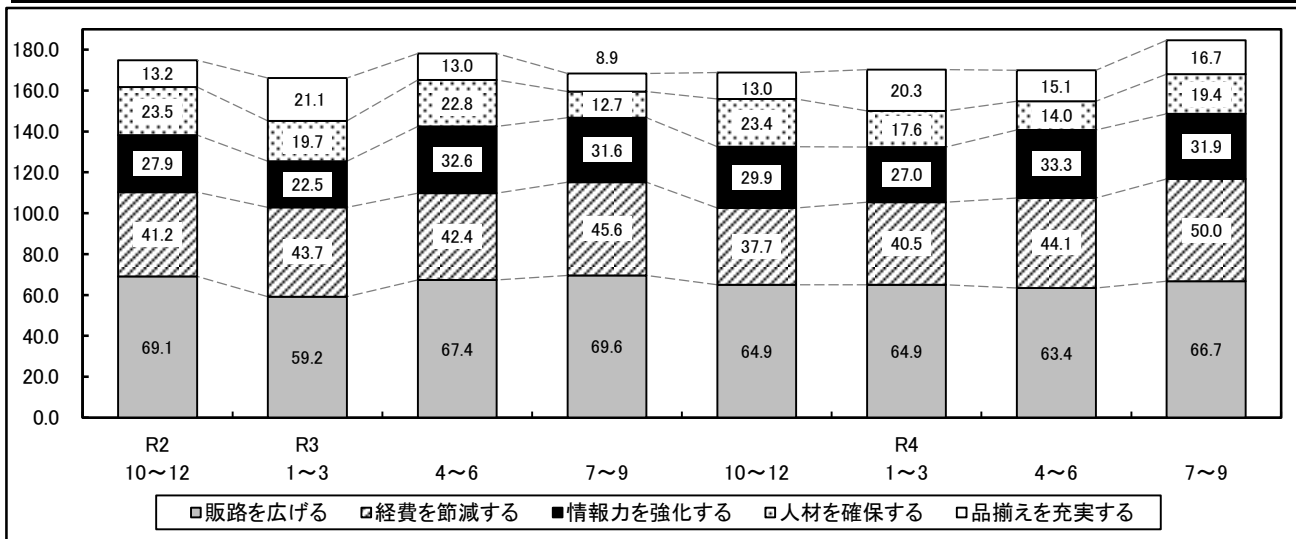


〈卸売業〉 経営上の問題点 (%)



	R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期		R4.7~9月期	
第1位	売上停滞・減少	65.3 %	売上停滞・減少	67.6 %	売上停滞・減少	59.3 %	売上停滞・減少	62.9 %
第2位	利幅の縮小	36.0 %	仕入先からの値上げ要請	36.5 %	仕入先からの値上げ要請	39.5 %	仕入先からの値上げ要請	42.9 %
第3位	仕入先からの値上げ要請	30.7 %	利幅の縮小	29.7 %	為替レートの変動	32.6 %	為替レートの変動	31.4 %
第4位	為替レートの変動	25.3 %	同業者間の競争の激化	23.0 %	利幅の縮小	26.7 %	利幅の縮小	30.0 %
第5位	取引先の減少	22.7 %	取引先の減少	18.9 %	同業者間の競争の激化	15.1 %	人手不足	11.4 %
			為替レートの変動	18.9 %			販売商品の不足	11.4 %
							取引先の減少	11.4 %

〈卸売業〉 重点経営施策 (%)



	R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期		R4.7~9月期	
第1位	販路を広げる	64.9 %	販路を広げる	64.9 %	販路を広げる	63.4 %	販路を広げる	66.7 %
第2位	経費を節減する	37.7 %	経費を節減する	40.5 %	経費を節減する	44.1 %	経費を節減する	50.0 %
第3位	情報力を強化する	29.9 %	情報力を強化する	27.0 %	情報力を強化する	33.3 %	情報力を強化する	31.9 %
第4位	人材を確保する	23.4 %	品揃えを充実する	20.3 %	新しい事業を始める	16.1 %	人材を確保する	19.4 %
第5位	新しい事業を始める	14.3 %	新しい事業を始める	17.6 %	品揃えを充実する	15.1 %	品揃えを充実する	16.7 %
			人材を確保する	17.6 %				

卸売業 業種別コメント

1. 半導体不足等による材料不足によって売上が減少している。
2. 不動産価格が高騰し、供給する商品に対して需要側がついていけない状況。
3. 景気や取引先の状況にとらわれない新事業に転換したため、1年間程は売上減、収益減に。
4. 為替予約があるので3月までは現価格で販売できるが、4月から25%の値上げがないと苦しくなる。値上げが受け入れられるか不安。上げられなければ赤字。
5. 大幅な原価上昇分を販売価格に転換できていない状況。
6. 円安により輸入価格が上昇、売上減少。
7. 少しずつ売上は戻りつつあるが、仕入商品が軒並み値上げなので利益が減少している。値上げするも赤字幅を補うほどの大きな価格変更は出来ず苦しんでいる。売上が上がっても利幅が少なく、今後の営業が不安。
8. コストアップと需要減に対応しなくてはならない。
9. 賃貸物件の空室が埋まらない。働き方が変化し、美容院、飲食店従業員の減少が考えられる。
10. 飲食店への商品のオーダーが増加しないので、売上が増加せず見通しも立たない。
11. 海外向けの販売が国内仕入先の遅延(供給)により、売上に影響をもたらしている。
12. 仕入に関し1回目の値上げが一段落したと思ったら第2弾の値上げが控えていた。メーカーがシステムにて当方の顧客や販売動向を把握しているようで、メーカーによるランク付けや仕入価格の決定力に対応出来なくなっている。メーカーの情報力が大きすぎて市場動向を左右されそうである。
13. 現状は価格への転嫁が出来ているので売上は上昇している。
14. 客先が部品不足で生産減のため影響がある。
15. 値上げの要請が続き、対応に追われている。
16. 主力取引先から安定して受注を確保している。
17. ネット販売が増えて、価格競争により利益確保が難しい。
18. 今春から仕入先の値上げ要請に加え、新型コロナウイルス感染症、ウクライナの影響で商品が入荷せず。販売価格は年間単価契約先もあり、来年4月から改定。
19. 仕入価格の上昇による資金繰りの悪化。
20. 主要取引先から安定して受注を確保している。
21. 様々な要因による製品価格の上昇により、顧客(施主)が投資を停滞・延期する事が不安材料である。
22. 半導体関係の商品不足。仕入したくても商品がない。
23. 円安により仕入額の上昇、それに伴い販売価格の値上げにより売上台数の減少。物価上昇により消費者の買い控え。
24. 為替変動が急で、収益への影響が大きい。
25. 仕入商品の値上げが激しく、売値に転嫁できていない。
26. 輸入素材の高騰(仕入原価)と市場の冷え込みによる損益悪化。23年度に期待する。
27. 公共事業の発注状況により一進一退の状況。
28. 緊急対応やスポット的受注を獲得。
29. 10~12月の需要が前年比で下がり、売上が減少傾向。仕入先からの値上げ要請で原価高、また為替影響による原価高で収益が減少傾向。
30. 安定して受注を確保しているが、人手不足のため、拡販出来ていない。
31. 仕入先の値上げ、円安、国際的に輸送費の激値上げの影響を受け、販売価格に転嫁した結果、売上の低下となる。国産品との競争激化。
32. 需要が増え増収傾向にあるが、輸入品のため仕入れ価格が高騰している。販売価格に転嫁しきれず減益傾向のため、経営は楽ではない。
33. インバウンド需要がない。中国系の人がない。
34. 取引先であるエステティックサロンの業況が、ここにきて悪化していると見受けられ、商品の流通が滞っている。
35. ここ1年間で仕入価格の上昇が止まらない。原材料費の上昇や原油高、円安と要因は様々だが、お客様の買い控えで売上が伸びない。
36. 主要取引先から安定して受注を確保している。
37. 市場環境の変化、急激な円安など、従来通りでは収益力が低下。新規事業、新分野への挑戦をもっとスピードアップしなければ存続できない。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△32→△56)は低調感が極端に強まった。売上額(4→△24)は増加から減少に転じ、収益(△6→△30)は減少幅が極端に拡大した。
 なお、全都と比較した当区の業況は1ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(28→26)は上昇傾向がやや弱まり、仕入価格(72→73)は前期並となった。在庫(9→15)は過剰感がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△17→△16)は前期並となり、借入難易度(△9→△13)はやや悪化した。今期借入れをした企業は19%で前期の17%から2ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

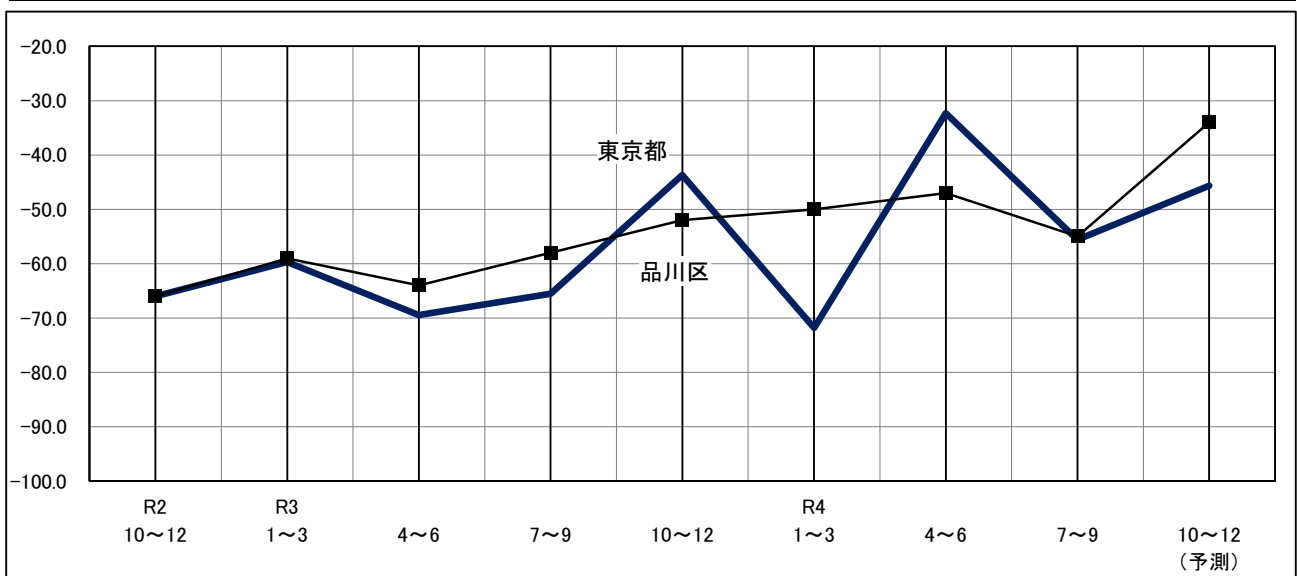
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が70%、2位は「仕入先からの値上げ要請」が51%、3位は「人手不足」が33%となった。前期から上位項目に変動はなかったものの、「仕入先からの値上げ要請」は、令和2年10～12月期以降で最も高い割合となっている。(43ページ参照)

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が68%、2位は「宣伝・広報を強化する」が34%、3位は「人材を確保する」が24%となった。前期4位だった「宣伝・広報を強化する」が今期2位と順位を上げ、令和2年10～12月期以降で最も高い割合となっている。(43ページ参照)

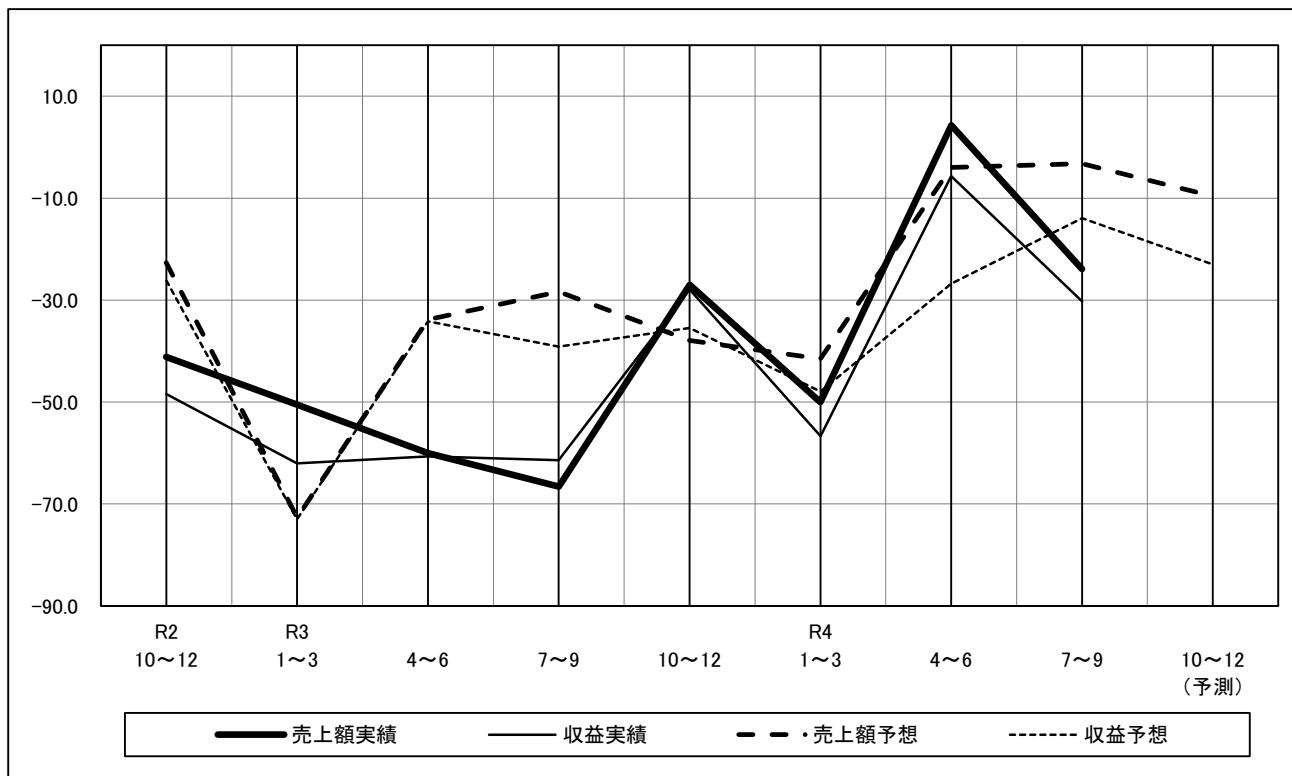
来期の見通し

業況(△56→△46)はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小すると予想されている。

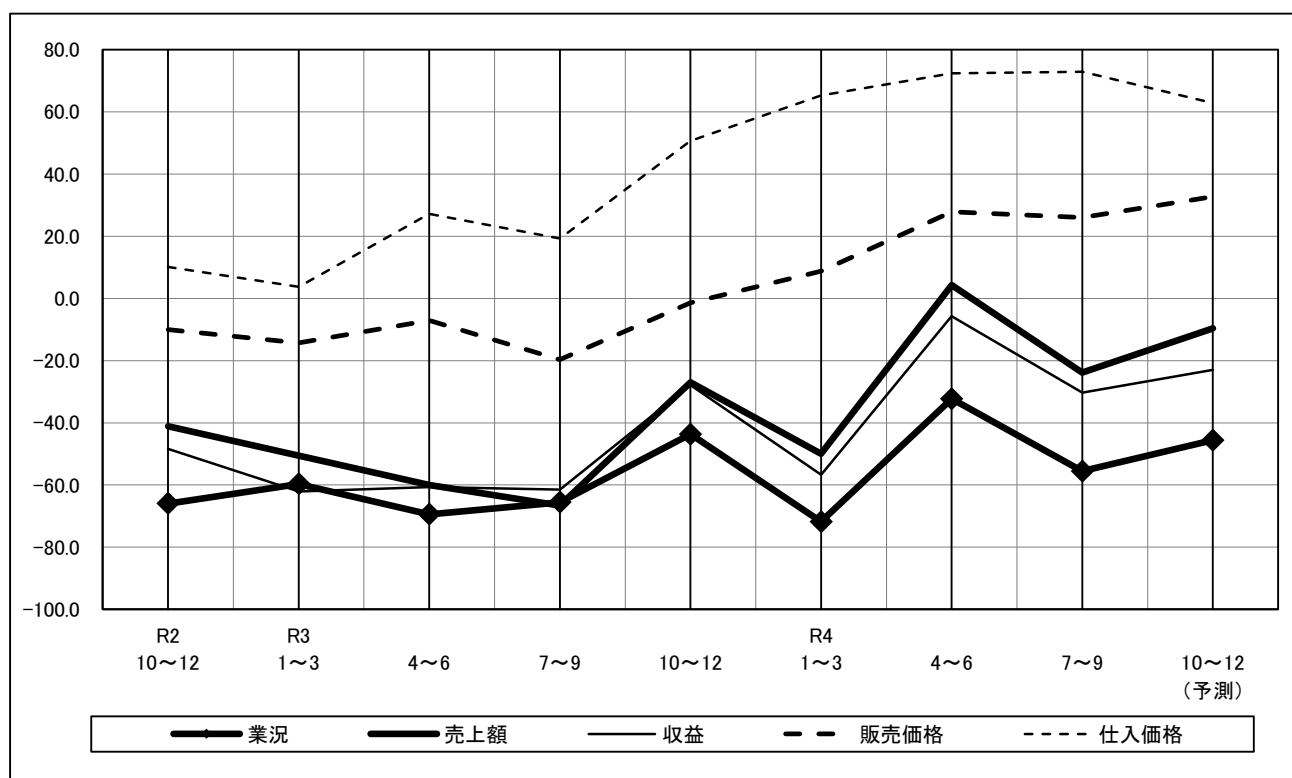
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



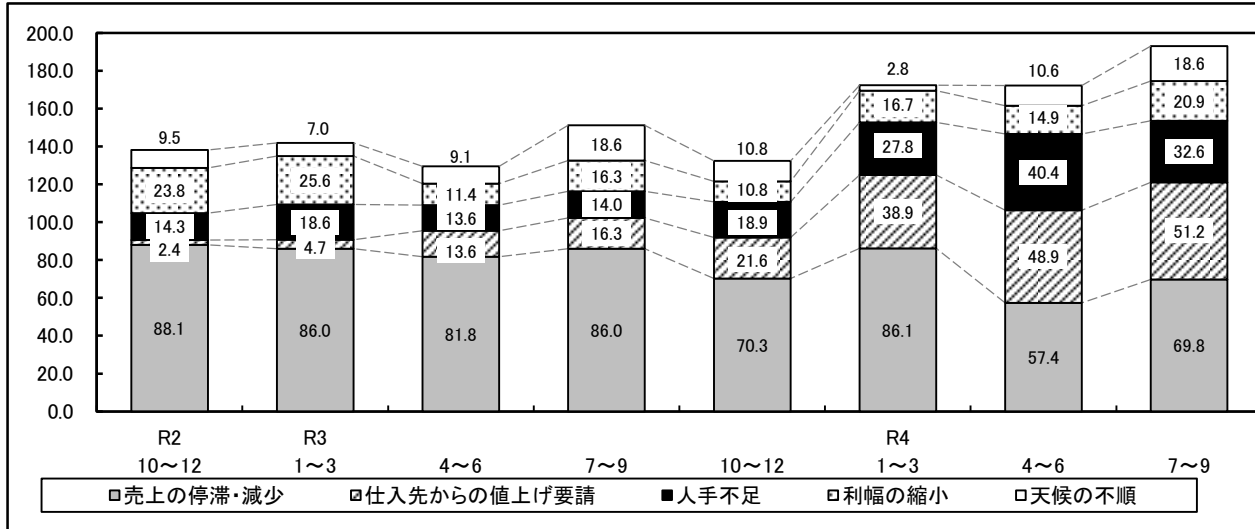
〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

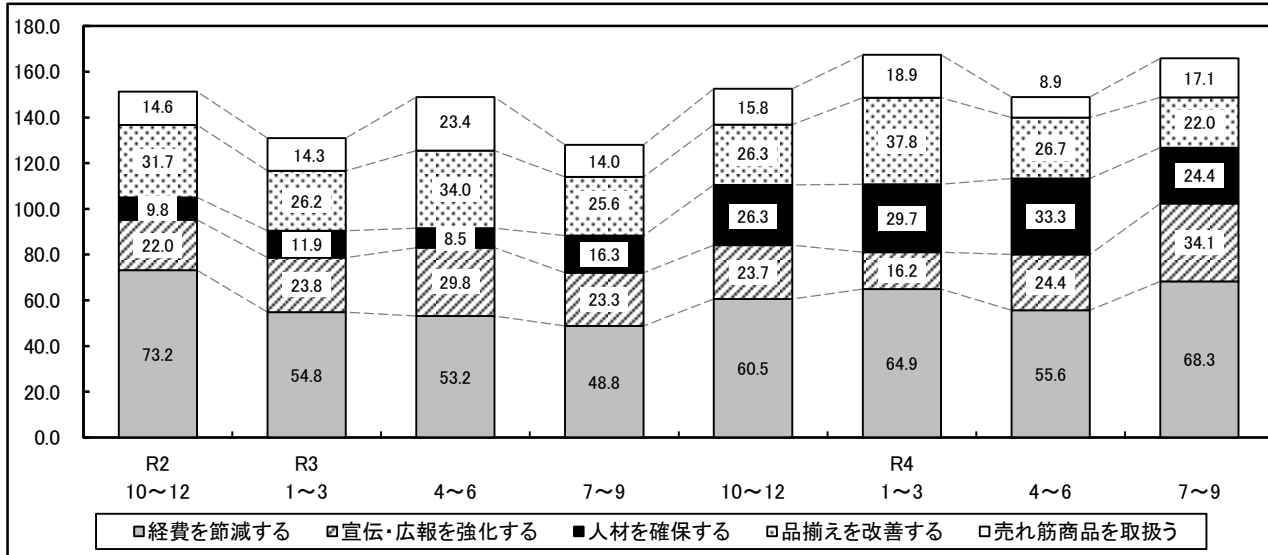


〈小売業〉 経営上の問題点 (%)



	R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期		R4.7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	70.3 %	売上の停滞・減少	86.1 %	売上の停滞・減少	57.4 %	売上の停滞・減少	69.8 %
第2位	人件費の増加	24.3 %	仕入先からの値上げ要請	38.9 %	仕入先からの値上げ要請	48.9 %	仕入先からの値上げ要請	51.2 %
第3位	仕入先からの値上げ要請	21.6 %	人手不足	27.8 %	人手不足	40.4 %	人手不足	32.6 %
第4位	人手不足	18.9 %	利幅の縮小	16.7 %	人件費の増加	25.5 %	利幅の縮小	20.9 %
第5位	商店街の集客力の低下	16.2 %	人件費の増加 人件費以外の経費の増加 商店街の集客力の低下	11.1 % 11.1 % 11.1 %	人件費以外の経費の増加	17.0 %	天候の不順	18.6 %

〈小売業〉 重点経営施策 (%)



	R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期		R4.7~9月期	
第1位	経費を節減する	60.5 %	経費を節減する	64.9 %	経費を節減する	55.6 %	経費を節減する	68.3 %
第2位	仕入先を開拓・選別する	28.9 %	品揃えを改善する	37.8 %	人材を確保する	33.3 %	宣伝・広報を強化する	34.1 %
第3位	品揃えを改善する 人材を確保する	26.3 % 26.3 %	人材を確保する	29.7 %	品揃えを改善する	26.7 %	人材を確保する	24.4 %
第4位	宣伝・広報を強化する	23.7 %	新しい事業を始める 売れ筋商品を取扱う	18.9 % 18.9 %	宣伝・広報を強化する 新しい事業を始める	24.4 % 24.4 %	品揃えを改善する	22.0 %
第5位	新しい事業を始める 店舗・設備を改装する 売れ筋商品を取扱う	15.8 % 15.8 % 15.8 %	宣伝・広報を強化する	16.2 %	仕入先を開拓・選別する	15.6 %	売れ筋商品を取扱う	17.1 %

(1) 飲食料品

業況(△23→△40)は低調感がかなり強まった。売上額(△20→△44)は減少幅が極端に拡大し、収益(△17→△36)は減少幅がかなり拡大した。販売価格(13→24)は上昇傾向がかなり強まり、仕入価格(61→65)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り(△29→△20)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(2) 飲食店

業況(△39→△67)は低調感が極端に強まった。売上額(17→△12)、収益(2→△30)はともに増加から減少に転じた。販売価格(39→33)は上昇傾向がかなり弱まり、仕入価格(88→89)は前期並となった。資金繰り(△8→△16)は厳しさがかなり増した。

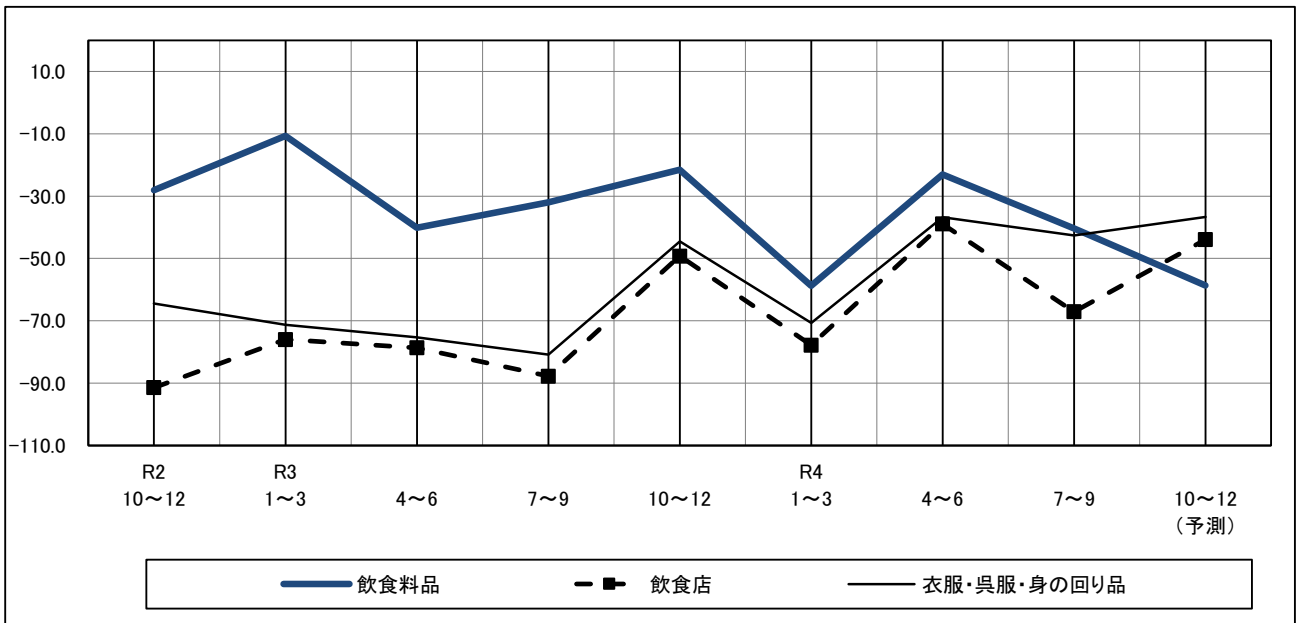
来期の業況は極端に改善すると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(△37→△43)は低調感がかなり強まった。売上額(△18→△38)は減少幅が極端に拡大し、収益(△30→△30)は前期並となった。販売価格(15→13)、仕入価格(54→52)はともに上昇傾向がやや弱まった。資金繰り(△23→△20)は厳しさがやや和らいだ。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

<飲食料品>

1. 円安が続き仕入が高止まり。競合店がそれでも値下げして販売しているため、我慢比べになっており、いずれは衰退せざるを得なくなる。
2. 仕入が高い。
3. 順調に売上が伸びている。さらに売上を伸ばすには倉庫が必要だが、地価の高騰により難しい状況。
4. オフィスのテレワーク導入により、客数が減少。賃金の上昇、人材不足、水道光熱費の上昇。
5. コロナ禍においてパーティー等が減った。ケータリングを主とした事業のため、苦しい状況が続いている。
6. 材料費仕入価格が10%~30%暴騰。中には倍の原材料もある。売価に転嫁出来ない。
7. 品揃えを強化した結果、運送費などが増大。それらを考慮し商品単価が上がったことで客層が変化。利益率は改善したが購入数が減り、売上高の増加にはまだ至らず、厳しい経営が続いている。

<飲食店>

1. 売上の低迷に伴う資金繰りの悪化。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響が残っているため、予約や来客数が戻ってきていない。
3. テレワークの定着により来客数が減った。
4. 原価（材料、光熱費、人件費）の高騰。
5. 仕入額が大幅に上がり、値上げすると売上が減る。最低賃金の上昇で人件費増加。人件費の増加に伴い人材確保のための求人費増加。エネルギーコストの増加。円安の恩恵を受けない企業にとっては負の連鎖。
6. 新型コロナウイルス感染症の影響でいまだに宴会禁止の企業があるため、なかなか飲食店としての売上が伸びない。

7. 材料費の値上がり、人件費の値上がり、新型コロナウイルス感染症の影響により客足が遠のき、今後も厳しい状況が続くと予想される。
8. 人手不足。人材が思うように集まらない。
9. 経費節減に努めているが、材料費や仕入費用が値上がりしている。
10. 新型コロナウイルス感染症前の売上は概ね確保できている。原価上昇分は価格転嫁できているが、人件費、その他の経費の増加分は転嫁できていない。
11. 人手不足で営業時間が確保できない。

<衣服・呉服・身の回り品>

1. 非常に悪い。新型コロナウイルス感染症が長引きすぎて生活形態が変わってしまった。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化が路面店の営業を極めて悪くしている。商店街に中年以上の買い物客の姿が見られない。早く活性化することが望まれる。
3. 新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ続き、商品価格の上昇が続いている。
4. 仕入原価の上昇を販売価格に転嫁できない。
5. 円安による輸入品の値上がりのため、オリジナルを強化。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 26 \rightarrow \Delta 18$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 8 \rightarrow 0$) は減少幅がかなり縮小し、収益 ($\Delta 9 \rightarrow \Delta 6$) は減少幅がやや縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は7ポイント上回っている。

価格・在庫動向

料金価格 ($15 \rightarrow 12$) は上昇傾向がやや弱まり、材料価格 ($47 \rightarrow 36$) は上昇傾向がかなり弱まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 6 \rightarrow \Delta 12$) は厳しさがかなり増し、借入難易度 ($0 \rightarrow 3$) は容易さがやや増した。今期借入れをした企業は17%で前期の23%から6ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

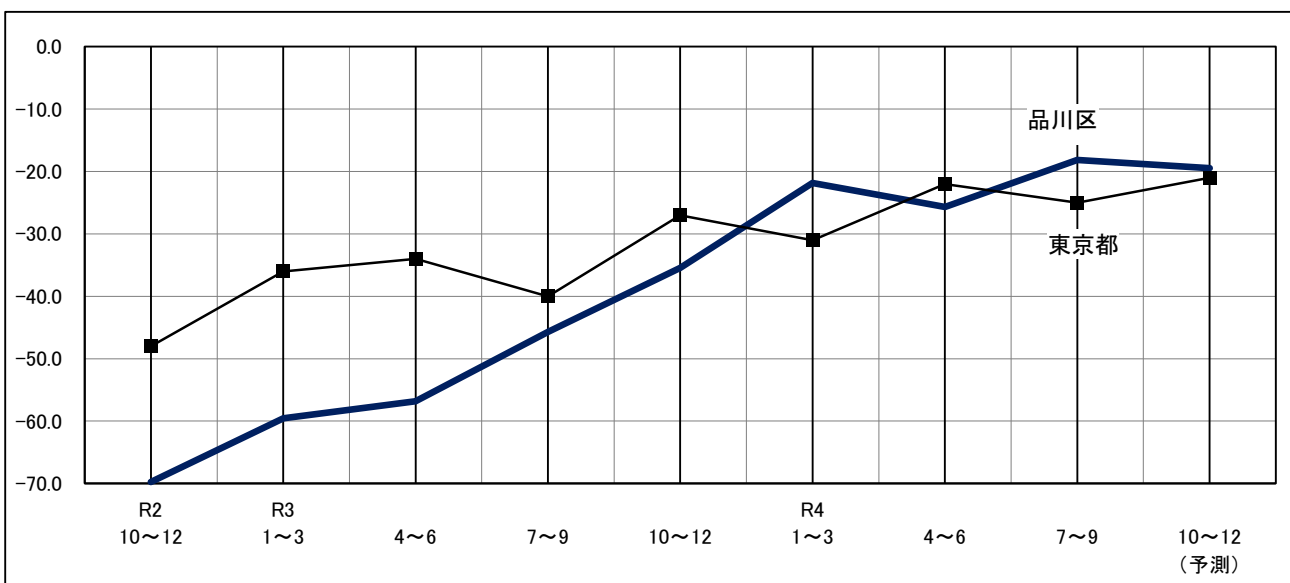
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が53%、2位は「人手不足」が33%、3位は「人件費の増加」が28%となった。前期4位だった「人件費の増加」が今期3位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が49%、2位は「販路を広げる」が48%、3位は「人材を確保する」が45%となった。前期と比べ、2位と3位の入れ替わりはあったが、上位3項目に変動はなかった。

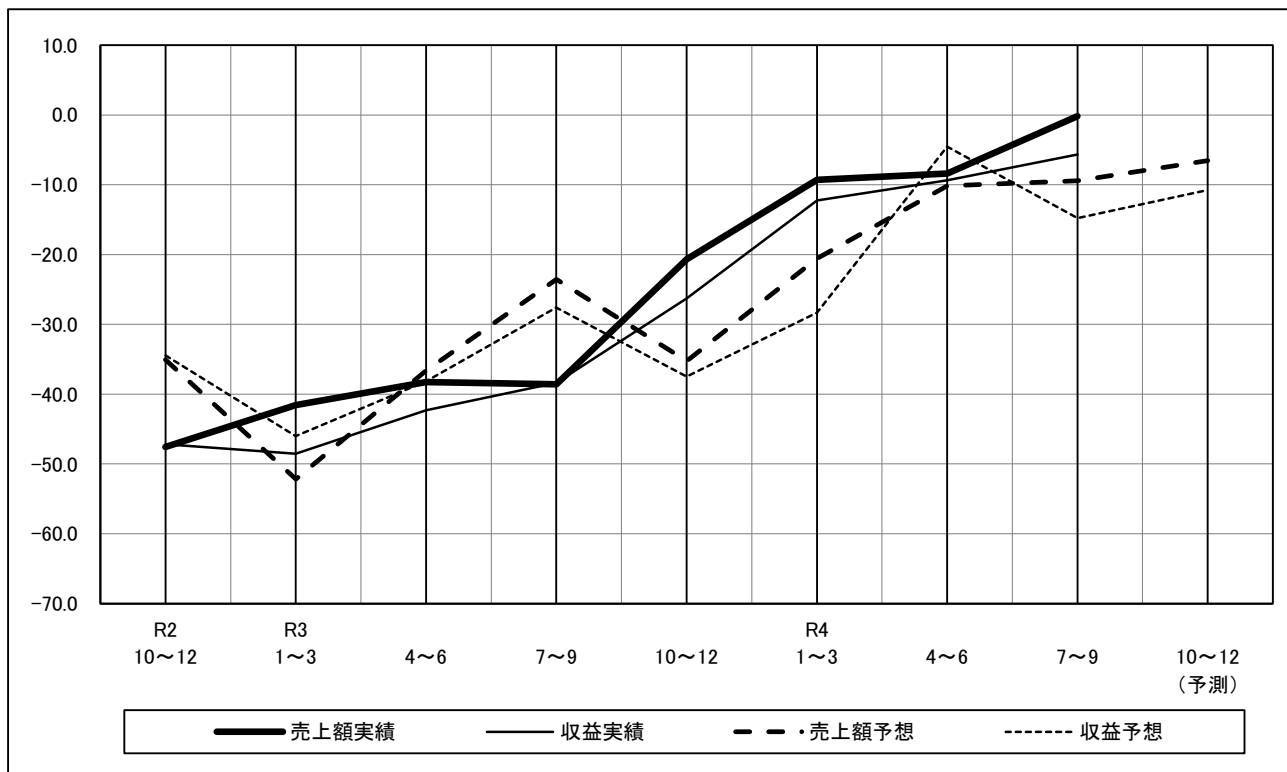
来期の見通し

業況 ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 19$) は今期並となる見込み。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は減少幅がやや拡大すると予想されている。

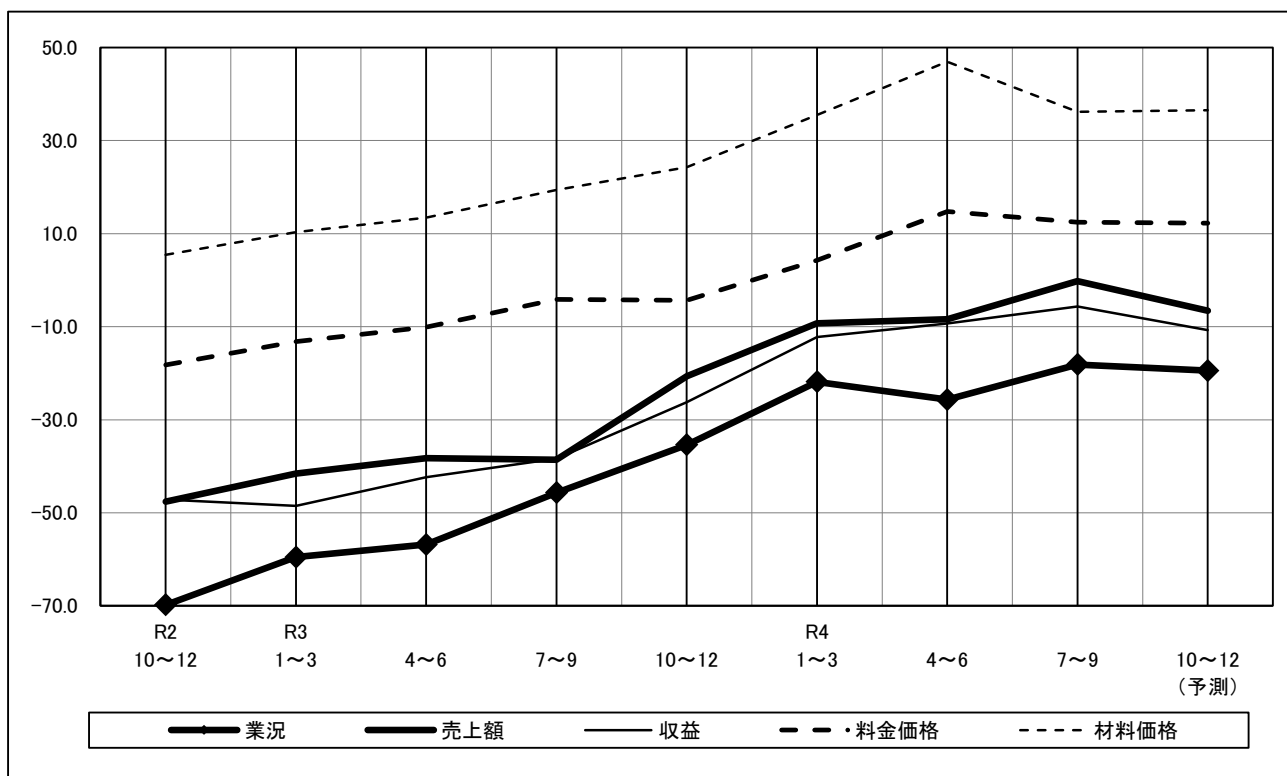
〈サービス業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



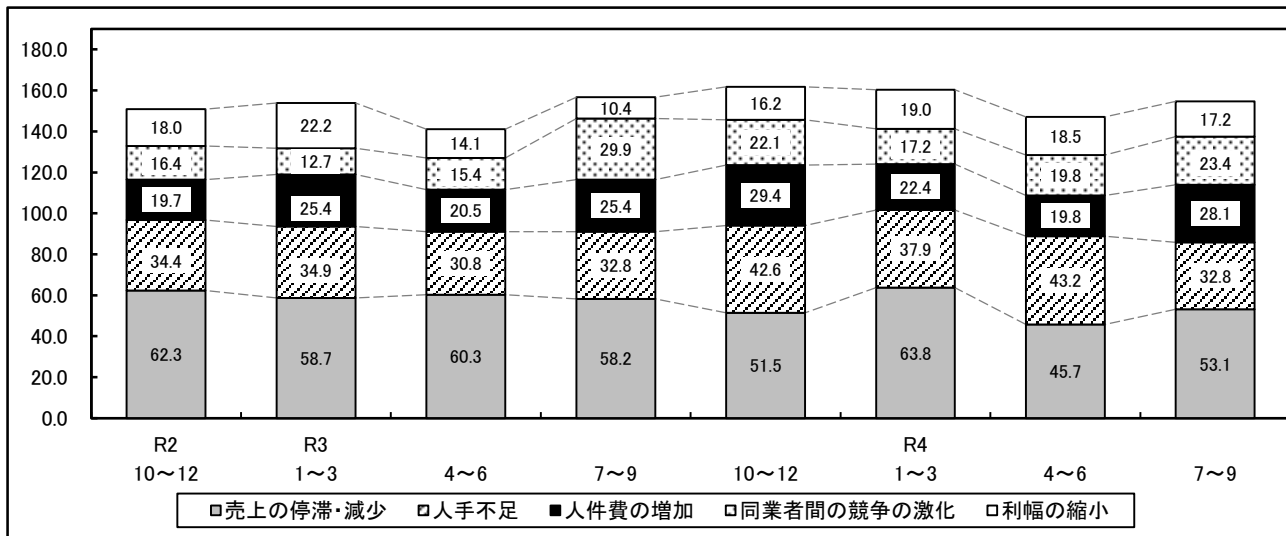
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

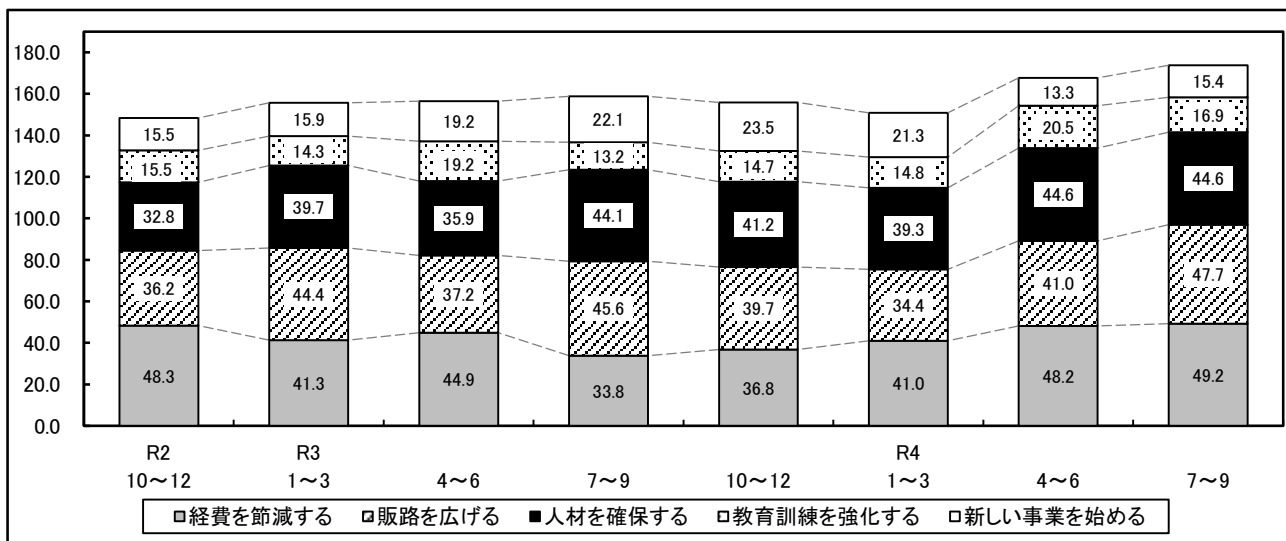


〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期		R4.7~9月期	
第1位	売上停滞・減少	51.5 %	売上停滞・減少	63.8 %	売上停滞・減少	45.7 %	売上停滞・減少	53.1 %
第2位	人手不足	42.6 %	人手不足	37.9 %	人手不足	43.2 %	人手不足	32.8 %
第3位	人件費の増加	29.4 %	材料価格の上昇	22.4 %	材料価格の上昇	22.2 %	人件費の増加	28.1 %
第4位	同業者間の競争の激化	22.1 %	人件費の増加	22.4 %	同業者間の競争の激化	19.8 %	同業者間の競争の激化	23.4 %
第5位	技術力の不足	19.1 %	利幅の縮小	19.0 %	人件費の増加	19.8 %	利幅の縮小	17.2 %
			同業者間の競争の激化	17.2 %	利幅の縮小	18.5 %	材料価格の上昇	17.2 %

〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期		R4.7~9月期	
第1位	人材を確保する	41.2 %	経費を節減する	41.0 %	経費を節減する	48.2 %	経費を節減する	49.2 %
第2位	販路を広げる	39.7 %	人材を確保する	39.3 %	人材を確保する	44.6 %	販路を広げる	47.7 %
第3位	経費を節減する	36.8 %	販路を広げる	34.4 %	販路を広げる	41.0 %	人材を確保する	44.6 %
第4位	新しい事業を始める	23.5 %	新しい事業を始める	21.3 %	教育訓練を強化する	20.5 %	教育訓練を強化する	16.9 %
第5位	技術力を強化する	20.6 %	技術力を強化する	19.7 %	技術力を強化する	15.7 %	新しい事業を始める	15.4 %
							労働条件を改善する	15.4 %

サービス業 業種別コメント

1. 新型コロナウイルス感染症による生活の変化によって需要の減少。原材料の値上がりによる影響が大きい。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響が残っており、客数が減少傾向である。
3. 新型コロナウイルス感染症で落ちた時よりは業績が上がってきてはいるが、来店者の伸びがあまり良くない。コロナ禍前には戻っていないため、売上が停滞している。
4. 少しずつではあるが、客が戻ってきていると思う。材料等仕入、電気代の値上がり。
5. 経費削減に努めているが、人件費は物価高のため、従業員の生活を思うと、給料はもっと増やしてやりたい。
6. 新型コロナウイルス感染症による世界的物流、生産の停滞による製品納期の長期化により、業務量が減少している。新型コロナウイルス感染症により従業員の稼働率が低下し業績に悪影響を与えている。
7. 売上高の減少により収益性が悪化している。下期に向けた新規営業の対策が必要と考える。
8. 人材不足により業務過多となっている。
9. 借入ができず資金繰りが苦しい。
10. 経費削減に努めているが、材料費や仕入費用が値上がりしている。
11. 物価の上昇、人件費の上昇が起きても売上額が増えるわけではないので、どんどん苦しくなる。
12. 半導体不足等により、物品および工事が進まない。
13. 従来のお客様との取引は安定しており、売上も収益も現状維持といったところ。反面、新規顧客の獲得が困難。
14. 人手不足のため募集経費が増加。
15. 同業他社との競合により売上の圧迫が続いている。
16. 展開地域を全国に広げ、規模拡大し増益を予定している。
17. 新型コロナウイルス感染症収束後、売上と利益ともに回復しているが社内体制に課題があるため、今期末で改善を伝え、来期より実施する。円安や世界情勢での影響により原価率が大幅に上がっているため、経費削減と目標達成するための意識を高めてもらうためにも、資金不足による融資をいったん見送り、利益内での運営で様子を見たい。
18. 給食事業において、企業の在宅勤務等で喫食率が下がり売上減。材料費、最低賃金の上昇で経費増が止まらない。
19. 円安による販売の増加がある。
20. 新規事業を始めたいと思っても資金繰りなどが難しい。販路拡大を目指しても資金的なところで停滞してしまう。
21. 同業他社との競争の結果、大手取引先との取引にキャップがかかることとなり、申込数の減少が見込まれる。
22. 急な売上減が続いている。新しい販路開拓に向けて進めている。
23. ブランド力が上がっている。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△36→△33)はやや改善した。売上額(△33→△26)、施工高(△31→△21)はともに減少幅がかなり縮小した。収益(△30→△26)は減少幅がやや縮小した。

価格・在庫動向

請負価格(△29→△18)は下降傾向がかなり弱まり、材料価格(75→76)は前期並となった。在庫(△16→△4)は不足感がかなり改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△24→△27)は厳しさがやや増し、借入難易度(2→△4)は厳しい状況に転じた。今期借入れをした企業は35%で前期の31%から4ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

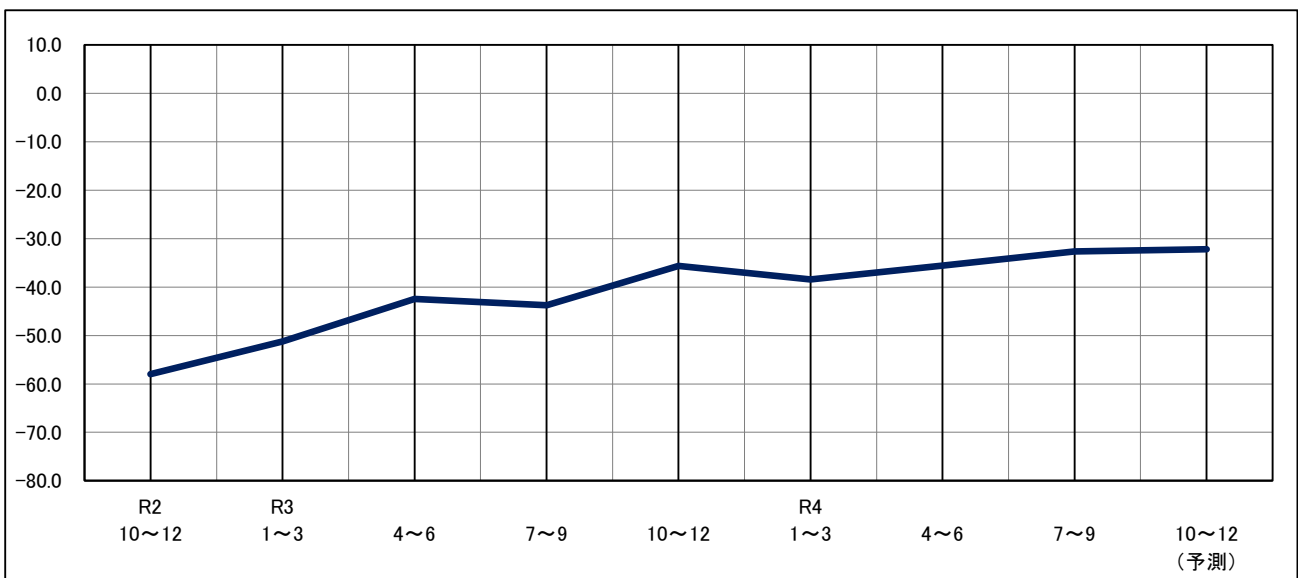
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」が63%、2位は「売上の停滞・減少」が53%、3位は「人手不足」が35%となった。前期4位だった「人手不足」が、今期3位と順位を上げた。「材料価格の上昇」は、令和2年10~12月期以降で最も高い割合となっている。(47ページ参照)

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」と「人材を確保する」が41%、2位は「技術力を高める」が29%、3位は「販路を広げる」が28%となった。前期2位だった「経費を節減する」が、今期1位と順位を上げた。

来期の見通し

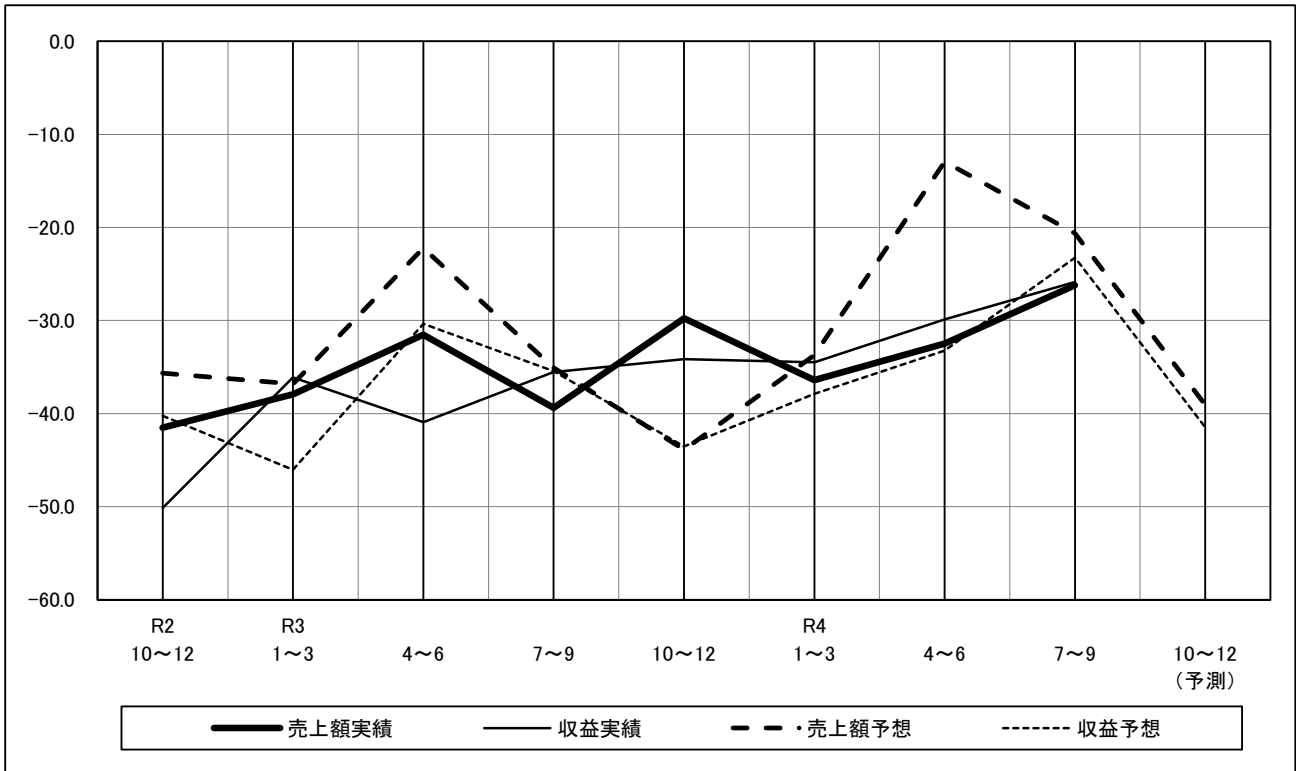
業況(△33→△32)は今期並となる見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大すると予想されている。

〈建設業〉品川区の業況の動き(実績)と来期の予測

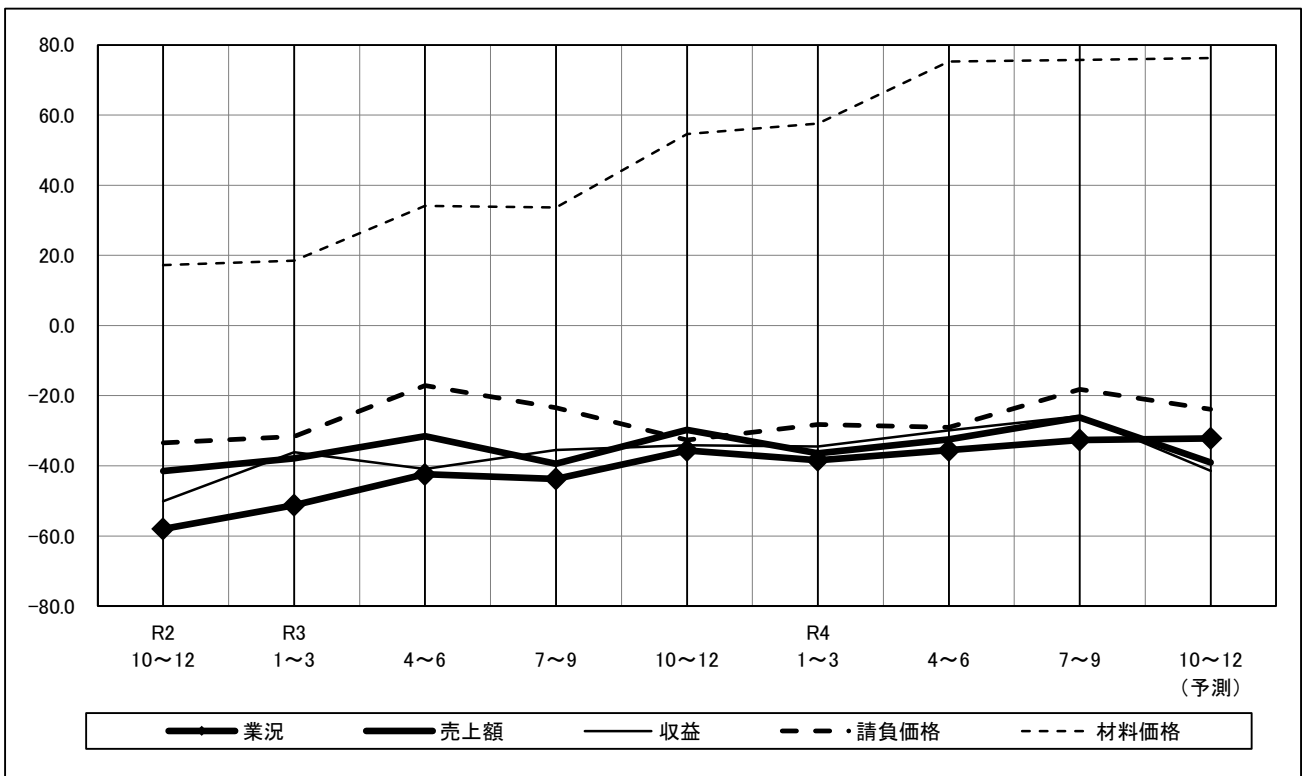


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

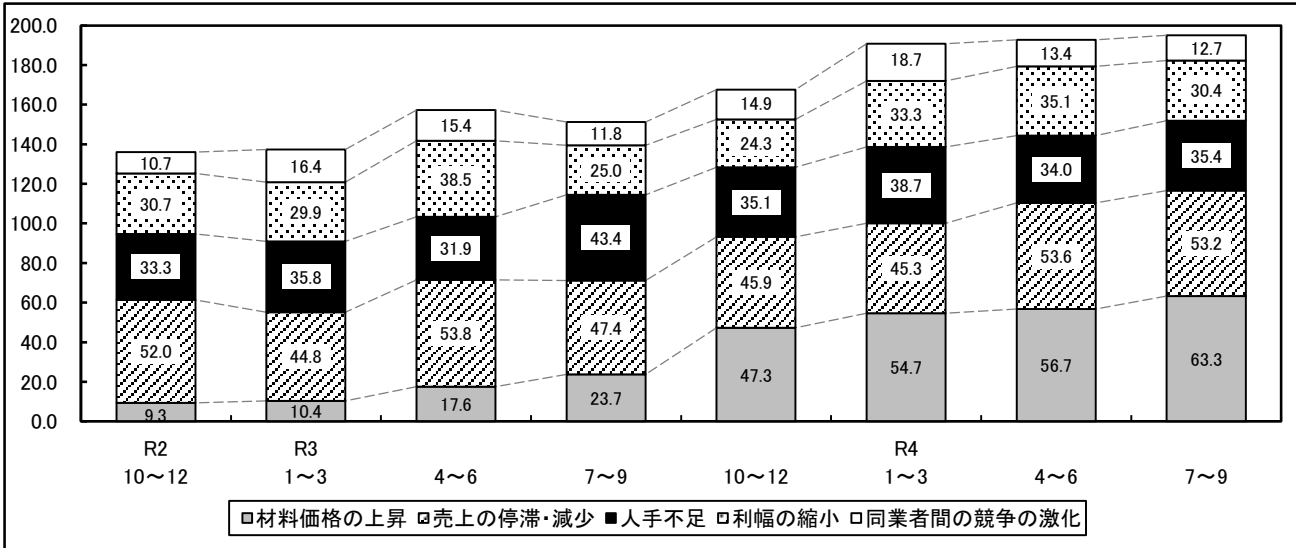
〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

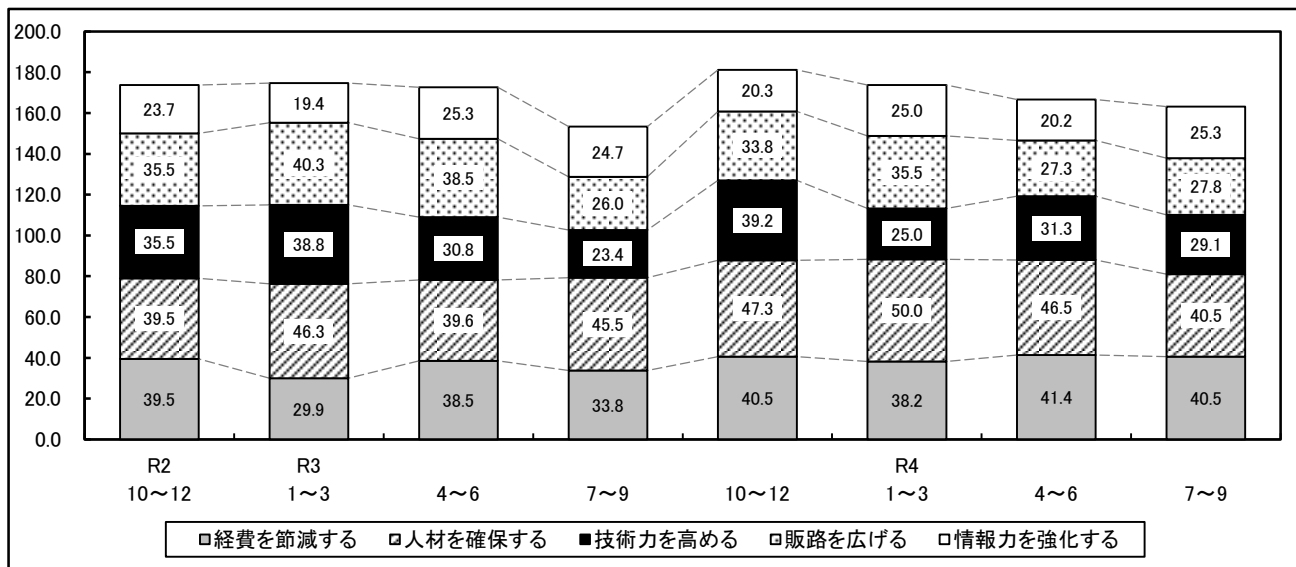


〈建設業〉 経営上の問題点 (%)



	R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期		R4.7~9月期	
第1位	材料価格の上昇	47.3 %	材料価格の上昇	54.7 %	材料価格の上昇	56.7 %	材料価格の上昇	63.3 %
第2位	売上の停滞・減少	45.9 %	売上の停滞・減少	45.3 %	売上の停滞・減少	53.6 %	売上の停滞・減少	53.2 %
第3位	人手不足	35.1 %	人手不足	38.7 %	利幅の縮小	35.1 %	人手不足	35.4 %
第4位	下請の確保難	25.7 %	利幅の縮小	33.3 %	人手不足	34.0 %	利幅の縮小	30.4 %
第5位	利幅の縮小	24.3 %	同業者間の競争の激化	18.7 %	下請の確保難	16.5 %	同業者間の競争の激化	12.7 %
							技術力の不足	12.7 %

〈建設業〉 重点経営施策 (%)



	R3.10~12月期		R4.1~3月期		R4.4~6月期		R4.7~9月期	
第1位	人材を確保する	47.3 %	人材を確保する	50.0 %	人材を確保する	46.5 %	経費を節減する	40.5 %
							人材を確保する	40.5 %
第2位	経費を節減する	40.5 %	経費を節減する	38.2 %	経費を節減する	41.4 %	技術力を高める	29.1 %
第3位	技術力を高める	39.2 %	販路を広げる	35.5 %	技術力を高める	31.3 %	販路を広げる	27.8 %
第4位	販路を広げる	33.8 %	情報力を強化する	25.0 %	販路を広げる	27.3 %	情報力を強化する	25.3 %
			技術力を高める	25.0 %				
第5位	情報力を強化する	20.3 %	教育訓練を強化する	14.5 %	情報力を強化する	20.2 %	教育訓練を強化する	15.2 %

建設業 業種別コメント

1. 新入社員の確保が難しい。
2. 仕事量の大幅減少に伴い、労務への賃金保証を前期に行った。
3. 材料が入らない。また値上げが続くなど見積ができない。ウクライナ問題がある。
4. 運転資金の借入が難しい。
5. 大工が不足している。
6. スーパーゼネコンへ派遣として工務管理を行っている。本来の業務である大工工事、測量は現在行っていない。
7. 売上が停滞傾向にある。
8. 受注増加しているが、利益が減少傾向にある。
9. 従業員の高齢化で若い人材が不足になっている。
10. 円安による燃料費上昇、建材需要の減少。
11. 都内の仕事が多く、パーキング代が高くて困っている。
12. 客の収入減（空きテナントが多い）。
13. 新型コロナウイルス感染症の対策が緩和している事で、世の中全体が活性化しつつあると思う。逆に戦争による貿易難に材料価格の高騰が建設業にも影響すると考える。
14. 材料価格が上昇かつ入手困難で仕事に支障が出ている。
15. 物件数の増加、1件当たりの売上の縮小。仕事量は多く、人手を増やしたいが売上の増加が見込めるか心配。
16. 材料費負担増、経費増等のため利益確保に苦慮。
17. 需要が増え、段々と売上が伸びている。
18. 若年社員の離職率が減少しない。
19. 仕事依頼はあるが、人手不足で対応できない。
20. ビル解体時期が半年～1年延期になった。弊社にとってプラスなのかマイナスなのか、分析中。
21. 受注増の中、採用できず人手不足が続いている。
22. 発注者の都合で発注が1年以上停止状態だった。11月ごろから通常に戻る予定。
23. 人手不足で技術力を高められない。
24. 世界状況により入荷が不明なため、収入も厳しい状況にある。
25. 部材の供給が遅れている。
26. 需要は増大しているが、人手不足。
27. クラウド系の通信会社との競合の対応に苦慮している。
28. 資材の遅れが甚だしく納期が遅れている。
29. 売上の安定を保ちつつ、営業活動を積極的に行うように考える。
30. 入職者が減少し、人手不足が続いている。
31. 親会社の方針が定まらず、新規採用したいが踏み切れない状態で、外注費増加により利益減少。今後この傾向が強くなるので販路を広げたいと思っている。
32. 物価上昇と人手不足。
33. 材料価格の上昇。工期延伸。
34. 今年の3月以降は新型コロナウイルス感染症の影響なのか、ウクライナの戦争なのか、現場が軒並み遅れてしまい受注が減った。9月以降からようやく受注が増えてきている。
35. 設備機器および他材料代の高騰が急速で、見積時から工事開始の期間に値段の変化が発生している。
36. 求人募集しても人材が集まらない。
37. 売上は横ばいだが、営業メンバーの高齢化で後継者不足。
38. 競争激化に伴う利益の減少。

情報通信業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 (9→△3) は悪化に転じた。売上額 (1→3) は増加幅がやや拡大し、収益 (3→△9) は増加から減少に転じた。

価格動向

システム提供価格 (7→0) は下降傾向がかなり強まり、人件費 (33→27) は上昇傾向がかなり弱まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り (△6→△3) は厳しさがやや和らいだ。借入難易度 (△13→0) はかなり改善し、今期借入れをした企業は 28% で前期の 33% から 5 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

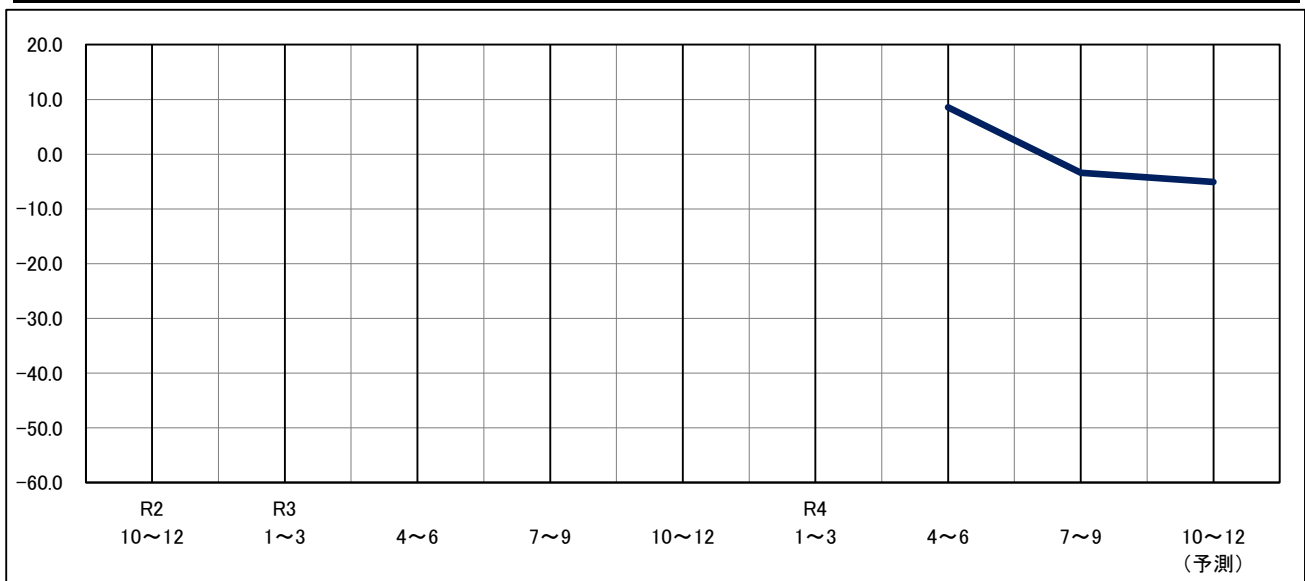
経営上の問題点は、1 位は「人手不足」が 48%、2 位は「人件費の増加」が 42%、3 位は「技術力の不足」が 39% となった。前期 4 位だった「人件費の増加」が今期 2 位と順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 59%、2 位は「人材を確保する」が 52%、3 位は「技術力を強化する」が 45% となった。前期 2 位だった「販路を広げる」が今期 1 位と順位を上げた。

来期の見通し

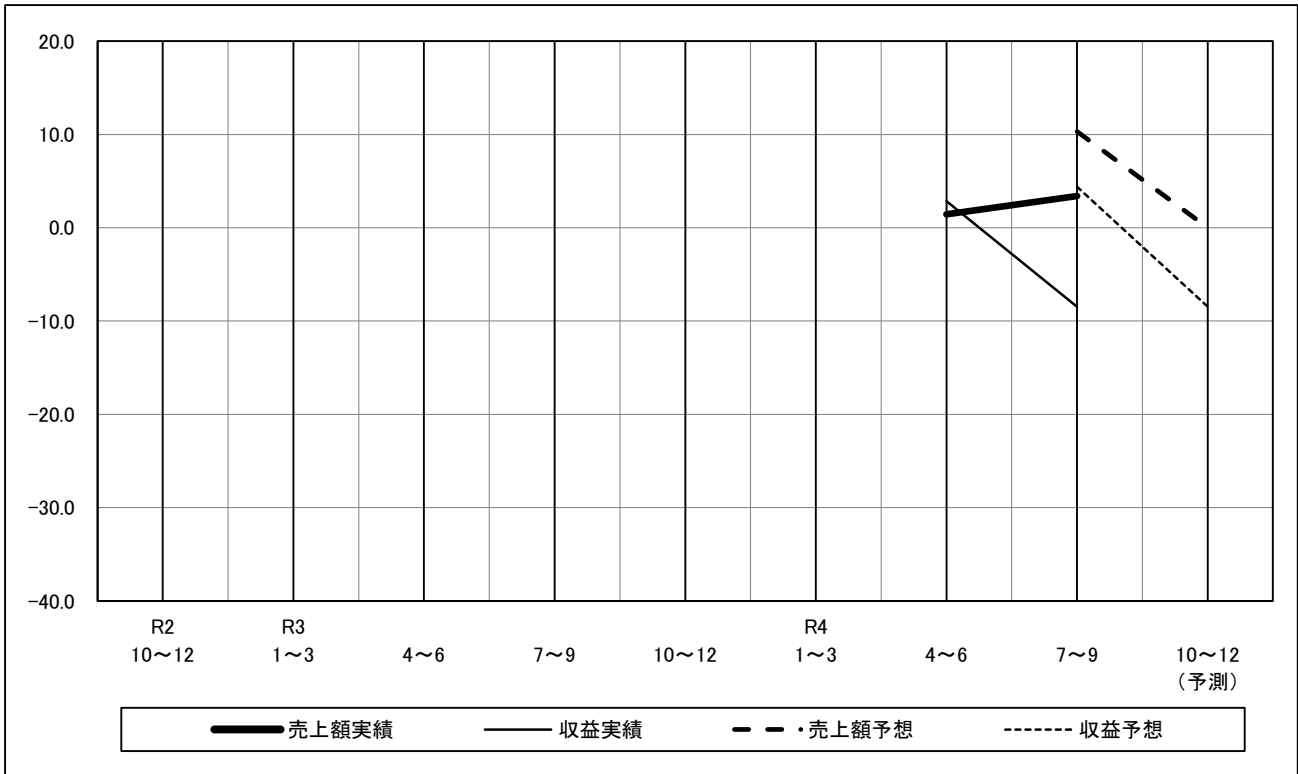
業況 (△3→△5) は低調感がやや強まる見込み。売上額は増加から減少に転じ、収益は今期並になると予想されている。

〈情報通信業〉 品川区の業況の動き (実績) と来期の予測

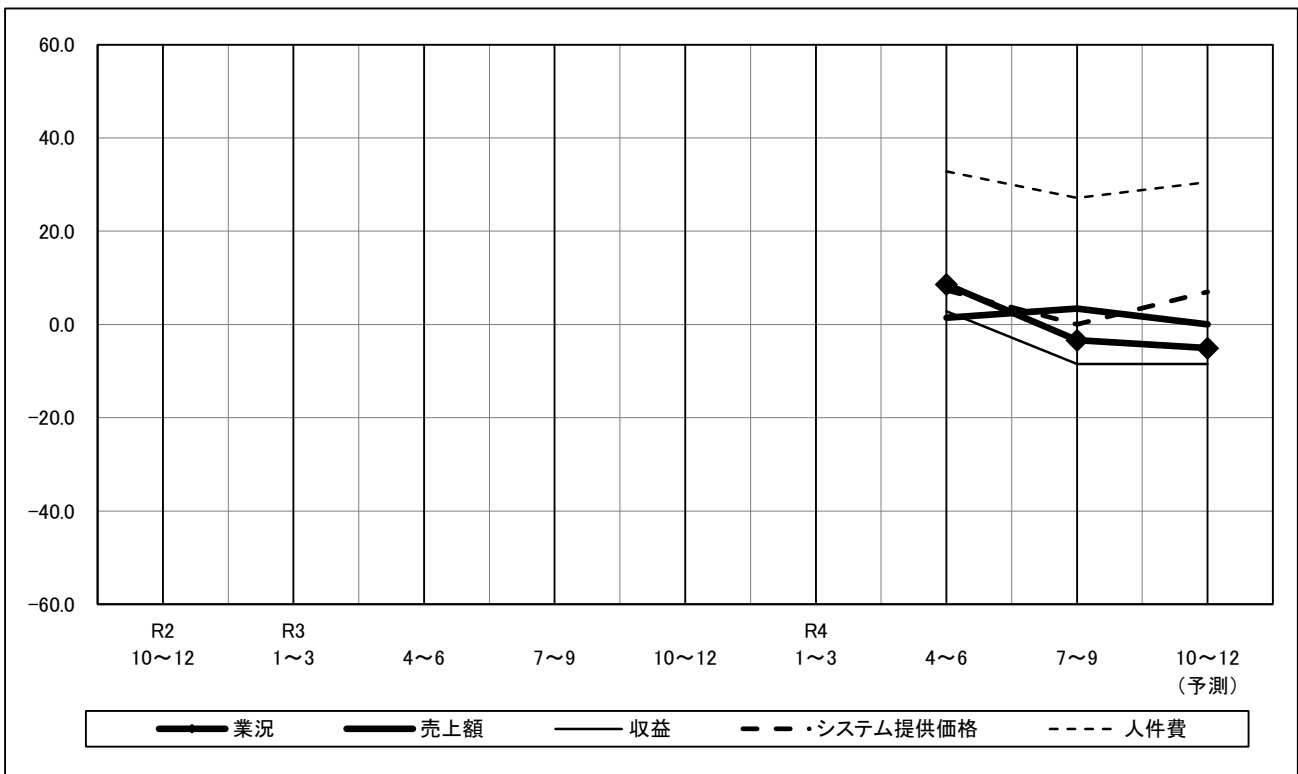


※ 東京都の景況調査では情報通信業の調査は実施されていないため、全都の情報通信業の業況は表示していない。

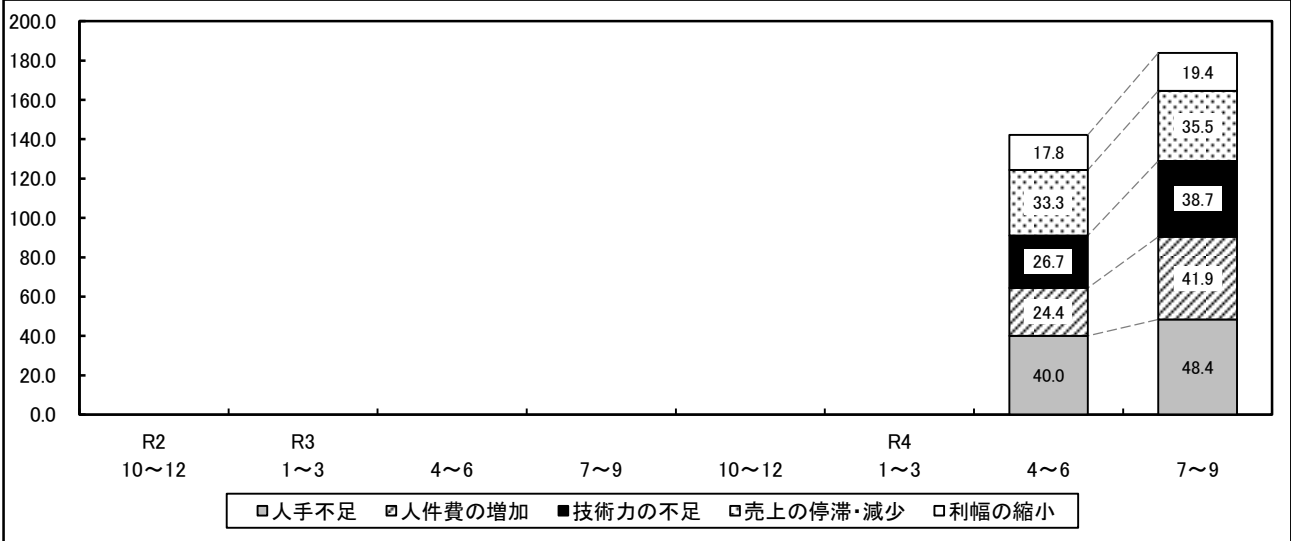
〈情報通信業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈情報通信業〉 業況と売上額、収益、システム提供価格、人件費の動き（実績）と来期の予測

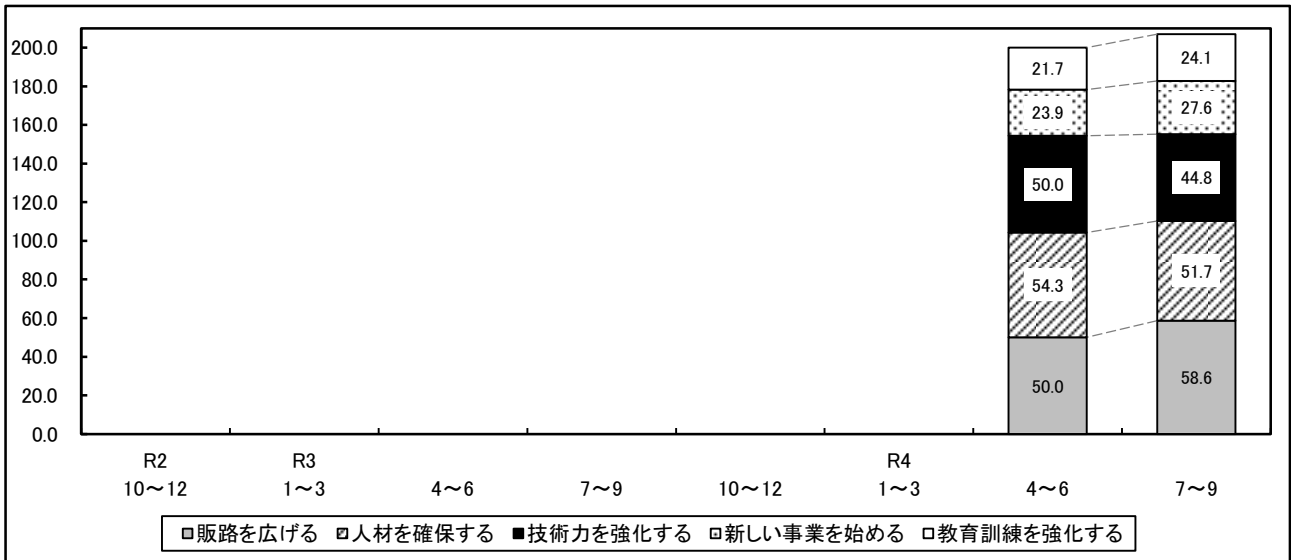


〈情報通信業〉 経営上の問題点 (%)



	R3.10~12月期	R4.1~3月期	R4.4~6月期	R4.7~9月期
第1位			人手不足 40.0 %	人手不足 48.4 %
第2位			売上の停滞・減少 33.3 %	人件費の増加 41.9 %
第3位			技術力の不足 26.7 %	技術力の不足 38.7 %
第4位			人件費の増加 24.4 %	売上の停滞・減少 35.5 %
第5位			同業者間の競争の激化 20.0 % 人件費以外の経費の増加 20.0 %	利幅の縮小 19.4 %

〈情報通信業〉 重点経営施策 (%)



	R3.10~12月期	R4.1~3月期	R4.4~6月期	R4.7~9月期
第1位			人材を確保する 54.3 %	販路を広げる 58.6 %
第2位			販路を広げる 50.0 % 技術力を強化する 50.0 %	人材を確保する 51.7 %
第3位			新しい事業を始める 23.9 %	技術力を強化する 44.8 %
第4位			教育訓練を強化する 21.7 %	新しい事業を始める 27.6 %
第5位			経費を節減する 15.2 % 宣伝・広告を強化する 15.2 % 提携先を見つける 15.2 %	教育訓練を強化する 24.1 %

情報通信業 業種別コメント

1. 需要はあるが、見合う人材がおらず営業的に機会損失をしている。
2. 需要はあるが、対応する人材が足りない。採用人数より離職する人数が多くなっている。
3. 未経験（中途採用）に力を入れ、単価が低い作業が増えると思われる。稼働人数の割に売上、利益はそれほど上がらないと思われる。社員数を立て直す事が急務。経験者採用は依然として苦戦状態である。
4. 業績は安定しているが潜在的な需要は多く、適正な人材を確保できれば、さらに上向く可能性はある。
5. 社内で抱えているスタッフのスキルレベルが、うまく業務に活かせていない場面が多い。
6. 教育が終わる1か月～2年以内の退職が多すぎる。
7. 同業者との競合によりなかなか案件が決まらない。
8. 技術部門の採用が厳しいため、結果的にリソース不足が続いている。メンタル面でのケア、ヒューマンスキルも含めた育成が急務と考える。
9. 退職者（SE）の補充が難しく人手不足。
10. 採用ができず人手不足が解消されていない。
11. テレワークが浸透している中、経験の浅い技術者（新入社員を含む）のアサインに苦慮している。
12. 特定の取引先への偏在が大きな課題。
13. コロナ禍における発注先（お客様）のイベント中止などによる影響。
14. SaaS 事業の早期の収益化。適切な人材配置。
15. 来期の収益増につなげるために、今期は先行投資（広告宣伝費及び人件費）を積極的に実施しているため、売上は増加しているが、当期は減益予算。
16. 顧客等の投資抑制に伴う売上の停滞。

日 銀 矢 豆 雀 見

[調査対象企業数]

(2022年9月調査)

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,804社	5,464社	9,268社	99.5%
うち大企業	959社	857社	1,816社	99.6%
中堅企業	1,010社	1,574社	2,584社	99.6%
中小企業	1,835社	3,033社	4,868社	99.4%

		2021年度		2022年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	10.2	—	8.4	1.4
	国内	5.8	—	7.8	0.9
	輸出	20.4	—	9.6	2.5
	非製造業	2.6	—	6.9	2.6
中堅企業	全産業	5.9	—	7.6	2.1
	製造業	9.5	—	8.5	0.9
	非製造業	-1.8	—	4.7	0.4
中小企業	全産業	1.0	—	5.7	0.6
	製造業	7.6	—	3.6	0.8
	非製造業	3.0	—	3.0	1.5
全規模合計	全産業	4.0	—	3.1	1.3
	製造業	9.7	—	7.6	1.2
	非製造業	1.6	—	5.1	1.7
	全産業	4.3	—	6.0	1.6

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

円/ドル	調査	2021年度			2022年度		
		上期	下期		上期	下期	
円/ドル	2022年6月調査	111.23	109.33	113.13	118.96	118.79	119.12
	2022年9月調査	—	—	—	125.71	124.98	126.43
円/ユーロ	2022年6月調査	128.85	128.36	129.33	131.60	131.55	131.65
	2022年9月調査	—	—	—	134.15	134.01	134.29

(注)修正率・幅は、前回調査との対比。

[業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

	2022年6月調査		2022年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	9	10	8	-1	9	1
非製造業	13	13	14	1	11	-3
全産業	11	11	11	0	11	0
中堅企業						
製造業	0	-3	0	0	-4	-4
非製造業	6	1	7	1	2	-5
全産業	3	0	4	1	0	-4
中小企業						
製造業	-4	-5	-4	0	-5	-1
非製造業	-1	-5	2	3	-3	-5
全産業	-2	-5	0	2	-4	-4
全規模合計						
製造業	1	-1	0	-1	-1	-1
非製造業	4	0	5	1	1	-4
全産業	2	-1	3	1	1	-2

		2022年6月調査		2022年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-10	-11	-10	0	-12	-2
	うち素材業種	-16	-16	-15	1	-17	-2
	加工業種	-7	-8	-7	0	-9	-2
	非製造業	-11	-12	-10	1	-12	-2
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-2	-1	-3	-1	-4	-1
	うち素材業種	-8	-6	-12	-4	-12	0
	加工業種	2	1	2	0	1	-1
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	11	—	12	1	—	—
	うち素材業種	14	—	17	3	—	—
	加工業種	8	—	9	1	—	—
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	2	—	7	5	—	—
	うち素材業種	11	—	14	3	—	—
	加工業種	-3	—	3	6	—	—
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	35	43	37	2	43	6
	うち素材業種	45	50	45	0	44	-1
	加工業種	29	40	33	4	42	9
	非製造業	21	27	23	2	31	8
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	79	76	77	-2	74	-3
	うち素材業種	78	72	74	-4	69	-5
	加工業種	80	79	80	0	77	-3
	非製造業	58	60	59	1	63	4

東京都と品川区の企業倒産動向 (令和4年9月)

1. 東京都の倒産概況

(単位: 件・億円)

	令和3年9月	令和4年8月	令和4年9月	前月比	前年同月比
件数	92	80	118	38	26
金額	224	316	783	467	559

2. 原因別倒産動向

(単位: 件・億円)

放漫経営	過小資本	他社倒産の余波	既住のしわよせ	販売不振
6	4.5	1	1.2	19
306.1	13	33.3	74	140.9
売掛金回収難	信用性低下	在庫状態悪化	設備投資過大	その他
0	0.0	1	0.3	0
0.0	0	0.0	0	0.0
4	4	296.5		

3. 業種別倒産動向

(単位: 件・億円)

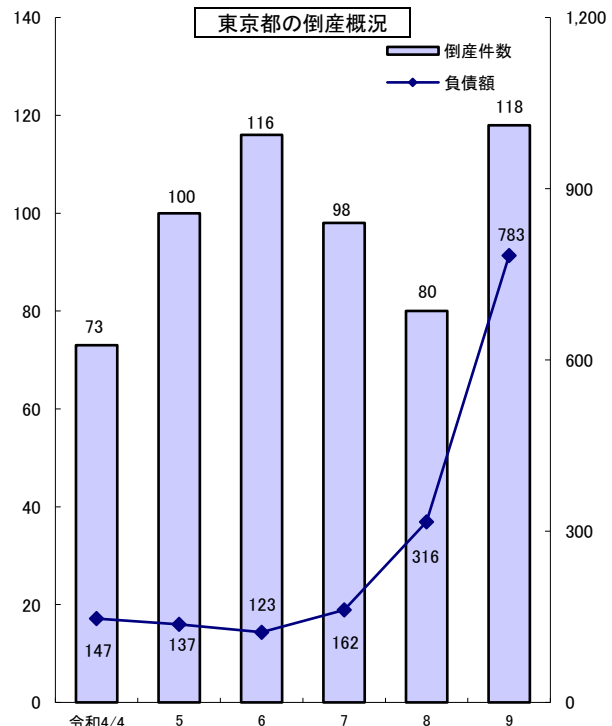
	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	9	10	9	12	9	18
卸売業	15	10	22	22	38	280
小売業	8	9	13	18	6	26
サービス業	24	14	26	144	68	41
建設業	6	11	15	4	12	13
不動産業	7	1	5	4	0	12
情報通信業・運輸業	14	13	12	15	169	18
宿泊業・飲食サービス業	3	4	7	1	3	2
その他	6	8	9	4	13	373
合計	92	80	118	224	316	783

4. 品川区内の令和4年9月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	0件	0百万円
卸売業	0件	0百万円
小売業	1件	30百万円
サービス業	0件	0百万円
建設業	0件	0百万円
不動産業	0件	0百万円
情報通信業・運輸業	1件	10百万円
宿泊業・飲食サービス業	0件	0百万円
その他	1件	20百万円
合計	3件	60百万円

(件数)

(億円)



特別調査「円安・原材料価格変動による影響およびインボイス制度について」

- ① 円安・原材料価格変動の影響は『悪い影響を受けている』がそれぞれ5割超
- ② 円安・原材料価格変動の対策は、「円安や原材料の価格変動に伴う販売価格への転嫁」が42.0%で最多
- ③ 行政に期待する支援は、「資金面での支援制度の拡充」が43.4%で最多
- ④ インボイス制度への対応は『対応予定である』が7割半ば
- ⑤ インボイス制度に対応するための課題は、「業務負担の増加」が29.3%で最多

問1. 円安・原材料価格変動の影響

円安の影響による収益の見込みについては、「変わらない」が38.0%で最多だったものの、『悪い影響を受けている※1』は59.2%と、過半数が引き続き悪い影響を受けていると回答している。『良い影響を受けている※2』は2.8%となっている。

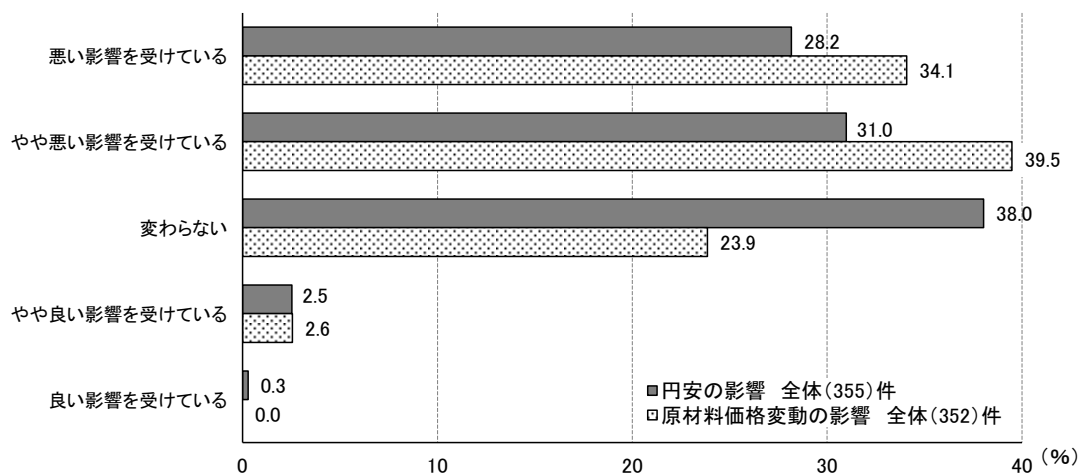
業種別にみると、卸売業と小売業では『悪い影響を受けている』が8割弱となり、他の業種よりも高くなっている。サービス業と情報通信業では「変わらない」が6割を超え、他の業種よりも高くなっている。

原材料価格変動の影響による収益の見込みについては、『悪い影響を受けている※1』が73.6%、「変わらない」が23.9%、『良い影響を受けている※2』が2.6%となっている。

業種別にみると、サービス業と情報通信業を除いた業種で『悪い影響を受けている』が7割超と高く、情報通信業では「変わらない」が7割超となり、他の業種よりも回答割合が高くなっている。

※1 「悪い影響を受けている」と「やや悪い影響を受けている」を合算したもの。

※2 「良い影響を受けている」と「やや良い影響を受けている」を合算したもの。



円安の影響

(単位: %)

	悪い影響を受けている	やや悪い影響を受けている	変わらない	やや良い影響を受けている	良い影響を受けている
全体 (355) 件	28.2	31.0	38.0	2.5	0.3
製造業 (69) 件	37.7	30.4	30.4	1.4	0.0
卸売業 (74) 件	40.5	39.2	16.2	2.7	1.4
小売業 (37) 件	64.9	13.5	16.2	5.4	0.0
サービス業 (64) 件	9.4	23.4	64.1	3.1	0.0
建設業 (80) 件	15.0	42.5	40.0	2.5	0.0
情報通信業 (31) 件	6.5	19.4	74.2	0.0	0.0

原材料価格変動の影響

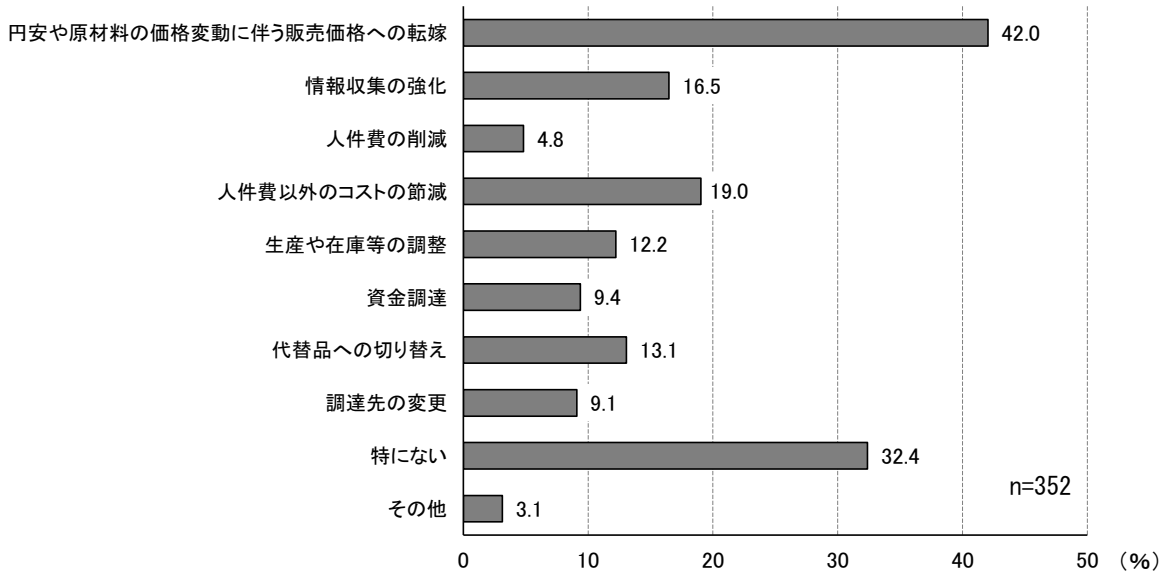
(単位: %)

	悪い影響を受けている	やや悪い影響を受けている	変わらない	やや良い影響を受けている	良い影響を受けている
全体 (352) 件	34.1	39.5	23.9	2.6	0.0
製造業 (71) 件	46.5	42.3	9.9	1.4	0.0
卸売業 (71) 件	39.4	54.9	4.2	1.4	0.0
小売業 (38) 件	65.8	18.4	7.9	7.9	0.0
サービス業 (63) 件	12.7	34.9	50.8	1.6	0.0
建設業 (78) 件	30.8	44.9	20.5	3.8	0.0
情報通信業 (31) 件	6.5	19.4	74.2	0.0	0.0

問2. 円安・原材料価格変動の対策

円安・原材料価格変動の対策については、全体では「円安や原材料の価格変動に伴う販売価格への転嫁」が42.0%と最も多く、次いで「人件費以外のコストの節減」が19.0%、「情報収集の強化」が16.5%となっている。また、「特にない」は32.4%と、対策を行っていない割合も高くなっている。

業種別では、サービス業と情報通信業を除いた業種では「円安や原材料の価格変動に伴う販売価格への転嫁」が最も高く、サービス業と情報通信業では「特にない」が最も高くなっている。また、建設業では「円安や原材料の価格変動に伴う販売価格への転嫁」と「特にない」が同率1位となっている。



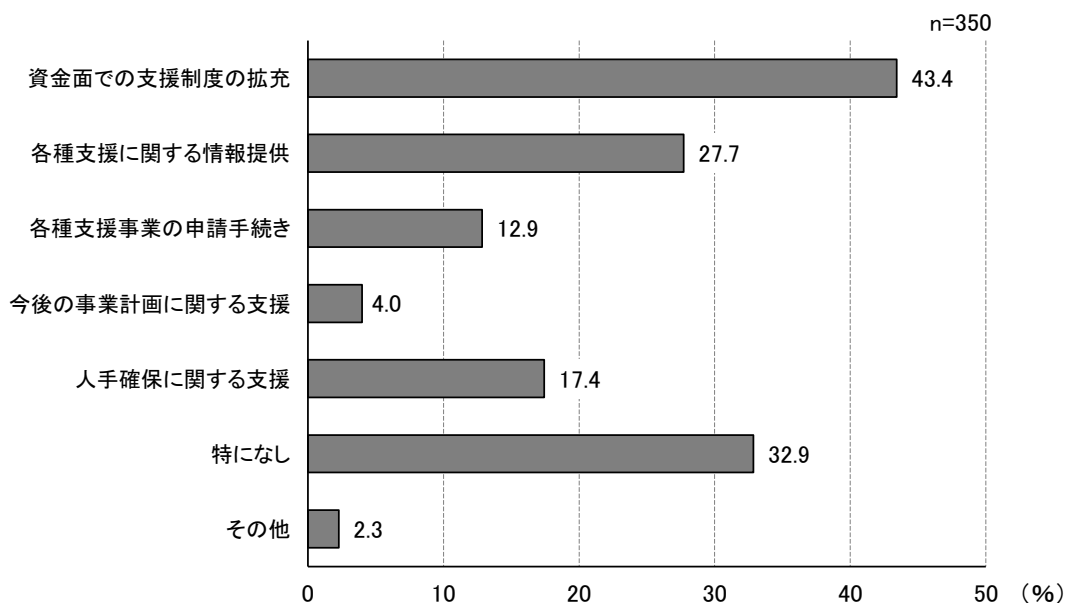
(単位：%)

	円安や原材料の価格変動に伴う販売価格への転嫁	情報収集の強化	人件費の削減	人件費以外のコストの節減	生産や在庫等の調整	資金調達	代替品への切り替え	調達先の変更	特にない	その他
全 体 (352) 件	42.0	16.5	4.8	19.0	12.2	9.4	13.1	9.1	32.4	3.1
製 造 業 (69) 件	50.7	17.4	7.2	17.4	21.7	11.6	21.7	10.1	23.2	5.8
卸 売 業 (73) 件	72.6	13.7	1.4	17.8	13.7	15.1	12.3	11.0	13.7	1.4
小 売 業 (38) 件	44.7	10.5	7.9	28.9	26.3	10.5	21.1	18.4	26.3	7.9
サービス業 (63) 件	23.8	12.7	6.3	15.9	1.6	4.8	3.2	3.2	55.6	1.6
建 設 業 (79) 件	31.6	20.3	3.8	24.1	8.9	8.9	12.7	7.6	31.6	2.5
情報通信業 (30) 件	10.0	26.7	3.3	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7	60.0	0.0

問3. 行政に期待する支援

行政に期待する支援については、「資金面での支援制度の拡充」が43.4%と最も多く、次いで「各種支援に関する情報提供」が27.7%、「人手確保に関する支援」が17.4%と続いた。また、「特になし」は32.9%となっている。

業種別では、製造業とサービス業を除いた業種では「資金面での支援制度の拡充」が最も高く、製造業とサービス業では「特になし」が最も高くなっている。また、小売業は「各種支援に関する情報提供」が45.9%、小売業と情報通信業では「人手確保に関する支援」が2割半ばと、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



(単位：%)

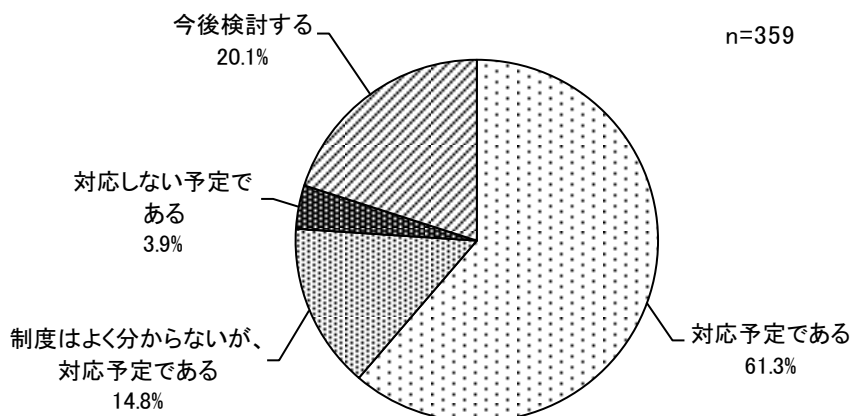
	資金面での支援制度の拡充	各種支援に関する情報提供	各種支援事業の申請手続き	今後の事業計画に関する支援	人手確保に関する支援	特になし	その他
全 体 (350) 件	43.4	27.7	12.9	4.0	17.4	32.9	2.3
製 造 業 (70) 件	35.7	21.4	15.7	4.3	14.3	38.6	2.9
卸 売 業 (72) 件	52.8	31.9	16.7	4.2	8.3	25.0	4.2
小 売 業 (37) 件	51.4	45.9	21.6	10.8	24.3	21.6	2.7
サ ー ビ ス 業 (63) 件	38.1	22.2	6.3	1.6	19.0	46.0	0.0
建 設 業 (78) 件	42.3	24.4	10.3	2.6	20.5	29.5	2.6
情 報 通 信 業 (30) 件	43.3	30.0	6.7	3.3	26.7	33.3	0.0

問4. インボイス制度への対応

インボイス制度の対応については、「対応予定である」が 61.3%と最も高く、次いで「今後検討する」が 20.1%、「制度はよく分からないが、対応予定である」が 14.8%となっている。『対応予定である※1』は 76.1%となっている。

業種別にみると、すべての業種において「対応予定である」が最も高くなっている。情報通信業、卸売業、建設業では『対応予定である』が 8 割以上となっているが、小売業では 61.5%となり、最も高い情報通信業とは 19.1 ポイントの差がみられた。また、「対応しない予定である」はいずれの業種も 1 割以下となっている。

※1 「対応予定である」と「制度はよく分からないが、対応予定である」を合算したものの。



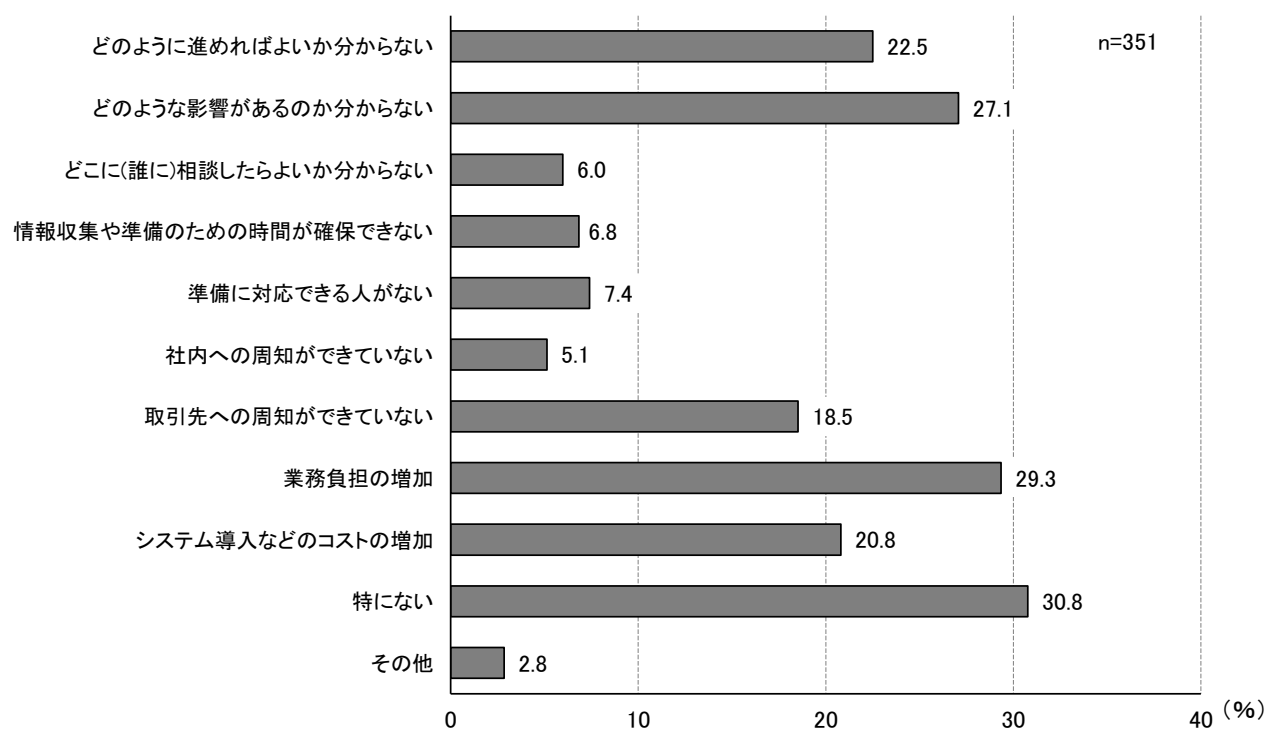
(単位：%)

	対応予定である	制度はよく分からないが、対応予定である	対応しない予定である	今後検討する
全 体 (359) 件	61.3	14.8	3.9	20.1
製 造 業 (70) 件	60.0	11.4	7.1	21.4
卸 売 業 (75) 件	64.0	16.0	1.3	18.7
小 売 業 (39) 件	41.0	20.5	7.7	30.8
サービス業 (64) 件	65.6	12.5	3.1	18.8
建 設 業 (80) 件	63.8	16.3	2.5	17.5
情報通信業 (31) 件	67.7	12.9	3.2	16.1

問5. インボイス制度に対応するための課題

インボイス制度に対応するための課題については、「特にない」の30.8%を除くと、「業務負担の増加」が29.3%と最も高く、次いで「どのような影響があるのか分からない」が27.1%、「どのように進めればよいか分からない」が22.5%となっている。

業種別にみると、製造業、卸売業、情報通信業では「業務負担の増加」、小売業では「どのように進めればよいか分からない」、建設業では「取引先への周知ができていない」、サービス業では「特にない」がそれぞれ最も高くなっている。また建設業では「どのような影響があるのか分からない」が唯一3割を超えて、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



(単位：%)

	どのように進めればよいか分からない	どのような影響があるのか分からない	どこに(誰に)相談したらよいか分からない	情報収集や準備のための時間が確保できない	準備に対応できる人がない	社内への周知ができていない	取引先への周知ができていない	業務負担の増加	システム導入などのコストの増加	特にない	その他
全体 (351) 件	22.5	27.1	6.0	6.8	7.4	5.1	18.5	29.3	20.8	30.8	2.8
製造業 (67) 件	22.4	25.4	3.0	7.5	9.0	6.0	16.4	34.3	20.9	29.9	3.0
卸売業 (74) 件	28.4	25.7	6.8	9.5	9.5	4.1	16.2	33.8	31.1	25.7	2.7
小売業 (37) 件	29.7	27.0	10.8	8.1	8.1	5.4	10.8	24.3	16.2	27.0	2.7
サービス業 (63) 件	17.5	28.6	1.6	4.8	3.2	4.8	12.7	28.6	15.9	47.6	1.6
建設業 (79) 件	21.5	30.4	10.1	6.3	7.6	5.1	32.9	22.8	16.5	26.6	1.3
情報通信業 (31) 件	12.9	22.6	3.2	3.2	6.5	6.5	12.9	32.3	22.6	25.8	9.7

中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和4年7月～9月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-31	-39	7	-5	-76	-51
売上額		-17	-24	9	16	-47	-43
受注残		-11	-5	20	-5	-39	-35
収益		-31	-43	4	-11	-64	-53
販売価格		16	38	18	25	-13	14
原材料価格		79	82	89	82	61	82
原材料在庫		1	-8	8	16	2	-11
資金繰り		-32	-31	-17	-27	-45	-47
雇用	残業時間	-13	0	5	-70	-13	-8
	人手	-3	-20	-16	30	6	0
同期比	売上額	-35	0	-6	10	-69	-50
	収益	-45	-53	-28	10	-75	-67
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	54	47	16	90	81	58
	②工場・機械の狭小・老朽化	18	13	37	10	13	8
	③利幅の縮小	15	20	16	20	19	0
	④同業者間の競争の激化	1	0	0	0	0	8
	⑤人手不足	14	20	26	0	6	8
重点経営施策	①経費を節減する	38	29	28	44	60	33
	②販路を広げる	57	57	50	78	73	33
	③情報力を強化する	24	0	17	33	53	17
	④新製品・技術を開発する	19	29	33	22	0	8
	⑤人材を確保する	25	29	44	22	13	8
借入の難易度		-1	7	17	11	-31	-9

[来期の景況見通し]

業況		-38	-46	3	-82	-52	-48
売上額		-37	-28	-25	-56	-43	-36
受注残		-29	-17	-24	-55	-38	-18
収益		-48	-48	-36	-66	-53	-44
販売価格		6	29	1	-18	-8	23
原材料価格		66	67	70	68	46	81
原材料在庫		4	-1	14	22	4	-18
資金繰り		-31	-34	-9	-64	-48	-28
雇用	残業時間	-9	20	0	-56	-19	-8
	人手	-4	-20	-26	44	6	0

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

[今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		-56	-40	-67	-43
売上額		-24	-44	-12	-38
収益		-30	-36	-30	-30
販売価格		26	24	33	13
仕入価格		73	65	89	52
在庫		15	17	10	24
資金繰り		-16	-20	-16	-20
雇用	残業時間	-2	29	-4	-15
	人手	-36	-57	-58	14
同期比	売上額	-2	-43	26	-29
	収益	-32	-14	-44	-21
	販売価格	50	29	74	21
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	70	67	65	79
	②商店街の集客力の低下	7	0	0	21
	③利幅の縮小	21	33	17	21
	④取引先の減少	5	17	0	7
	⑤人手不足	33	33	52	0
重点経営施策	①経費を節減する	68	43	76	69
	②品揃えを改善する	22	29	10	39
	③宣伝・広報を強化する	34	29	29	46
	④新しい事業を始める	15	0	19	15
	⑤商店街事業を活性化させる	0	0	0	0
借入の難易度		-13	0	-17	-14

[来期の景況見通し]

業況		-46	-59	-44	-37
売上額		-10	-18	-8	-7
収益		-23	-36	-24	-15
販売価格		33	37	37	20
仕入価格		63	58	75	48
在庫		6	17	6	3
資金繰り		-20	-24	-17	-23
雇用	残業時間	9	14	13	0
	人手	-34	-71	-48	7

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期	R2		R3		R3		R3		R4		R4		R4		対前期比	R4 10～12月期		
	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期				
業況	良い	10.0	4.1	16.7	5.1	8.3	10.3	10.1	11.1	9.9	13.2	18.9	8.7	11.0	8.1	13.9	16.3	14.3	
	普通	17.5	13.5	23.1	19.0	21.4	28.2	26.1	18.5	21.1	25.0	23.0	26.1	24.4	36.5	27.8	26.3	30.0	
	悪い	72.5	82.4	60.3	75.9	70.2	61.5	63.8	70.4	69.0	61.8	58.1	65.2	64.6	55.4	58.3	57.5	55.7	
	D・I	-62.5	-78.4	-43.6	-70.9	-61.9	-51.3	-53.6	-59.3	-59.2	-48.5	-39.2	-56.5	-53.7	-47.3	-44.4	-41.3	-41.4	
	修正値	-63.0	-77.9	-48.5	-71.5	-59.1	-52.2	-44.8	-53.6	-61.4	-49.1	-46.5	-57.5	-48.2	-48.8	-31.0	-31.7	17.0	-38.2
	傾向値	-61.6		-64.3		-63.2		-58.9		-55.0		-54.0		-52.4		-50.3			
売上額	増加	30.4	19.7	24.4	15.2	14.3	15.4	17.6	17.1	20.8	25.0	23.6	19.4	14.6	8.2	19.4	25.9	18.6	
	変らず	19.0	14.5	17.9	25.3	21.4	33.3	19.1	20.7	18.1	26.5	22.2	22.2	28.0	39.7	31.9	34.6	30.0	
	減少	50.6	65.8	57.7	59.5	64.3	51.3	63.2	62.2	61.1	48.5	54.2	58.3	57.3	52.1	48.6	39.5	51.4	
	D・I	-20.3	-46.1	-33.3	-44.3	-50.0	-35.9	-45.6	-45.1	-40.3	-23.5	-30.6	-38.9	-42.7	-43.8	-29.2	-13.6	-32.9	
	修正値	-31.4	-49.7	-38.3	-47.4	-38.5	-30.1	-37.6	-38.4	-50.4	-32.3	-34.6	-40.7	-29.6	-39.3	-17.3	-6.3	12.0	-36.5
	傾向値	-49.1		-47.8		-45.0		-40.0		-39.8		-42.0		-40.7		-37.7			
受注残	増加	18.8	16.0	21.8	10.1	13.3	11.5	8.7	18.1	14.1	16.2	12.5	11.3	15.9	9.6	20.8	17.3	18.6	
	変らず	30.0	28.0	21.8	32.9	32.5	34.6	29.0	26.5	39.4	36.8	38.9	43.7	36.6	43.8	38.9	38.3	35.7	
	減少	51.3	56.0	56.4	57.0	54.2	53.8	62.3	55.4	46.5	47.1	48.6	45.1	47.6	46.6	40.3	44.4	45.7	
	D・I	-32.5	-40.0	-34.6	-46.8	-41.0	-42.3	-53.6	-37.3	-32.4	-30.9	-36.1	-33.8	-31.7	-37.0	-19.4	-27.2	-27.1	
	修正値	-35.7	-40.7	-39.9	-46.1	-35.6	-43.5	-48.6	-33.0	-38.4	-34.2	-40.1	-32.4	-27.1	-37.2	-10.5	-22.1	17.0	-29.3
	傾向値	-48.4		-47.5		-43.9		-41.0		-40.4		-40.6		-39.6		-34.2			
収益	増加	23.8	18.4	17.9	14.1	14.3	11.5	13.0	13.3	23.6	17.6	18.9	18.1	15.9	5.5	15.3	17.3	14.3	
	変らず	16.3	15.8	20.5	25.6	23.8	21.8	24.6	21.7	16.7	25.0	29.7	25.0	19.5	39.7	26.4	32.1	25.7	
	減少	60.0	65.8	61.5	60.3	61.9	66.7	62.3	65.1	59.7	57.4	51.4	56.9	64.6	54.8	58.3	50.6	60.0	
	D・I	-36.3	-47.4	-43.6	-46.2	-47.6	-55.1	-49.3	-51.8	-36.1	-39.7	-32.4	-38.9	-48.8	-49.3	-43.1	-33.3	-45.7	
	修正値	-44.5	-50.4	-48.0	-48.2	-35.9	-52.7	-40.4	-44.7	-46.4	-45.1	-38.8	-41.3	-36.2	-45.8	-30.5	-23.7	6.0	-47.7
	傾向値	-52.3		-52.1		-49.6		-45.7		-44.2		-42.8		-41.5		-40.9			
価格動向	販売価格	-13.8	-19.7	-28.2	-18.8	-20.2	-26.9	-15.9	-20.5	-7.0	-14.7	0.0	-9.9	3.7	8.1	16.7	13.6	7.1	
	修正値	-16.3	-19.1	-28.3	-18.4	-18.3	-27.9	-14.7	-19.2	-11.5	-15.4	-2.0	-10.3	4.3	3.3	15.5	12.9	11.0	6.4
	傾向値	-16.2		-19.0		-20.8		-20.1		-18.7		-14.3		-7.8		-0.8			
	原材料価格	8.8	18.7	29.5	13.8	42.9	41.0	52.2	48.2	72.2	60.3	64.9	65.3	87.8	73.0	80.6	80.2	72.9	
	修正値	10.1	17.3	22.7	17.6	38.7	34.0	49.8	42.0	71.4	53.2	58.2	69.8	80.4	67.6	78.5	73.7	-2.0	65.7
	傾向値	16.2		13.5		18.6		28.4		41.3		53.6		63.6		72.8			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	7.6	9.3	6.5	7.6	-2.4	6.5	-8.7	-2.4	-5.6	-10.3	-2.7	-8.5	2.4	-9.6	2.8	-1.2	4.3	
	修正値	10.1	10.8	9.3	9.3	-1.6	5.9	-9.8	-1.2	-2.9	-8.2	-1.1	-6.7	1.9	-9.9	1.1	-1.1	-1.0	4.2
	資金繰り	-27.8	-37.7	-26.9	-35.4	-40.0	-34.6	-31.4	-48.8	-38.9	-36.2	-27.4	-37.5	-28.0	-31.5	-36.1	-22.2	-35.2	
	修正値	-26.8	-36.7	-29.4	-36.1	-36.6	-36.1	-29.2	-43.7	-38.8	-34.4	-31.0	-39.7	-24.5	-34.1	-32.3	-17.7	-8.0	-31.3
前年同期比	売上額	-73.9		-59.2		-32.1		-29.2		-37.3		-25.4		-34.1		-35.2			
	収益	-73.9		-60.6		-33.3		-40.0		-38.8		-31.7		-43.9		-45.1			
雇用	残業時間	-29.9	-27.6	-12.5	-29.4	-26.5	-22.2	-23.8	-23.8	-9.0	-10.9	-11.7	-10.6	-27.2	-33.3	-12.5	-18.8	-8.5	
	人手	7.4	16.9	-8.3	8.8	1.2	-1.4	9.5	2.4	-1.5	6.3	1.7	-6.1	-7.4	15.0	-2.8	-10.0	-4.2	
借入金	借入難易度	5.9		11.3		-7.3		-4.6		-3.0		1.6		1.2		-1.4			
	借入をした(%)	38.8	26.9	36.2	26.2	40.5	34.3	29.0	21.1	24.2	11.7	27.0	17.2	24.7	18.3	31.8	24.4	16.7	
	借入をしない(%)	61.2	73.1	63.8	73.8	59.5	65.7	71.0	78.9	75.8	88.3	73.0	82.8	75.3	81.7	68.2	75.6	83.3	
有効回答事業所数		80		78		85		70		73		74		83		72			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R4		R4		R4		対 前期比	R4 10～12月期		
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期					
設備投資動向（％）	現在の設備	-1.5	5.3	-4.2	-1.5	-2.4	-2.8	-7.8	-1.2	-13.8	-8.1	-24.2	-14.1	-7.4	-21.0	-12.9	-8.8		-14.9	
	実施した	19.7	25.0	22.9	26.9	23.5	31.0	31.7	26.6	12.3	21.0	25.8	26.2	29.1	29.5	30.6	30.9		31.9	
	投資内容																			
	事業用地・建物	4.5	0.0	4.3	3.0	3.7	2.8	1.6	2.5	1.5	3.2	1.6	4.6	3.8	1.6	2.8	3.7		1.4	
	機械・設備の新・増設	1.5	6.6	4.3	6.0	9.9	9.9	12.7	8.9	4.6	6.5	12.9	9.2	15.2	13.1	12.5	12.3		8.7	
	機械・設備の更改	9.1	9.2	5.7	11.9	8.6	11.3	17.5	10.1	7.7	6.5	4.8	10.8	10.1	9.8	9.7	16.0		13.0	
	事務機器	13.6	9.2	12.9	9.0	8.6	12.7	6.3	7.6	7.7	8.1	11.3	9.2	11.4	9.8	12.5	8.6		14.5	
	車両	3.0	7.9	10.0	6.0	4.9	7.0	6.3	6.3	3.1	9.7	12.9	7.7	2.5	11.5	8.3	2.5		10.1	
	その他	0.0	1.3	1.4	0.0	2.5	1.4	0.0	1.3	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
実施しない	80.3	75.0	77.1	73.1	76.5	69.0	68.3	73.4	87.7	79.0	74.2	73.8	70.9	70.5	69.4	69.1		68.1		
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	76.1		70.8		80.2		71.9		69.7		68.3		60.5		54.2				
	人手不足	11.9		12.5		11.1		9.4		12.1		11.7		13.2		13.9				
	大手企業との競争の激化	3.0		0.0		3.7		3.1		1.5		0.0		0.0		1.4				
	同業者間の競争の激化	16.4		16.7		8.6		9.4		9.1		5.0		5.3		1.4				
	親企業による選別の強化	3.0		0.0		1.2		4.7		1.5		3.3		0.0		1.4				
	輸入製品との競争の激化	0.0		1.4		4.9		3.1		1.5		1.7		0.0		0.0				
	合理化の不足	7.5		6.9		4.9		7.8		6.1		5.0		7.9		4.2				
	利幅の縮小	23.9		20.8		28.4		15.6		16.7		13.3		10.5		15.3				
	原材料高	10.4		15.3		38.3		31.3		50.0		51.7		63.2		51.4				
	販売納入先からの値下げ要請	4.5		9.7		4.9		1.6		0.0		1.7		2.6		1.4				
	仕入先からの値上げ要請	3.0		4.2		12.3		15.6		15.2		25.0		30.3		27.8				
	人件費の増加	9.0		9.7		8.6		9.4		3.0		5.0		3.9		9.7				
	人件費以外の経費増加	7.5		8.3		2.5		3.1		9.1		13.3		11.8		12.5				
	工場・機械の狭小・老朽化	28.4		25.0		18.5		15.6		28.8		13.3		13.2		18.1				
	生産能力の不足	6.0		6.9		3.7		1.6		6.1		5.0		7.9		6.9				
	下請の確保難	10.4		6.9		1.2		4.7		4.5		0.0		2.6		6.9				
	代金回収の悪化	0.0		0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		1.3		0.0				
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.4				
	天候の不順	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
	地場産業の衰退	3.0		2.8		1.2		1.6		1.5		0.0		1.3		4.2				
大手企業・工場の縮小・撤退	11.9		6.9		0.0		1.6		1.5		1.7		2.6		4.2					
為替レートの変動	3.0		4.2		1.2		0.0		1.5		1.7		3.9		4.2					
その他	6.0		4.2		3.7		4.7		3.0		3.3		10.5		6.9					
問題なし	1.5		0.0		1.2		4.7		3.0		3.3		0.0		2.8					
重点経営施策（％）	販路を広げる	53.6		59.2		56.0		56.5		53.0		48.3		52.6		57.4				
	経費を削減する	55.1		47.9		50.0		40.3		42.4		50.0		40.8		38.2				
	情報力を強化する	21.7		21.1		19.0		17.7		13.6		23.3		13.2		23.5				
	新製品・技術を開発する	21.7		21.1		26.2		21.0		19.7		21.7		25.0		19.1				
	不採算部門を整理・縮小する	7.2		4.2		9.5		6.5		7.6		0.0		6.6		5.9				
	提携先を見つける	5.8		12.7		9.5		6.5		15.2		13.3		10.5		7.4				
	機械化を推進する	2.9		12.7		4.8		4.8		7.6		10.0		10.5		4.4				
	人材を確保する	18.8		19.7		22.6		12.9		18.2		18.3		19.7		25.0				
	パート化を図る	2.9		1.4		1.2		1.6		1.5		3.3		3.9		2.9				
	教育訓練を強化する	11.6		18.3		10.7		12.9		13.6		16.7		13.2		8.8				
	労働条件を改善する	1.4		2.8		7.1		4.8		1.5		8.3		3.9		5.9				
	工場・機械を増設・移転する	5.8		5.6		3.6		6.5		4.5		6.7		7.9		8.8				
	不動産の有効活用を図る	4.3		7.0		3.6		8.1		4.5		5.0		3.9		5.9				
	その他	2.9		0.0		2.4		1.6		1.5		1.7		1.3		1.5				
特になし	8.7		4.2		4.8		6.5		12.1		5.0		6.6		8.8					
有効回答事業所数		80		78		85		70		73		74		83		72				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R4		R4		R4		対 前期比	R4 10～12月期	
	10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期				
業況	良い	10.5	9.0	10.8	6.7	19.1	11.0	15.0	16.0	13.9	20.5	8.2	10.1	11.7	12.2	17.3	12.9	12.2	
	普通	19.7	16.7	16.2	21.3	21.3	24.7	21.3	33.0	17.7	24.4	17.8	32.9	24.5	28.4	22.7	28.0	27.0	
	悪い	69.7	74.4	73.0	72.0	59.6	64.4	63.8	51.1	68.4	55.1	74.0	57.0	63.8	59.5	60.0	59.1	60.8	
	D・I	-59.2	-65.4	-62.2	-65.3	-40.4	-53.4	-48.8	-35.1	-54.4	-34.6	-65.8	-46.8	-52.1	-47.3	-42.7	-46.2	-48.6	
	修正値	-62.1	-65.4	-59.5	-65.7	-38.8	-50.4	-49.3	-36.2	-56.6	-39.2	-58.7	-45.5	-49.7	-38.4	-43.4	-43.8	6.0	-50.1
	傾向値	-67.9		-69.7		-63.8		-55.4		-52.0		-51.9		-53.8		-54.5			
売上額	増加	25.0	15.2	12.2	13.2	29.8	21.9	18.5	29.0	25.6	28.8	17.6	19.2	30.9	24.7	27.6	30.1	26.7	
	変らず	17.1	21.5	24.3	28.9	24.5	30.1	22.2	31.2	17.9	25.0	16.2	33.3	13.8	32.9	28.9	26.9	29.3	
	減少	57.9	63.3	63.5	57.9	45.7	47.9	59.3	39.8	56.4	46.3	66.2	47.4	55.3	42.5	43.4	43.0	44.0	
	D・I	-32.9	-48.1	-51.4	-44.7	-16.0	-26.0	-40.7	-10.8	-30.8	-17.5	-48.6	-28.2	-24.5	-17.8	-15.8	-12.9	-17.3	
	修正値	-42.5	-51.3	-49.0	-40.5	-6.9	-24.5	-40.6	-14.5	-39.8	-24.0	-42.6	-22.2	-19.8	-12.2	-15.3	-16.5	5.0	-21.9
	傾向値	-54.4		-54.7		-47.3		-37.0		-35.0		-34.4		-35.1		-33.0			
収益	増加	21.1	15.2	12.3	11.8	28.7	24.7	16.0	26.6	24.4	22.5	13.5	21.8	24.5	17.6	19.7	23.7	20.0	
	変らず	22.4	19.0	21.9	28.9	24.5	24.7	18.5	34.0	17.9	31.3	18.9	25.6	21.3	32.4	27.6	30.1	33.3	
	減少	56.6	65.8	65.8	59.2	46.8	50.7	65.4	39.4	57.7	46.3	67.6	52.6	54.3	50.0	52.6	46.2	46.7	
	D・I	-35.5	-50.6	-53.4	-47.4	-18.1	-26.0	-49.4	-12.8	-33.3	-23.8	-54.1	-30.8	-29.8	-32.4	-32.9	-22.6	-26.7	
	修正値	-43.5	-52.4	-49.8	-43.5	-12.1	-26.4	-49.0	-17.4	-41.7	-27.3	-46.4	-25.2	-27.9	-27.7	-31.1	-26.0	-3.0	-28.8
	傾向値	-55.4		-55.8		-48.6		-39.8		-38.8		-38.6		-40.2		-39.6			
価格動向	販売価格	-17.1	-20.3	-12.3	-14.5	6.4	0.0	3.7	10.6	12.7	13.8	18.7	6.3	38.3	33.8	43.4	40.4	45.3	
	// 修正値	-18.3	-18.6	-15.8	-16.4	7.9	-6.7	1.4	12.1	10.7	13.2	14.6	5.7	34.6	24.2	36.7	37.8	2.0	40.6
	// 傾向値	-19.3		-19.7		-14.8		-7.5		-1.1		6.5		14.3		23.3			
	仕入価格	18.4	12.8	17.6	22.4	37.2	31.1	39.5	31.9	57.0	44.3	58.7	50.6	77.7	68.0	80.3	76.3	77.3	
	// 修正値	16.1	12.1	17.7	20.8	32.8	26.6	35.4	31.6	53.8	39.6	57.9	49.8	68.7	60.9	72.8	72.9	4.0	70.7
	// 傾向値	10.0		12.6		18.3		25.4		33.0		43.0		53.1		63.3			
在庫・資金繰り	在庫数量	6.7	13.0	16.7	12.0	13.0	6.9	11.3	13.0	5.1	3.8	8.2	6.4	9.6	5.4	9.2	4.3	9.3	
	// 修正値	10.7	12.3	14.3	11.1	12.8	7.7	11.3	14.2	8.7	4.7	6.1	5.6	8.3	6.6	8.5	3.4	0.0	8.7
	資金繰り	-2.6	-19.2	-17.3	-7.9	-13.8	-13.3	-25.9	-21.3	-30.4	-37.5	-40.0	-29.1	-20.2	-26.7	-13.3	-17.0	-20.0	
	// 修正値	-8.7	-19.2	-18.6	-12.1	-10.3	-13.3	-21.9	-17.4	-32.3	-33.9	-37.8	-32.1	-17.5	-26.1	-11.4	-13.9	6.0	-15.8
前年同期比	売上額	-50.0		-43.1		6.5		-16.0		-27.8		-44.0		-8.7		-18.7			
	収益	-58.6		-47.2		-1.1		-28.4		-38.0		-48.0		-25.8		-36.0			
	販売価格	-22.9		-8.3		12.1		6.3		7.6		22.7		53.3		43.4			
雇用	残業時間	-14.3	-22.1	-34.7	-17.1	-23.4	-13.9	-11.3	-13.8	-5.1	-2.5	-2.7	-3.8	-21.3	0.0	-6.8	-10.6	0.0	
	人手	-2.9	0.0	1.4	-1.4	-6.5	-2.8	-8.6	-8.6	-16.5	-12.5	-13.5	-16.5	-19.1	-13.5	-15.8	-17.0	-21.1	
借入金	借入難易度	10.1		0.0		-6.6		-11.3		-10.3		-10.8		-2.2		3.9			
	借入をした(%)	46.4	29.2	40.3	22.4	34.0	18.8	34.2	19.1	34.2	15.8	31.1	18.4	30.9	24.3	33.3	26.6	17.3	
	借入をしな(%)	53.6	70.8	59.7	77.6	66.0	81.2	65.8	80.9	65.8	84.2	68.9	81.6	69.1	75.7	66.7	73.4	82.7	
有効回答事業所数	76		75		94		81		80		76		94		76				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R4		R4		R4		対 前期比	R4 10～12月期	
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期					
設備投資動向（％）	現在の設備	2.9	-8.5	-1.5	4.3	-3.4	-2.9	-5.2	-2.3	-9.3	-3.9	-4.1	-12.0	-8.6	-2.8	-8.5	-10.8		-4.2
	実施した	38.6	30.4	29.2	31.3	27.9	28.2	18.5	31.0	29.3	27.5	35.2	34.2	30.1	25.0	27.4	27.5		27.8
	事業用地・建物	7.1	2.9	2.8	3.0	1.2	1.4	1.2	2.4	2.7	3.8	1.4	4.1	0.0	0.0	5.5	1.1		4.2
	機械・設備の新・増設	5.7	2.9	1.4	7.5	5.8	0.0	2.5	4.8	4.0	1.3	2.8	4.1	4.3	2.8	0.0	6.6		4.2
	機械・設備の更改	2.9	8.7	4.2	10.4	3.5	5.6	0.0	7.1	6.7	1.3	7.0	11.0	3.2	4.2	6.8	6.6		4.2
	事務機器	24.3	17.4	16.7	14.9	19.8	22.5	11.1	14.3	13.3	13.8	21.1	16.4	20.4	19.4	17.8	14.3		9.7
	車両	12.9	10.1	11.1	10.4	4.7	5.6	7.4	9.5	10.7	7.5	11.3	9.6	11.8	8.3	5.5	7.7		9.7
	その他	0.0	0.0	1.4	0.0	1.2	1.4	1.2	1.2	1.3	2.5	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	4.4		1.4
	実施しない	61.4	69.6	70.8	68.7	72.1	71.8	81.5	69.0	70.7	72.5	64.8	65.8	69.9	75.0	72.6	72.5		72.2
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	69.1		66.2		61.3		66.2		65.3		67.6		59.3		62.9		
人手不足		11.8		19.7		12.9		9.1		14.7		8.1		11.6		11.4			
同業者間の競争の激化		19.1		21.1		21.5		18.2		9.3		23.0		15.1		8.6			
輸入製品との競争の激化		0.0		0.0		1.1		3.9		1.3		0.0		3.5		7.1			
流通経路の変化による競争の激化		7.4		2.8		9.7		6.5		5.3		2.7		3.5		5.7			
合理化の不足		11.8		4.2		5.4		6.5		2.7		2.7		1.2		2.9			
小口注文・多頻度配送の増加		14.7		9.9		6.5		2.6		6.7		8.1		2.3		2.9			
利幅の縮小		19.1		32.4		23.7		29.9		36.0		29.7		26.7		30.0			
取扱商品の陳腐化		5.9		4.2		5.4		7.8		5.3		6.8		5.8		5.7			
販売商品の不足		7.4		4.2		7.5		7.8		5.3		4.1		9.3		11.4			
販売納入先からの値下げ要請		4.4		4.2		1.1		1.3		6.7		1.4		3.5		1.4			
仕入先からの値上げ要請		10.3		12.7		18.3		16.9		30.7		36.5		39.5		42.9			
人件費の増加		7.4		9.9		8.6		7.8		2.7		8.1		5.8		2.9			
人件費以外の経費の増加		5.9		1.4		5.4		6.5		6.7		9.5		4.7		4.3			
取引先の減少		26.5		18.3		23.7		26.0		22.7		18.9		11.6		11.4			
店舗の狭小・老朽化		4.4		0.0		1.1		0.0		0.0		0.0		1.2		0.0			
代金回収の悪化		1.5		2.8		2.2		2.6		5.3		4.1		1.2		0.0			
地価の高騰		1.5		4.2		1.1		0.0		2.7		1.4		1.2		1.4			
駐車場の確保難		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.4		2.3		0.0			
天候の不順		1.5		4.2		1.1		3.9		1.3		0.0		1.2		2.9			
地場産業の衰退	0.0		5.6		2.2		0.0		1.3		1.4		1.2		2.9				
為替レートの変動	7.4		11.3		16.1		11.7		25.3		18.9		32.6		31.4				
大手企業・工場の縮小・撤退	2.9		4.2		4.3		2.6		1.3		4.1		5.8		4.3				
その他	2.9		4.2		2.2		7.8		4.0		6.8		2.3		1.4				
問題なし	4.4		4.2		4.3		5.2		1.3		4.1		3.5		2.9				
重点経営施策（％）	販路を広げる	69.1		59.2		67.4		69.6		64.9		64.9		63.4		66.7			
	経費を節減する	41.2		43.7		42.4		45.6		37.7		40.5		44.1		50.0			
	品揃えを充実する	13.2		21.1		13.0		8.9		13.0		20.3		15.1		16.7			
	情報力を強化する	27.9		22.5		32.6		31.6		29.9		27.0		33.3		31.9			
	新しい事業を始める	11.8		14.1		15.2		11.4		14.3		17.6		16.1		12.5			
	提携先を見つける	2.9		4.2		9.8		2.5		10.4		14.9		10.8		5.6			
	機械化を推進する	4.4		2.8		1.1		2.5		1.3		2.7		2.2		0.0			
	人材を確保する	23.5		19.7		22.8		12.7		23.4		17.6		14.0		19.4			
	パート化を図る	1.5		1.4		0.0		0.0		1.3		0.0		0.0		0.0			
	教育訓練を強化する	16.2		7.0		8.7		10.1		7.8		9.5		7.5		6.9			
	流通経路の見直しをする	2.9		11.3		5.4		10.1		3.9		6.8		4.3		4.2			
	取引先を支援する	2.9		1.4		2.2		1.3		0.0		5.4		1.1		0.0			
	輸入品の取扱いを増やす	1.5		2.8		6.5		3.8		1.3		4.1		1.1		1.4			
	労働条件を改善する	5.9		7.0		1.1		2.5		1.3		2.7		2.2		1.4			
	不動産の有効活用を図る	7.4		2.8		2.2		5.1		3.9		2.7		2.2		1.4			
その他	1.5		2.8		2.2		3.8		2.6		1.4		3.2		4.2				
特になし	7.4		9.9		4.3		6.3		7.8		5.4		7.5		5.6				
有効回答事業所数		76		75		94		81		80		76		94		76			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R4		R4		R4		対 前期比	R4		
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期			7～9月期	10～12月期
業況	良い	12.1	11.3	11.6	12.1	6.5	14.3	9.5	8.2	23.9	19.0	1.5	13.6	17.6	19.1	5.7	18.8		13.0	
	普通	13.8	15.5	14.5	3.4	14.5	15.7	12.7	21.3	17.9	15.9	22.1	24.2	29.4	20.6	27.1	29.4		30.4	
	悪い	74.1	73.2	73.9	84.5	79.0	70.0	77.8	70.5	58.2	65.1	76.5	62.1	52.9	60.3	67.1	51.8		56.5	
	D・I	-62.1	-62.0	-62.3	-72.4	-72.6	-55.7	-68.3	-62.3	-34.3	-46.0	-75.0	-48.5	-35.3	-41.2	-61.4	-32.9		-43.5	
	修正値	-66.0	-64.6	-59.7	-70.9	-69.4	-52.4	-65.5	-58.5	-43.7	-51.4	-71.8	-48.3	-32.3	-37.2	-55.6	-29.5	-23.0		-45.6
	傾向値	-75.6		-74.6		-70.0		-67.3		-62.8		-61.0		-57.9		-52.4				
売上額	増加	29.3	30.6	8.6	7.1	9.7	20.0	7.9	19.4	35.8	23.8	8.8	6.1	41.7	35.3	22.9	33.3		37.1	
	変らず	10.3	31.9	18.6	8.9	17.7	24.3	19.0	27.4	20.9	30.2	17.6	36.4	26.2	26.5	31.4	28.6		35.7	
	減少	60.3	37.5	72.9	83.9	72.6	55.7	73.0	53.2	43.3	46.0	73.5	57.6	32.1	38.2	45.7	38.1		27.1	
	D・I	-31.0	-6.9	-64.3	-76.8	-62.9	-35.7	-65.1	-33.9	-7.5	-22.2	-64.7	-51.5	9.5	-2.9	-22.9	-4.8		10.0	
	修正値	-41.1	-22.7	-50.5	-72.7	-60.0	-33.8	-66.6	-28.4	-27.0	-37.9	-50.0	-41.5	4.3	-4.0	-23.9	-3.2	-28.0		-9.6
	傾向値	-49.2		-47.1		-43.2		-48.6		-52.9		-50.0		-41.0		-26.7				
収益	増加	20.7	27.8	4.3	3.5	9.8	21.4	9.5	11.5	29.9	22.6	1.5	1.5	31.8	17.9	17.1	28.2		25.7	
	変らず	15.5	30.6	17.1	15.8	18.0	21.4	23.8	34.4	29.9	33.9	25.0	39.4	37.6	35.8	40.0	29.4		41.4	
	減少	63.8	41.7	78.6	80.7	72.1	57.1	66.7	54.1	40.3	43.5	73.5	59.1	30.6	46.3	42.9	42.4		32.9	
	D・I	-43.1	-13.9	-74.3	-77.2	-62.3	-35.7	-57.1	-42.6	-10.4	-21.0	-72.1	-57.6	1.2	-28.4	-25.7	-14.1		-7.1	
	修正値	-48.4	-26.1	-62.1	-73.0	-60.7	-34.1	-61.4	-39.2	-27.9	-35.5	-56.7	-48.0	-5.7	-26.8	-30.3	-14.0	-25.0		-23.0
	傾向値	-57.4		-55.6		-51.6		-54.3		-55.1		-50.8		-42.6		-30.7				
価格動向	販売価格	-6.9	-9.7	-17.4	-20.7	-9.7	-8.7	-19.4	-9.7	4.5	-8.1	7.4	0.0	31.8	13.4	31.4	34.1		42.9	
	〃 修正値	-10.0	-12.3	-14.3	-20.6	-7.1	-12.4	-19.7	-2.0	-1.4	-11.4	8.7	0.4	27.8	6.6	26.0	34.0	-2.0	32.7	
	〃 傾向値	-11.7		-12.1		-10.4		-11.3		-11.9		-7.4		0.9		12.4				
	仕入価格	12.1	15.3	0.0	3.4	29.0	-4.3	17.7	32.3	58.2	24.2	64.7	43.9	82.4	59.7	74.3	80.0		71.4	
	〃 修正値	10.1	12.9	3.7	4.9	27.2	-0.8	19.3	32.1	50.6	19.1	65.3	41.9	72.4	61.5	72.9	70.7	0.0	62.9	
	〃 傾向値	10.9		9.0		11.9		14.9		20.5		34.3		49.1		62.8				
在庫・資金繰り	在庫数量	10.3	2.8	4.3	10.3	21.0	4.3	3.2	17.7	23.9	1.6	1.5	9.1	10.6	0.0	12.9	4.7		4.3	
	〃 修正値	10.4	2.9	3.7	9.4	18.5	1.8	4.9	17.8	21.6	3.4	3.9	7.8	8.7	0.4	14.7	4.5	6.0	6.2	
	資金繰り	-41.4	-33.8	-42.0	-50.0	-30.6	-37.3	-36.5	-29.0	-27.9	-31.7	-32.4	-35.8	-14.1	-29.4	-14.3	-20.0		-15.7	
〃 修正値	-42.3	-35.8	-36.9	-49.5	-31.1	-34.2	-38.1	-28.1	-30.0	-34.5	-25.1	-34.7	-16.8	-25.5	-16.4	-21.0	0.0		-19.6	
前年同期比	売上額	-90.9		-78.3		-27.7		-64.3		-5.1		-63.2		15.2		-2.3				
	収益	-88.6		-71.7		-34.0		-61.9		-23.7		-62.2		0.0		-31.8				
	販売価格	-22.7		-26.1		-6.4		-16.7		7.9		-8.1		41.3		50.0				
雇用	残業時間	-48.8	-21.6	-56.8	-47.6	-34.0	-40.9	-21.4	-27.7	-5.3	-11.9	-24.3	-13.2	4.3	-8.1	-2.3	0.0		9.3	
	人手	0.0	11.8	-13.0	0.0	0.0	-19.6	-7.0	2.1	-33.3	-7.0	-24.3	-30.8	-39.6	-27.0	-35.6	-41.7		-34.1	
借入金	借入難易度	12.2		7.1		-13.0		-9.5		-8.1		-16.2		-8.9		-13.3				
	借入をした(%)	59.1	23.8	62.2	29.7	45.7	23.7	45.5	20.5	54.1	15.0	21.6	24.3	17.0	9.1	18.6	15.6		18.2	
	借入をしな(%)	40.9	76.2	37.8	70.3	54.3	76.3	54.5	79.5	45.9	85.0	78.4	75.7	83.0	90.9	81.4	84.4		81.8	
有効回答事業所数		58		70		62		63		68		68		85		70				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R4		R4		R4		対前期比	R4	
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期					
設備投資動向（％）	現在の設備	-27.9	-16.3	-9.1	-18.6	-10.9	-15.9	-14.6	-13.3	-16.2	-12.2	-13.5	-13.5	-12.8	-13.5	-6.8	-4.3		-4.7
	実施した	31.0	20.9	28.6	15.0	21.4	31.0	22.0	21.4	24.3	25.6	27.8	29.7	42.6	28.6	40.5	43.2		48.7
	事業用地・建物	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4	4.8	2.4	4.8	2.7	5.1	0.0	8.1	4.3	5.7	2.4	6.8		7.7
	機械・設備の新・増設	14.3	7.0	16.7	10.0	11.9	16.7	9.8	4.8	13.5	10.3	11.1	10.8	31.9	2.9	23.8	31.8		28.2
	機械・設備の更改	7.1	14.0	9.5	2.5	4.8	16.7	4.9	9.5	13.5	5.1	13.9	13.5	23.4	17.1	21.4	18.2		10.3
	事務機器	14.3	7.0	4.8	7.5	7.1	4.8	7.3	4.8	5.4	7.7	2.8	13.5	2.1	5.7	7.1	0.0		7.7
	車両	7.1	4.7	2.4	2.5	7.1	2.4	7.3	4.8	2.7	10.3	13.9	10.8	6.4	8.6	7.1	9.1		7.7
	その他	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	4.5		5.1
	実施しない	69.0	79.1	71.4	85.0	78.6	69.0	78.0	78.6	75.7	74.4	72.2	70.3	57.4	71.4	59.5	56.8		51.3
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	88.1		86.0		81.8		86.0		70.3		86.1		57.4		69.8		
人手不足		14.3		18.6		13.6		14.0		18.9		27.8		40.4		32.6			
同業者間の競争の激化		7.1		11.6		15.9		11.6		10.8		5.6		6.4		7.0			
大型店との競争の激化		4.8		9.3		0.0		2.3		8.1		0.0		2.1		2.3			
輸入製品との競争の激化		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.1		2.3			
利幅の縮小		23.8		25.6		11.4		16.3		10.8		16.7		14.9		20.9			
取扱商品の陳腐化		2.4		7.0		6.8		7.0		13.5		5.6		4.3		2.3			
販売商品の不足		2.4		0.0		2.3		2.3		8.1		2.8		4.3		2.3			
販売納入先からの値下げ要請		2.4		2.3		0.0		0.0		0.0		2.8		0.0		0.0			
仕入先からの値上げ要請		2.4		4.7		13.6		16.3		21.6		38.9		48.9		51.2			
人件費の増加		9.5		16.3		15.9		16.3		24.3		11.1		25.5		16.3			
人件費以外の経費の増加		9.5		7.0		6.8		0.0		8.1		11.1		17.0		16.3			
取引先の減少		16.7		11.6		13.6		14.0		10.8		5.6		6.4		4.7			
商圏人口の減少		7.1		7.0		2.3		2.3		2.7		5.6		4.3		2.3			
商店街の集客力の低下		31.0		11.6		9.1		14.0		16.2		11.1		6.4		7.0			
店舗の狭小・老朽化		2.4		4.7		6.8		4.7		8.1		8.3		2.1		7.0			
代金回収の悪化		0.0		2.3		0.0		2.3		2.7		5.6		2.1		0.0			
地価の高騰		0.0		4.7		4.5		4.7		0.0		0.0		0.0		2.3			
駐車場の確保難		0.0		2.3		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.3			
天候の不順		9.5		7.0		9.1		18.6		10.8		2.8		10.6		18.6			
地場産業の衰退	4.8		0.0		0.0		2.3		0.0		0.0		0.0		2.3				
大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		2.3		2.3		0.0		2.7		0.0		0.0		0.0				
その他	7.1		9.3		20.5		16.3		5.4		2.8		4.3		2.3				
問題なし	2.4		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.1		2.3				
重点経営施策（％）	品揃えを改善する	31.7		26.2		34.0		25.6		26.3		37.8		26.7		22.0			
	経費を節減する	73.2		54.8		53.2		48.8		60.5		64.9		55.6		68.3			
	宣伝・広報を強化する	22.0		23.8		29.8		23.3		23.7		16.2		24.4		34.1			
	新しい事業を始める	19.5		21.4		27.7		16.3		15.8		18.9		24.4		14.6			
	店舗・設備を改装する	9.8		14.3		14.9		9.3		15.8		10.8		8.9		14.6			
	仕入先を開拓・選別する	4.9		4.8		17.0		20.9		28.9		13.5		15.6		14.6			
	営業時間を延長する	2.4		14.3		4.3		7.0		5.3		10.8		4.4		0.0			
	売れ筋商品を取扱う	14.6		14.3		23.4		14.0		15.8		18.9		8.9		17.1			
	商店街事業を活性化させる	17.1		11.9		6.4		2.3		2.6		2.7		6.7		0.0			
	機械化を推進する	2.4		0.0		6.4		4.7		5.3		0.0		8.9		14.6			
	人材を確保する	9.8		11.9		8.5		16.3		26.3		29.7		33.3		24.4			
	パート化を図る	4.9		9.5		4.3		2.3		2.6		5.4		4.4		2.4			
	教育訓練を強化する	7.3		9.5		4.3		7.0		2.6		0.0		4.4		14.6			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		2.4		0.0		0.0		2.6		0.0		0.0		0.0			
	不動産の有効活用を図る	0.0		4.8		2.1		0.0		5.3		2.7		0.0		2.4			
その他	7.3		2.4		4.3		0.0		0.0		5.4		4.4		2.4				
特になし	7.3		2.4		6.4		9.3		5.3		2.7		4.4		4.9				
有効回答事業所数	58		70		62		63		68		68		85		70				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R3		R4		R4		R4		対前期比	R4
	10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期					
業況	良い	4.1	4.2	8.2	2.7	12.3	4.1	14.5	8.8	18.9	14.7	22.4	12.3	18.3	14.7	17.6	19.5			14.1
	普通	23.0	25.0	23.3	29.7	16.0	28.8	23.2	31.3	29.7	26.5	31.6	41.1	31.7	38.7	47.1	40.2			50.6
	悪い	73.0	70.8	68.5	67.6	71.6	67.1	62.3	60.0	51.4	58.8	46.1	46.6	50.0	46.7	35.3	40.2			35.3
	D・I	-68.9	-66.7	-60.3	-64.9	-59.3	-63.0	-47.8	-51.3	-32.4	-44.1	-23.7	-34.2	-31.7	-32.0	-17.6	-20.7			-21.2
	修正値	-69.8	-66.5	-59.5	-65.8	-56.8	-60.6	-45.7	-48.7	-35.4	-44.2	-21.8	-38.2	-25.7	-26.4	-18.1	-18.8	8.0		-19.4
	傾向値	-62.0		-68.2		-66.2		-61.9		-54.5		-45.4		-37.4		-30.1				
売上額	増加	16.2	14.1	11.0	5.4	19.8	12.3	15.9	22.5	31.1	14.7	27.3	16.2	29.3	25.0	22.4	28.4			22.4
	変らず	24.3	39.4	31.5	33.8	19.8	37.0	26.1	32.5	28.4	36.8	29.9	43.2	30.5	35.5	51.8	39.5			52.9
	減少	59.5	46.5	57.5	60.8	60.5	50.7	58.0	45.0	40.5	48.5	42.9	40.5	40.2	39.5	25.9	32.1			24.7
	D・I	-43.2	-32.4	-46.6	-55.4	-40.7	-38.4	-42.0	-22.5	-9.5	-33.8	-15.6	-24.3	-11.0	-14.5	-3.5	-3.7			-2.4
	修正値	-47.6	-35.1	-41.6	-52.2	-38.3	-36.6	-38.6	-23.5	-20.7	-35.2	-9.3	-20.6	-8.4	-10.2	-0.2	-9.4	8.0		-6.5
	傾向値	-49.2		-50.4		-45.0		-42.4		-38.9		-30.8		-23.2		-14.7				
収益	増加	16.2	15.5	8.2	8.1	14.8	9.6	15.9	20.0	25.7	11.8	28.6	13.5	27.2	23.7	21.2	24.4			20.0
	変らず	24.3	36.6	32.9	36.5	23.5	38.4	27.5	33.8	32.4	39.7	28.6	44.6	29.6	42.1	49.4	40.2			51.8
	減少	59.5	47.9	58.9	55.4	61.7	52.1	56.5	46.3	41.9	48.5	42.9	41.9	43.2	34.2	29.4	35.4			28.2
	D・I	-43.2	-32.4	-50.7	-47.3	-46.9	-42.5	-40.6	-26.3	-16.2	-36.8	-14.3	-28.4	-16.0	-10.5	-8.2	-11.0			-8.2
	修正値	-47.2	-34.5	-48.5	-46.0	-42.3	-38.2	-38.4	-27.6	-26.3	-37.5	-12.3	-28.3	-9.3	-4.5	-5.7	-14.8	4.0		-10.7
	傾向値	-49.2		-52.1		-49.0		-45.8		-42.0		-34.0		-25.6		-17.7				
価格動向	料金価格	-17.8	-20.0	-12.3	-19.2	-11.3	-4.1	-4.4	-5.1	-2.7	3.0	6.6	-1.4	15.9	9.3	12.9	7.3			16.5
	修正値	-18.2	-19.9	-13.2	-18.1	-10.1	-5.1	-4.1	-4.5	-4.3	0.5	4.2	-1.2	14.8	7.0	12.4	8.2	-2.0		12.3
	傾向値	-17.0		-18.0		-16.0		-13.0		-9.6		-5.3		0.4		6.0				
	材料価格	4.2	0.0	12.5	4.2	14.3	13.9	16.2	15.8	25.0	17.9	41.9	22.2	53.1	39.2	32.1	48.1			34.5
	修正値	5.5	2.0	10.3	4.2	13.4	12.3	19.4	16.3	24.3	19.3	35.5	20.4	47.0	33.4	36.2	45.1	-11.0		36.5
	傾向値	9.8		7.4		7.1		9.8		14.4		20.7		29.2		36.0				
在庫・資金繰り	資金繰り	-32.4	-38.6	-32.9	-32.4	-28.4	-31.5	-21.7	-21.3	-12.2	-20.6	-13.0	-20.3	-11.0	-18.4	-10.6	-17.1			-10.6
	修正値	-34.0	-38.2	-30.4	-35.3	-24.9	-29.1	-23.3	-18.9	-16.1	-20.8	-9.4	-23.9	-6.4	-14.2	-12.3	-14.3	-6.0		-11.0
前年同期比	売上額	-50.0		-43.8		-12.5		-26.9		-11.6		-12.9		3.7		3.1				
	収益	-48.4		-45.3		-20.0		-19.7		-13.0		-16.1		-7.2		-4.6				
雇用	残業時間	-35.5	-22.0	-25.0	-33.9	-28.8	-20.3	-18.8	-17.7	-17.4	-17.4	-12.9	-10.1	-8.4	-11.5	-12.3	-4.8			-12.3
	人手	-21.3	-21.7	-25.0	-19.7	-27.5	-21.9	-37.7	-26.6	-49.3	-36.2	-41.9	-49.3	-43.9	-32.8	-41.5	-46.3			-49.2
借入金	借入難易度	-5.1		-1.6		1.3		1.5		9.1		5.0		0.0		3.1				
	借入をした(%)	37.1	16.9	34.4	12.5	31.6	20.7	28.4	8.1	22.1	10.8	35.0	7.7	22.5	20.7	16.9	17.9			8.3
	借入をしない(%)	62.9	83.1	65.6	87.5	68.4	79.3	71.6	91.9	77.9	89.2	65.0	92.3	77.5	79.3	83.1	82.1			91.7
有効回答事業所数		74		74		81		69		75		77		83		85				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R4		R4		R4		対 前期比	R4 10～12月期		
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期					
設備投資動向（％）	現在の設備	-8.2	-5.3	-10.9	-9.8	-9.0	-15.6	-2.9	-7.8	-16.2	-1.5	-19.7	-16.2	-15.7	-13.3	-6.2	-18.3		-7.7	
	実施した	26.7	17.5	34.4	22.4	24.4	35.5	28.8	25.7	27.9	25.8	36.1	31.3	33.8	33.9	33.3	32.5		33.9	
	投資内容																			
	事業用地・建物	3.3	1.8	4.7	5.2	0.0	6.5	1.5	4.1	1.5	1.5	4.9	6.0	3.8	6.8	6.3	2.5		8.1	
	機械・設備の新・増設	3.3	7.0	7.8	3.4	3.8	3.2	4.5	6.8	4.4	1.5	9.8	10.4	6.3	13.6	15.9	6.3		12.9	
	機械・設備の更改	10.0	5.3	10.9	13.8	6.4	16.1	10.6	8.1	11.8	15.2	9.8	13.4	16.3	11.9	7.9	13.8		8.1	
	事務機器	8.3	5.3	9.4	5.2	10.3	8.1	12.1	10.8	10.3	7.6	21.3	9.0	15.0	15.3	14.3	12.5		16.1	
	車両	13.3	10.5	15.6	5.2	16.7	16.1	16.7	13.5	14.7	12.1	14.8	11.9	16.3	10.2	12.7	18.8		9.7	
	その他	1.7	0.0	1.6	1.7	1.3	3.2	0.0	1.4	1.5	0.0	1.6	1.5	2.5	3.4	1.6	1.3		1.6	
	実施しない	73.3	82.5	65.6	77.6	75.6	64.5	71.2	74.3	72.1	74.2	63.9	68.7	66.3	66.1	66.7	67.5		66.1	
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	62.3		58.7		60.3		58.2		51.5		63.8		45.7		53.1				
	人手不足	34.4		34.9		30.8		32.8		42.6		37.9		43.2		32.8				
	同業者間の競争の激化	16.4		12.7		15.4		29.9		22.1		17.2		19.8		23.4				
	大手企業との競争の激化	1.6		3.2		2.6		3.0		4.4		3.4		1.2		3.1				
	合理化の不足	8.2		7.9		9.0		4.5		2.9		6.9		3.7		9.4				
	利幅の縮小	18.0		22.2		14.1		10.4		16.2		19.0		18.5		17.2				
	取扱事務の陳腐化	0.0		0.0		2.6		3.0		0.0		1.7		0.0		0.0				
	材料価格の上昇	4.9		7.9		7.7		13.4		11.8		22.4		22.2		17.2				
	料金の値下げ要請	4.9		3.2		3.8		4.5		2.9		3.4		3.7		1.6				
	人件費の増加	19.7		25.4		20.5		25.4		29.4		22.4		19.8		28.1				
	人件費以外の経費の増加	8.2		9.5		5.1		7.5		2.9		1.7		11.1		9.4				
	技術力の不足	11.5		7.9		12.8		11.9		19.1		10.3		7.4		7.8				
	取引先の減少	13.1		17.5		12.8		10.4		14.7		15.5		12.3		10.9				
	商圏人口の減少	1.6		0.0		1.3		3.0		2.9		0.0		0.0		0.0				
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		1.5		0.0		0.0		1.6				
	駐車場の確保難	3.3		4.8		0.0		3.0		0.0		0.0		1.2		1.6				
	店舗・設備の狭小・老朽化	1.6		4.8		5.1		4.5		5.9		0.0		4.9		3.1				
	代金回収の悪化	1.6		1.6		1.3		1.5		2.9		0.0		1.2		1.6				
	天候の不順	3.3		1.6		2.6		4.5		2.9		3.4		4.9		3.1				
	地場産業の衰退	1.6		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
大手企業・工場の縮小・撤退	4.9		1.6		0.0		0.0		2.9		1.7		0.0		0.0					
その他	4.9		6.3		9.0		6.0		4.4		10.3		2.5		6.3					
問題なし	3.3		3.2		2.6		3.0		2.9		5.2		7.4		6.3					
重点経営施策（％）	販路を広げる	36.2		44.4		37.2		45.6		39.7		34.4		41.0		47.7				
	経費を節減する	48.3		41.3		44.9		33.8		36.8		41.0		48.2		49.2				
	宣伝・広告を強化する	8.6		9.5		9.0		17.6		16.2		8.2		13.3		13.8				
	新しい事業を始める	15.5		15.9		19.2		22.1		23.5		21.3		13.3		15.4				
	店舗・設備を改装する	3.4		6.3		3.8		4.4		5.9		3.3		8.4		3.1				
	提携先を見つける	12.1		6.3		6.4		7.4		8.8		11.5		9.6		4.6				
	技術力を強化する	17.2		20.6		17.9		20.6		20.6		19.7		15.7		13.8				
	機械化を促進する	1.7		4.8		3.8		2.9		4.4		8.2		8.4		4.6				
	人材を確保する	32.8		39.7		35.9		44.1		41.2		39.3		44.6		44.6				
	パート化を図る	1.7		3.2		3.8		0.0		2.9		3.3		0.0		0.0				
	教育訓練を強化する	15.5		14.3		19.2		13.2		14.7		14.8		20.5		16.9				
	労働条件を改善する	8.6		9.5		11.5		2.9		13.2		11.5		13.3		15.4				
	不動産の有効活用を図る	3.4		3.2		1.3		2.9		4.4		3.3		2.4		0.0				
	その他	5.2		1.6		1.3		2.9		2.9		1.6		1.2		0.0				
特になし	3.4		3.2		5.1		5.9		1.5		6.6		2.4		4.6					
有効回答事業所数		74		74		81		69		75		77		83		85				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R4		R4		R4		対 前期比	R4 10～12月期		
	10～12月期	10～12月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期			7～9月期	7～9月期
業況	良い	3.9	12.7	9.3	6.5	8.6	8.1	12.7	12.0	18.9	10.1	18.4	14.9	10.8	10.7	12.7	19.6		12.7	
	普通	37.7	27.8	36.0	39.0	29.0	39.2	24.1	22.8	33.8	35.4	32.9	40.5	29.4	34.7	34.2	31.4		45.6	
	悪い	58.4	59.5	54.7	54.5	62.4	52.7	63.3	65.2	47.3	54.4	48.7	44.6	59.8	54.7	53.2	49.0		41.8	
	D・I	-54.5	-46.8	-45.3	-48.1	-53.8	-44.6	-50.6	-53.3	-28.4	-44.3	-30.3	-29.7	-49.0	-44.0	-40.5	-29.4		-29.1	
	修正値	-58.0	-49.0	-51.2	-52.0	-42.4	-37.3	-43.7	-46.4	-35.6	-47.5	-38.4	-37.0	-35.6	-38.3	-32.6	-17.9	3.0		-32.2
	傾向値	-49.8		-57.9		-57.9		-53.3		-47.8		-42.6		-40.2		-38.3				
売上額	増加	15.6	29.1	17.1	16.9	11.8	14.9	17.7	18.5	28.4	17.7	18.2	20.3	9.8	14.7	19.0	23.5		19.0	
	変らず	35.1	16.5	35.5	32.5	25.8	27.0	21.5	27.2	25.7	30.4	36.4	31.1	28.4	36.0	30.4	29.4		30.4	
	減少	49.4	54.4	47.4	50.6	62.4	58.1	60.8	54.3	45.9	51.9	45.5	48.6	61.8	49.3	50.6	47.1		50.6	
	D・I	-33.8	-25.3	-30.3	-33.8	-50.5	-43.2	-43.0	-35.9	-17.6	-34.2	-27.3	-28.4	-52.0	-34.7	-31.6	-23.5		-31.6	
	修正値	-41.5	-35.7	-37.9	-36.8	-31.5	-22.2	-39.4	-35.1	-29.8	-43.9	-36.4	-33.7	-32.5	-12.9	-26.2	-20.6	6.0		-39.1
	傾向値	-43.3		-45.9		-43.4		-40.2		-37.4		-35.0		-34.8		-33.5				
受注残	増加	7.8	26.6	14.5	14.3	8.7	13.5	18.2	12.2	24.7	15.6	10.5	13.7	9.9	10.7	7.6	19.8		13.9	
	変らず	53.2	24.1	38.2	41.6	38.0	35.1	33.8	34.4	37.0	44.2	48.7	43.8	36.6	40.0	38.0	33.7		40.5	
	減少	39.0	49.4	47.4	44.2	53.3	51.4	48.1	53.3	38.4	40.3	40.8	42.5	53.5	49.3	54.4	46.5		45.6	
	D・I	-31.2	-22.8	-32.9	-29.9	-44.6	-37.8	-29.9	-41.1	-13.7	-24.7	-30.3	-28.8	-43.6	-38.7	-46.8	-26.7		-31.6	
	修正値	-40.4	-30.4	-34.3	-32.1	-33.7	-23.0	-27.0	-40.7	-26.4	-32.9	-32.0	-31.8	-29.7	-25.6	-41.4	-24.5	-12.0		-38.2
	傾向値	-43.1		-45.5		-43.1		-37.4		-32.4		-29.9		-29.5		-31.5				
施工高	増加	14.3	28.9	20.3	14.5	9.9	13.5	17.9	20.9	23.3	21.8	18.2	19.2	11.0	10.5	20.3	25.0		16.5	
	変らず	40.3	18.4	37.8	32.9	26.4	25.7	21.8	27.5	35.6	28.2	35.1	32.9	26.0	34.2	31.6	31.0		39.2	
	減少	45.5	52.6	41.9	52.6	63.7	60.8	60.3	51.6	41.1	50.0	46.8	47.9	63.0	55.3	48.1	44.0		44.3	
	D・I	-31.2	-23.7	-21.6	-38.2	-53.8	-47.3	-42.3	-30.8	-17.8	-28.2	-28.6	-28.8	-52.0	-44.7	-27.8	-19.0		-27.8	
	修正値	-40.6	-33.0	-32.3	-41.2	-35.5	-29.6	-36.7	-30.8	-30.7	-37.5	-39.2	-32.7	-30.9	-26.5	-20.6	-19.0	10.0		-35.5
	傾向値	-42.2		-44.6		-42.1		-38.4		-35.6		-34.8		-35.4		-33.4				
収益	増加	9.1	20.3	18.4	10.4	6.5	12.0	16.7	17.4	23.0	15.4	23.4	16.2	12.7	13.2	15.2	20.6		11.4	
	変らず	40.3	27.8	32.9	36.4	31.2	29.3	26.9	28.3	33.8	34.6	27.3	33.8	26.5	25.0	36.7	33.3		43.0	
	減少	50.6	51.9	48.7	53.2	62.4	58.7	56.4	54.3	43.2	50.0	49.4	50.0	60.8	61.8	48.1	46.1		45.6	
	D・I	-41.6	-31.6	-30.3	-42.9	-55.9	-46.7	-39.7	-37.0	-20.3	-34.6	-26.0	-33.8	-48.0	-48.7	-32.9	-25.5		-34.2	
	修正値	-50.1	-40.2	-36.1	-46.0	-40.9	-30.3	-35.5	-35.4	-34.2	-43.5	-34.5	-37.9	-29.9	-33.2	-25.9	-23.3	4.0		-41.5
	傾向値	-46.5		-49.5		-47.3		-43.7		-39.2		-36.0		-34.5		-32.7				
価格動向	請負価格	-28.6	-27.8	-27.6	-27.3	-23.7	-32.0	-28.2	-31.5	-28.4	-29.9	-23.4	-24.3	-34.7	-27.6	-22.8	-23.8		-21.5	
	// 修正値	-33.4	-29.7	-31.6	-30.9	-17.1	-25.8	-23.4	-29.1	-32.7	-32.7	-28.2	-28.0	-29.0	-21.1	-18.2	-20.3	11.0		-23.8
	// 傾向値	-35.2		-36.5		-33.6		-28.7		-27.0		-26.4		-27.3		-28.0				
	材料価格	16.0	16.0	20.3	16.0	34.4	23.3	37.3	37.1	58.3	38.7	61.6	58.3	80.6	68.5	82.1	81.6		80.8	
	// 修正値	17.2	16.2	18.5	16.3	34.2	21.5	33.6	37.0	54.6	35.6	57.6	53.8	75.3	62.8	75.7	76.9	0.0		76.3
// 傾向値	26.6		20.7		20.4		24.7		32.3		42.8		53.7		65.1					
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	5.4	6.8	-2.7	5.4	5.6	-5.6	5.3	2.3	-7.0	1.3	-2.8	-7.0	-18.3	-5.6	-1.3	-18.3		-9.3	
	// 修正値	3.7	5.2	0.0	3.9	6.8	-4.8	3.4	4.4	-7.1	-0.1	1.1	-7.1	-15.9	-3.6	-4.3	-15.0	12.0	-10.8	
	資金繰り	-25.0	-30.8	-21.1	-23.7	-30.1	-22.7	-27.8	-26.1	-29.7	-34.2	-30.3	-28.4	-27.0	-30.7	-25.0	-27.0		-32.5	
// 修正値	-24.3	-34.3	-20.9	-24.0	-26.2	-18.4	-29.4	-22.9	-28.5	-36.8	-30.0	-29.1	-23.9	-27.1	-26.9	-24.8	-3.0		-34.0	
前年同期比	売上額	-52.6		-40.9		-40.2		-38.0		-29.7		-22.4		-34.3		-35.0				
	収益	-55.3		-38.8		-49.5		-43.0		-37.8		-29.7		-39.0		-46.3				
雇用	残業時間	-27.3	-23.4	-20.6	-22.1	-26.9	-29.9	-25.3	-19.6	-13.5	-19.0	-14.7	-21.6	-28.7	-27.0	-21.3	-15.8		-13.8	
	人手	-27.3	-30.8	-30.9	-31.2	-25.8	-20.6	-25.3	-30.4	-36.5	-32.9	-35.5	-37.8	-29.4	-28.0	-32.5	-40.2		-43.8	
借入金	借入難易度	4.1		-6.0		-3.4		-5.3		-8.2		-2.8		2.0		-3.8				
	借入をした(%)	30.7	18.3	34.3	13.3	36.3	25.0	31.2	17.2	35.6	21.9	33.3	22.9	31.3	12.7	35.1	25.3		17.8	
	借入をしない(%)	69.3	81.7	65.7	86.7	63.7	75.0	68.8	82.8	64.4	78.1	66.7	77.1	68.7	87.3	64.9	74.7		82.2	
有効回答事業所数		77		76		93		79		74		77		102		80				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R2		R3		R3		R3		R4		R4		R4		対 前期比	R4 10～12月期	
	10～12月期	1～3月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期					
設備投資動向（％）	現在の設備	-6.8	-1.3	-10.4	-6.8	-13.6	-7.5	-11.8	-16.1	-11.3	-13.2	-10.8	-14.1	-17.3	-8.0	-5.4	-12.4		-8.2
	実施した	35.1	26.0	36.4	36.1	23.5	24.2	26.4	18.4	31.4	26.8	25.0	28.4	39.0	25.4	35.9	29.8		20.0
	事業用地・建物	4.1	4.1	3.0	2.8	3.5	1.5	1.4	3.4	4.3	4.2	5.6	3.0	4.0	4.2	1.3	3.2		0.0
	機械・設備の新・増設	6.8	8.2	9.1	6.9	4.7	6.1	4.2	4.6	5.7	1.4	5.6	4.5	9.0	4.2	11.5	6.4		4.0
	機械・設備の更改	6.8	5.5	6.1	9.7	2.4	4.5	2.8	4.6	5.7	7.0	2.8	6.0	7.0	2.8	10.3	6.4		6.7
	事務機器	24.3	15.1	24.2	23.6	11.8	12.1	13.9	10.3	15.7	11.3	12.5	14.9	13.0	12.7	15.4	11.7		10.7
	車両	18.9	12.3	15.2	18.1	11.8	15.2	16.7	4.6	11.4	14.1	11.1	11.9	23.0	9.9	19.2	18.1		9.3
	その他	1.4	0.0	3.0	1.4	1.2	0.0	1.4	1.1	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	1.3	0.0		1.3
	実施しない	64.9	74.0	63.6	63.9	76.5	75.8	73.6	81.6	68.6	73.2	75.0	71.6	61.0	74.6	64.1	70.2		80.0
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	52.0		44.8		53.8		47.4		45.9		45.3		53.6		53.2		
人手不足		33.3		35.8		31.9		43.4		35.1		38.7		34.0		35.4			
大手企業との競争の激化		5.3		3.0		1.1		2.6		1.4		1.3		0.0		3.8			
同業者間の競争の激化		10.7		16.4		15.4		11.8		14.9		18.7		13.4		12.7			
親企業による選別の強化		2.7		1.5		1.1		1.3		1.4		5.3		4.1		1.3			
合理化の不足		2.7		6.0		6.6		2.6		4.1		0.0		1.0		0.0			
利幅の縮小		30.7		29.9		38.5		25.0		24.3		33.3		35.1		30.4			
材料価格の上昇		9.3		10.4		17.6		23.7		47.3		54.7		56.7		63.3			
下請の確保難		21.3		25.4		12.1		13.2		25.7		16.0		16.5		11.4			
駐車場・資材置場の確保難		8.0		6.0		6.6		2.6		5.4		2.7		2.1		3.8			
人件費の増加		12.0		17.9		11.0		14.5		12.2		6.7		4.1		8.9			
人件費以外の経費の増加		12.0		9.0		5.5		6.6		9.5		9.3		8.2		10.1			
技術力の不足		18.7		13.4		6.6		9.2		16.2		4.0		8.2		12.7			
代金回収の悪化		1.3		0.0		2.2		0.0		0.0		1.3		0.0		2.5			
天候の不順		1.3		0.0		7.7		7.9		1.4		1.3		4.1		3.8			
地場産業の衰退		0.0		0.0		2.2		2.6		1.4		1.3		2.1		1.3			
大手企業・工場の縮小・撤退		0.0		1.5		0.0		0.0		0.0		2.7		2.1		1.3			
その他	0.0		6.0		1.1		6.6		4.1		1.3		2.1		3.8				
問題なし	8.0		4.5		5.5		5.3		1.4		2.7		1.0		1.3				
重点経営施策（％）	販路を広げる	35.5		40.3		38.5		26.0		33.8		35.5		27.3		27.8			
	経費を節減する	39.5		29.9		38.5		33.8		40.5		38.2		41.4		40.5			
	情報力を強化する	23.7		19.4		25.3		24.7		20.3		25.0		20.2		25.3			
	新しい工法を導入する	5.3		6.0		2.2		5.2		6.8		3.9		4.0		7.6			
	新しい事業を始める	11.8		6.0		7.7		3.9		5.4		6.6		7.1		3.8			
	技術力を高める	35.5		38.8		30.8		23.4		39.2		25.0		31.3		29.1			
	人材を確保する	39.5		46.3		39.6		45.5		47.3		50.0		46.5		40.5			
	パート化を図る	1.3		0.0		1.1		1.3		0.0		0.0		2.0		0.0			
	教育訓練を強化する	10.5		16.4		9.9		10.4		9.5		14.5		12.1		15.2			
	労働条件を改善する	11.8		13.4		8.8		9.1		16.2		7.9		9.1		5.1			
	不動産の有効活用を図る	2.6		4.5		3.3		3.9		1.4		1.3		2.0		2.5			
その他	1.3		1.5		0.0		0.0		0.0		2.6		0.0		0.0				
特になし	10.5		6.0		9.9		9.1		8.1		7.9		10.1		7.6				
有効回答事業所数		77		76		93		79		74		77		102		80			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期	R2 10～12月期	R3 1～3月期	R3 4～6月期	R3 7～9月期	R3 10～12月期	R4 1～3月期	R4 4～6月期	R4 7～9月期	対 前期比	R4 10～12月期	
業況	良い							30.0	23.7	24.3	20.3	
	普通							48.6	49.2	54.3	54.2	
	悪い							21.4	27.1	21.4	25.4	
	D・I							8.6	-3.4	2.9	-5.1	
	修正値							8.6	-3.4	2.9	-12.0	-5.1
	傾向値											
売上額	増加							30.4	30.5	36.8	25.4	
	変らず							40.6	42.4	36.8	49.2	
	減少							29.0	27.1	26.5	25.4	
	D・I							1.4	3.4	10.3	0.0	
	修正値							1.4	3.4	10.3	2.0	0.0
	傾向値											
収益	増加							31.4	25.4	32.4	23.7	
	変らず							40.0	40.7	39.7	44.1	
	減少							28.6	33.9	27.9	32.2	
	D・I							2.9	-8.5	4.4	-8.5	
	修正値							2.9	-8.5	4.4	-11.0	-8.5
	傾向値											
価格動向	システム提供価格							7.4	0.0	0.0	7.0	
	〃 修正値							7.4	0.0	0.0	-7.0	7.0
	〃 傾向値											
	人件費							32.9	27.1	23.5	30.5	
	〃 修正値							32.9	27.1	23.5	-6.0	30.5
	〃 傾向値											
在庫・資金繰り	資金繰り							-5.7	-3.4	-8.8	-6.8	
	〃 修正値							-5.7	-3.4	-8.8	2.0	-6.8
前年同期比	売上額							16.7	3.1			
	収益							12.5	-15.6			
雇用	残業時間							-2.1	-6.5	0.0	3.2	
	人手							-40.4	-34.4	-44.7	-37.5	
借入金	借入難易度							-13.0	0.0			
	借入をした(%)							33.3	28.1	16.7	16.1	
	借入をしな(%)							66.7	71.9	83.3	83.9	
有効回答事業所数								71	59			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期	R2	R3	R3	R3	R3	R4	R4	R4	対 前期比	R4				
		10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期				
設備投資動向（％）	現在の設備										-14.9	-17.0	-18.3		-9.4
	実施した										42.2	43.8	43.5		46.7
	事業用地・建物										8.9	0.0	13.0		0.0
	機械・設備の新・増設										8.9	9.4	17.4		10.0
	機械・設備の更改										13.3	18.8	13.0		23.3
	事務機器										26.7	18.8	26.1		20.0
	車両										4.4	0.0	2.2		0.0
	その他										4.4	6.3	2.2		6.7
実施しない											57.8	56.3	56.5		53.3
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少										33.3	35.5			
	人手不足										40.0	48.4			
	同業者間の競争の激化										20.0	16.1			
	大手企業との競争の激化										2.2	0.0			
	利幅の縮小										17.8	19.4			
	取扱サービスの陳腐化										15.6	3.2			
	合理化の不足										0.0	3.2			
	料金の値下げ要請										0.0	0.0			
	人件費の増加										24.4	41.9			
	通信価格の上昇										0.0	0.0			
	技術力の不足										26.7	38.7			
	取引先の減少										8.9	9.7			
	人件費以外の経費の増加										20.0	9.7			
	地価の高騰										0.0	0.0			
	駐車場の確保難										2.2	0.0			
	代金回収の悪化										2.2	0.0			
	設備の狭小・老朽化										4.4	0.0			
	大手企業の縮小・撤退										6.7	0.0			
	為替レートの変動										8.9	6.5			
	その他										0.0	0.0			
問題なし										4.4	3.2				
重点経営施策（％）	販路を広げる										50.0	58.6			
	経費を削減する										15.2	20.7			
	宣伝・広告を強化する										15.2	20.7			
	新しい事業を始める										23.9	27.6			
	設備を改装する										4.3	3.4			
	提携先を見つける										15.2	10.3			
	技術力を強化する										50.0	44.8			
	人材を確保する										54.3	51.7			
	パート化を図る										0.0	0.0			
	教育訓練を強化する										21.7	24.1			
	労働条件を改善する										6.5	3.4			
	不動産の有効活用を図る										0.0	0.0			
	その他										0.0	3.4			
特になし										2.2	0.0				
有効回答事業所数											71	59			

調査の概要

1. 調査時期 令和4年7～9月期
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	72
卸売業	102	76
小売業	102	70
サービス業	102	85
建設業	102	80
情報通信業	102	59
合計	612	442